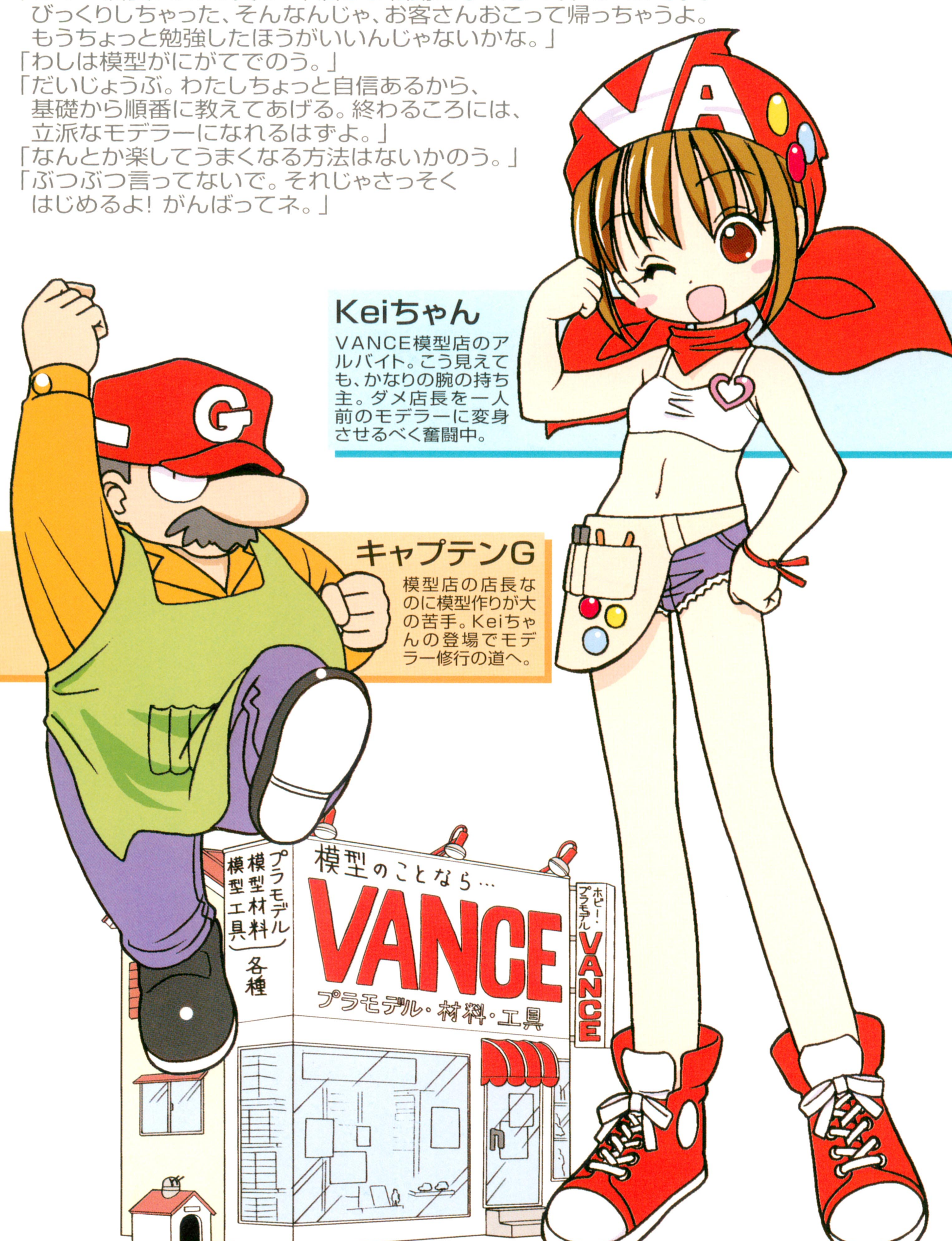

Keiちゃんの
塗装ガイド
基礎編
VANCE PROJECT

Keiちゃんの塗装ガイド

基礎編

「こんにちは! こんにちは…って、誰もいないのかしら?」
「ムニャ…もう食べられません…。」
「あれが店長ね。どんな人かちょっと試してやれ。おじさん、ちょっとおじさんてば!」
「ハ、ハイ。いらっしゃい。」
「えーと、プラモデルを塗装したいんだけど、どうすればうまく塗れます?」
「気合じゃ。」「えっ?」
「だから、気合と根性じゃ」「フーン」
「あぁ、それにもうひとつ」「もうひとつ?」
「愛じゃ。」
「あの一店長、わたし実は、本店から転勤になったバイトのKeiです。
びっくりしちゃった、そんなんじゃ、お客さんおこって帰っちゃうよ。
もうちょっと勉強したほうがいいんじゃないかな。」
「わしは模型がにがてでのう。」
「だいじょうぶ。わたしちょっと自信あるから、
基礎から順番に教えてあげる。終わるころには、
立派なモデラーになれるはずよ。」
「なんとか楽してうまくなる方法はないかのう。」
「ぶつぶつ言ってないで。それじゃさっそく
はじめるよ! がんばってネ。」



Keiちゃん
VANCE模型店のアルバイト。こう見えても、かなりの腕の持ち主。ダメ店長を一人前のモデラーに変身させるべく奮闘中。

キャプテンG
模型店の店長なのに模型作りが大の苦手。Keiちゃんの登場でモデラー修行の道へ。

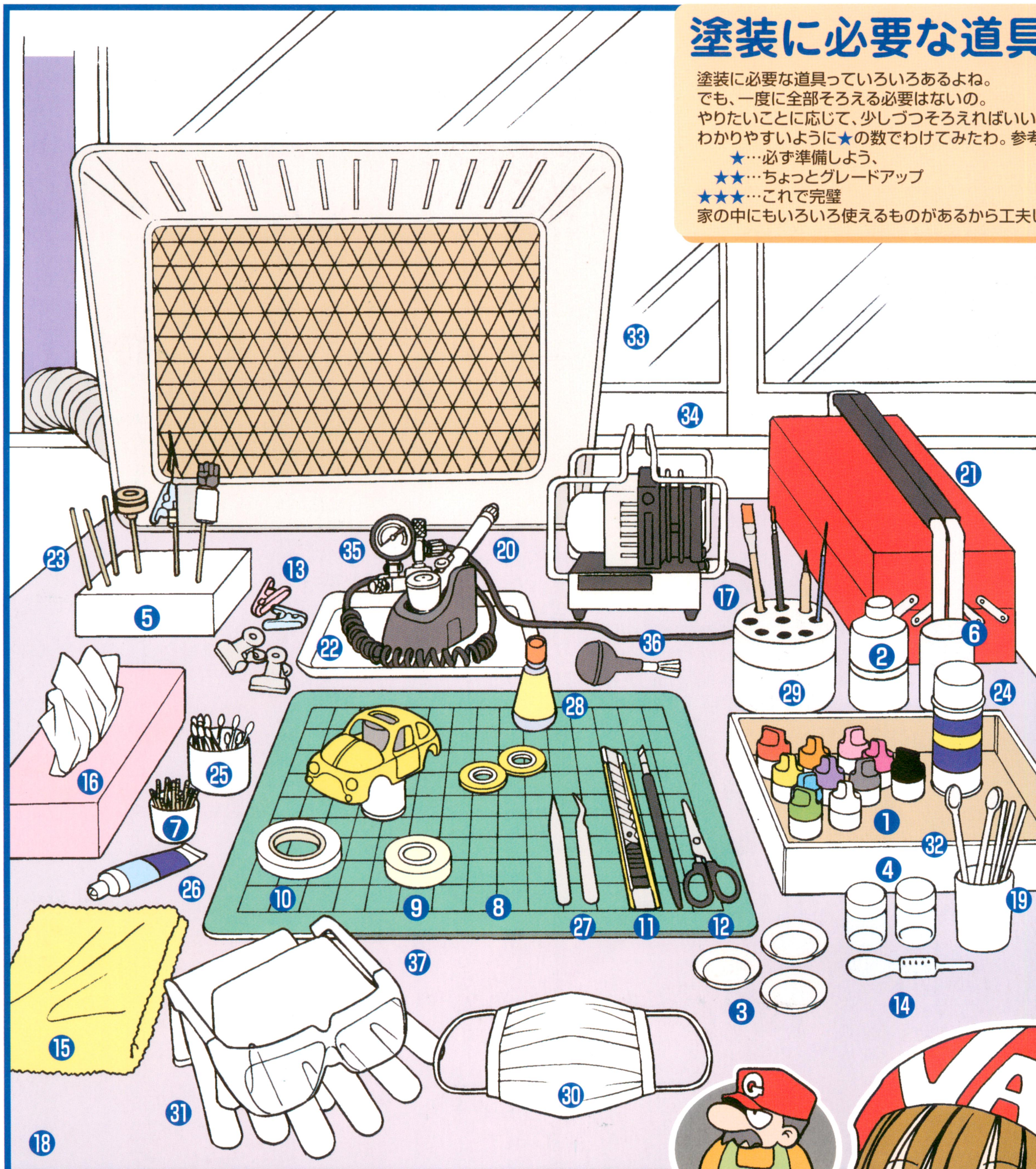


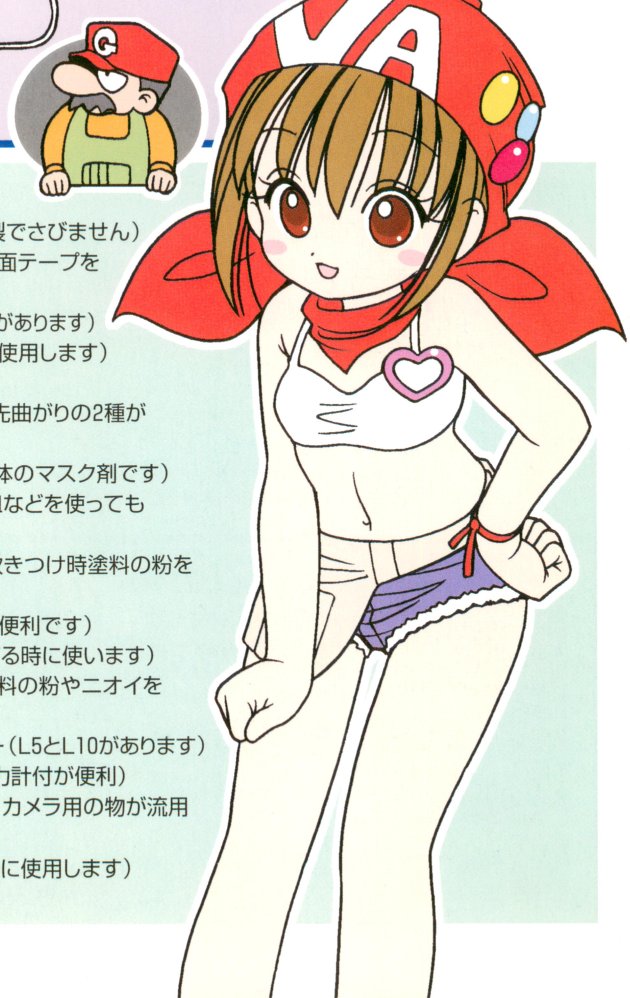
CONTENTS 目次

1 ………… キャラクター紹介
2 ………… 塗装に必要な道具って?
3.4 ………… 塗料の基礎知識
5.6 ………… 塗装前の準備
7.8 ………… 塗装は下地作りで決まる?
9.10.11 … さぁ塗装しよう(筆塗り編)
12 ………… おまけコーナー
13.14.15 … さぁ塗装しよう(ガンダムマーカー編)
16 ………… ガンダムマーカーカタログ
17.18 …… さぁ塗装しよう(マスキングを覚えよう)
19.20 …… さぁ塗装しよう(お手軽吹き付け缶スプレー)
21.22 …… さぁ塗装しよう(プロスプレーに挑戦)
23.24 …… さぁ塗装しよう(いつかはエアブラシ1)
25.26 …… さぁ塗装しよう(いつかはエアブラシ2)
27.28 …… さぁ塗装しよう(仕上げ塗装編)
29.30 …… 便利な塗料・仕上材
31.32 …… keiちゃんRESCUE
33.34 …… Mr.カラーカタログ/Mr.カラー特色、Mr.カラースプレーカタログ
35.36 …… 水性ホビーカラーカタログ/仕上材カタログ
37.38 …… コンプレッサーカタログ
39.40 …… エアブラシカタログ
41.42 …… レギュレーター、スタンド、プロスプレーカタログ/ブース、ルーターカタログ

塗装に必要な道具って?

塗装に必要な道具っていろいろあるよね。
でも、一度に全部そろえる必要はないの。
やりたいことに応じて、少しづつそろえればいいんじゃないかな。
わかりやすいように★の数でわけてみたわ。参考にしてね。
★…必ず準備しよう、
★★…ちょっとグレードアップ
★★★…これで完璧
家の中にもいろいろ使えるものがあるから工夫してみてね。





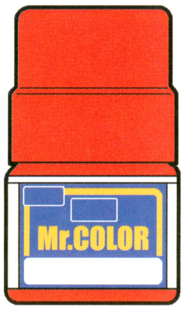
道具のなまえ

上の図とくらべながら見てね!
★必ず必要　★★ちょっとグレードアップ　★★★これがあれば完璧

★❶塗料(空き箱などに整理しておきましょう)
★❷ウスメ液(水性カラーの場合水)
★❸塗料皿
★❹スペアボトル(18ml・40ml入りがあります)
★❺発泡スチロールや箱(乾燥させる際の台にします)
★❻筆洗い容器(ウスメ液のポリ容器などを利用します)
★❼つまようじ(色々利用できます)
★❽カッティングマット(物を切る際に下にしいて使います)
★❾マスキングテープ(紙製。細、太幅を用意します)
★❿両面テープ(マスキング固定や持ち手に使います)
★⓫カッター/デザインナイフ
★⓬はさみ
★⓭洗濯バサミ/クリップ(パーツをはさみ、塗装の持ち手や乾燥させるときに使用します)
★⓮スポイト(ウスメ液を加える時や塗料の混色に使用します)
★⓯ウエス(古いタオルなど多めに準備しましょう)
★⓰ティッシュ(汚れのふき取り、マスキングなどに使用します)
★⓱筆各種(平、丸、面相などを準備しましょう)
★⓲古新聞(周囲を汚さないように下にしいたり、試し吹きに使用します)
★⓳かくはん棒(塗料を混ぜる時に使います)
★★⓴エアブラシ(色々な種類があります)
★★㉑工具箱(つり用の道具箱などが便利です)
★★㉒Mr.トレー(ステンレス製でさびません)
★★㉓持ち手(割り箸や串に両面テープを巻いて使いましょう)
★★㉔各種仕上材(色々な種類があります)
★★㉕綿棒(塗料のふき取りに使用します)
★★㉖Mr.コンパウンド
★★㉗ピンセット(ストレート、先曲がりの2種があれば良いでしょう)
★★㉘Mr.マスキングゾル(液体のマスク剤です)
★★㉙筆立て(穴の開いた灰皿などを使っても良いでしょう)
★★㉚Mr.ストレッチマスク(吹きつけ時塗料の粉をシャットアウトします)
★★㉛手袋(使い捨てタイプが便利です)
★★㉜調色スプーン(色を混ぜる時に使います)
★★★㉝Mr.スーパーブース(塗料の粉やニオイを排気します)
★★★㉞Mr.リニアコンプレッサー(L5とL10があります)
★★★㉟Mr.レギュレーター(圧力計付が便利)
★★★㊱ブロアー(ホコリとばし、カメラ用の物が流用できます)
★★★㊲防塵メガネ(吹きつけ時に使用します)

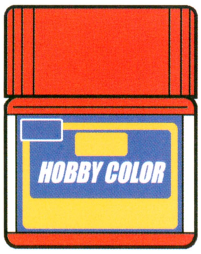
塗料の基礎知識

塗料の種類



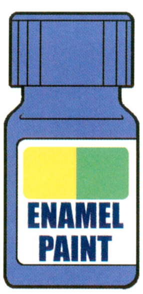
Mr.カラー

溶剤系アクリル樹脂塗料。通称ラッカー系、油性と呼ばれる塗料です。乾燥が早く、塗膜も強い、もっとも一般的な模型用塗料です。色数も豊富で、ほとんどのモデルに適した色をそろえることができます。他の塗料で溶け出すことがありませんので、ベース塗装に適した塗料といえます。ただし乾燥が早いため、筆ムラが出やすい欠点があります。



水性ホビーカラー

水溶性アクリル樹脂塗料、通称アクリル塗料と呼ばれています。最大の特徴は、薄めや洗浄に水を使用できることで、塗料に含まれる溶剤もマイルドになっていますので、安全性の高い塗料です。乾燥が遅いため、ノビ、発色が良く、筆塗りに適しています。もちろんエアブラシでの使用も可能です。水性ホビーカラー用のうすめ液も発売されており、これを使うと乾燥が若干早くなります。



エナメル塗料

ノビが良く、発色も良い塗料で、海外では広く使われている塗料ですが、日本の気候では乾燥に時間がかかり、広い面積の塗装にはお勧めできません。下地の塗膜を傷めないので、その利点を生かし、フィギュアの塗装やスミ入れ、汚しによく使用されます。国産、輸入品があります。



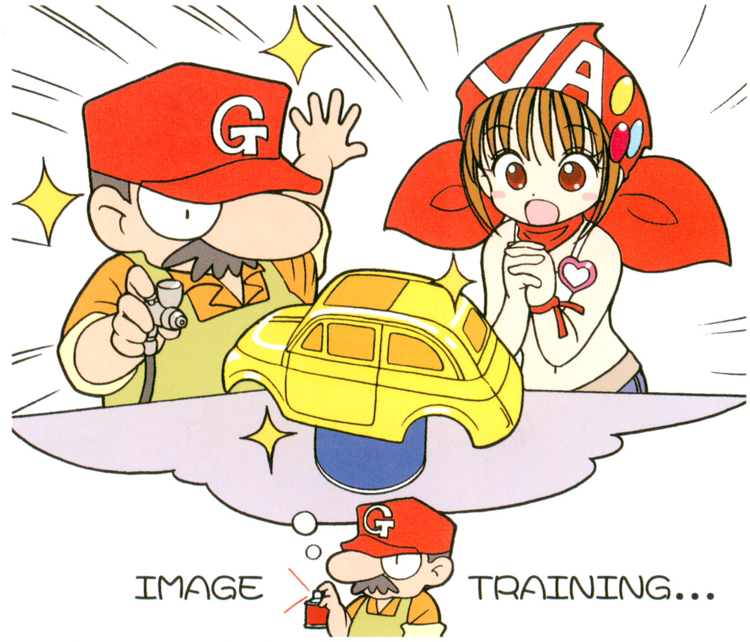
ガンダムマーカー

ガンダムマーカーは手軽に塗装が楽しめる、ペンタイプの塗料です。スミ入れ用、塗装用があります。塗装用はアルコール系塗料を使用し、ノビ、発色に優れています。またスミ入れは、水性ふでペンタイプ、油性タイプがあり、使い分けることにより、リアルな表現ができます。塗膜は比較的弱めですので、ラッカー系塗料の上塗りはできません。



Mr.カラースプレー

ラッカー系のスプレー塗料です。広範囲を同一色で塗装する場合などに大変便利です。自動車モデルのボディー塗装など光沢面を得るために使用される場合もあります。Mr.カラースプレーの場合、光沢、メタリック、マイカ、クリアー色は、Mr.カラーと異なる樹脂を使用しており、ツヤや肉持ち感が向上しています。

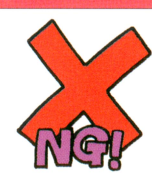


「Keiちゃんやチョットこれを見てくれんかね。」
「どうしたの、店長。これはひどいことになってる。」
「水性ホビーカラーの上にMr.カラーを塗ったら、下塗りが溶けてしまったんじゃよ。どうしたわけだろう。」
「店長は、どうも塗料の性質とかがわかってないみたいね。よく使われる塗料説明と塗り重ね組み合わせ表を作ったからよく見てね。」

下塗り ＼ 上塗り	ラッカー (Mr.カラー)	水　性	エナメル
ラッカー (Mr.カラー)	○	○	◎
水　性	×	○	△
エナメル	×	○	○

OK!!

水　性
エナメル
ラッカー
プラ表面



ラッカー
エナメル
水　性
プラ表面

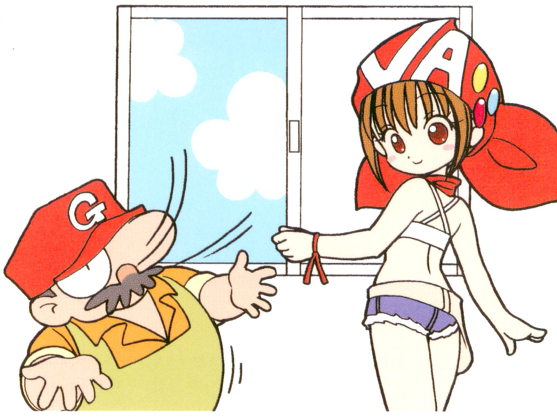
「どう?よくわかった?」
「ナルホド、わしがやったことは×じゃった。実際に重ねてみるとこんな感じかな。」
「これ以外にも、特殊な塗料があるから、製品の注意書きをよく読んでね。」



「どれ、それじゃちょっと試してみるかの。Mr.カラー同士は○じゃ。ほれペタペタ。」
「だめだめ!!」
「おや? どうしたことじゃ。色が混ざってしまったぞ。あの表はインチキじゃ〜。」
「落ち着いて、店長。同じ種類の塗料を重ね塗りする時は、乾く前に同じ所を何度も塗っちゃだめ。溶剤で下地まで溶けてしまうよ。1回ずつ乾燥させながら重ねていってね。」

塗料を使う時の注意

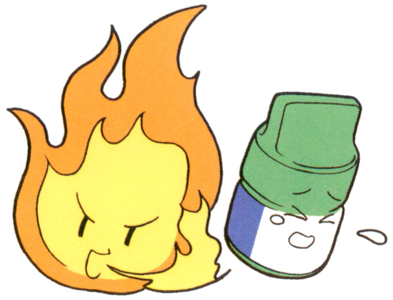
「うーん、何時間も続けて作業していると気分が悪くなるな。」
「なにこれ。早く窓を開けて換気して!」
「わっ、怒られちゃったよ。はいはい」
「塗料を使う時は、いろいろ注意しなくちゃいけないことがあるの。
守らないと事故が起きたり、体の具合が悪くなることもあるから、
説明をよく聞いてね。」
「そりゃ大変だ。Keiちゃん早く教えておくれ。」



●塗装をする時は窓を開けて換気をよくしましょう。換気扇などがあればベストです。長時間作業する時は、時々休みをとってください。

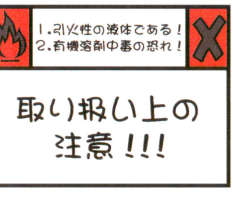


●うすめ液は専用のものを使用しましょう。違う種類のものを混ぜると、塗料が固まったり、変質する場合があります。



●火のそばでは塗装をしないでください。ストーブやファンヒーターの前も危険です。

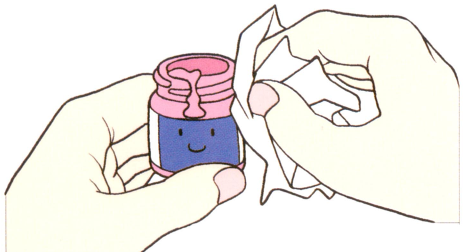
●塗装は天気の良い、風のない日を選んで行いましょう。ホコリ、低温、湿度は塗装の大敵です。



●塗料の容器についている注意書きをよく読んで、正しい使用方法で使いましょう。

塗料の保管

「今日の講座は終わり終わり。それじゃKeiちゃんサヨナラ～」
「店長、チョット待って。使い終わった塗料が出しっぱなしよ。
片付けてください。」
「うーん、めんどくさいなー。Keiちゃんよろしく。」
「あらら、行っちゃった。しかたないわね。
やっといてあげますか。」



ビンのふちについた塗料をティッシュなどでふき取ります。塗料がついたまま閉めるとふたが開かなくなりますので注意。



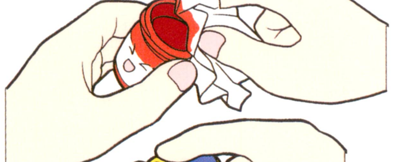
ふたをしっかり閉めます。ふたがゆるむと塗料が漏れたり、うすめ液分が蒸発します。



直射日光のあたらない、涼しい場所に整理して保管しましょう。時々状態を見て、量が減っているようなら、うすめ液を補充しましょう。

塗料を使い終わったら

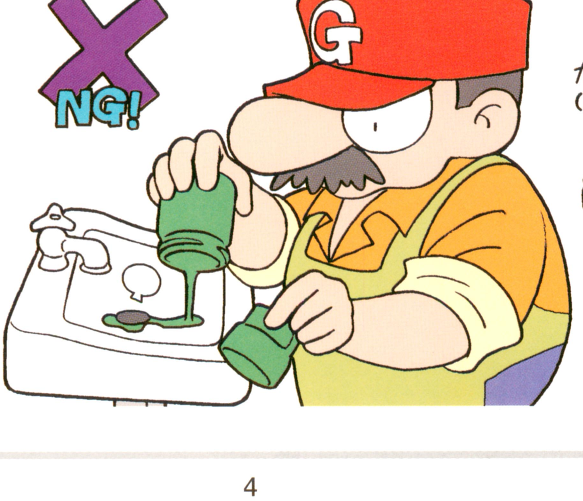
塗料がほとんど残ってない時はビンの中の塗料をきれいにふき取ります。うすめ液などで洗えば、再利用できます。





うすめ液や塗料が多めに残った時は、新聞紙などに吸い取らせ乾燥させます。新聞紙は、可燃ごみとして捨ててください。

「店長何やってんですか?」
「いらなくなった塗料をこう流しにジャーッと　。」
「こらー、そんなことしちゃだめじゃないですか。塗料を捨てる時は注意してください!」
「それじゃどうすればいいんじゃ～。」

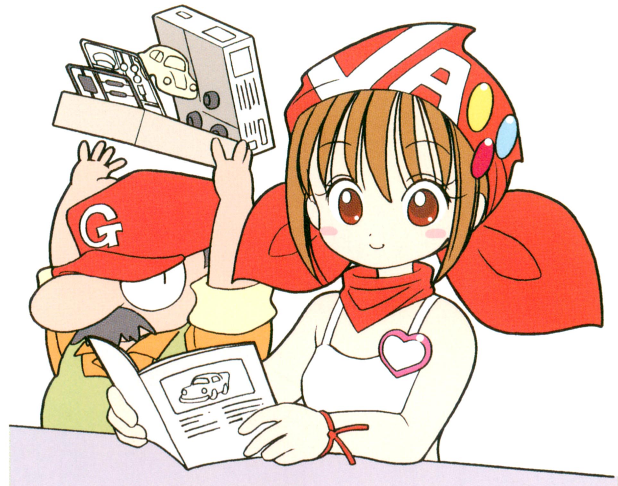




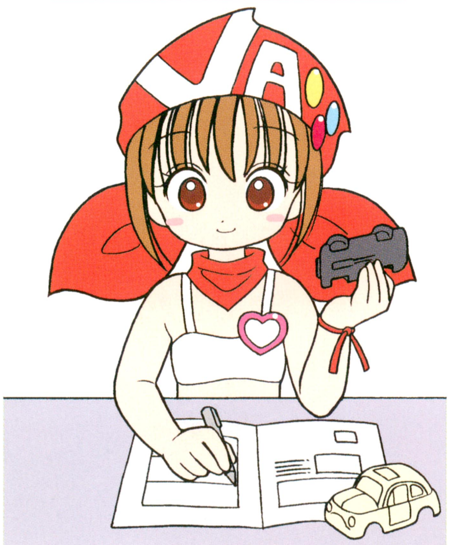
ビンを捨てる時は、資源回収に。ふたやプラボトルは、不燃ごみとして捨てます。地域によってルールがあるので、よく確認して捨ててください。

塗装前の準備

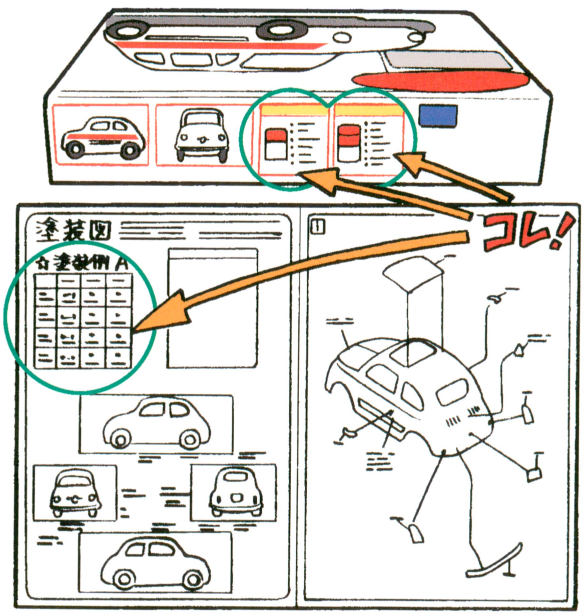
「Keiちゃん何しとるんじゃ。」
「プラモの説明書を見てるの。組み立て前に塗装の順番を考えておかないと、塗れないところがでたりして大変なのよ。」
「わしがよくやる失敗じゃ。そうか!塗り分けなどを考えて、組み立て順を変えてもいいのかな。」
「そうそう。だからそんなことを考えながら説明書をよく読むことが大事なの。それじゃここでは塗装までに必要な準備について勉強しましょう。」



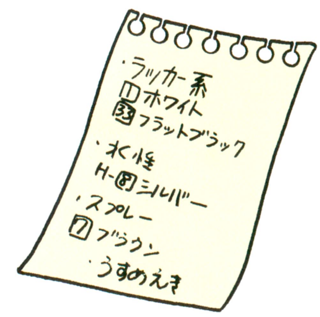
どんな塗装にしよう?



説明書を読み、どんな塗装にするか決定しましょう。その時説明書を色分けしておけば、効率良く塗装でき、塗り忘れなどの失敗が防げます。



箱の横や説明書に書いてある、必要な塗料をチェックしておきましょう。

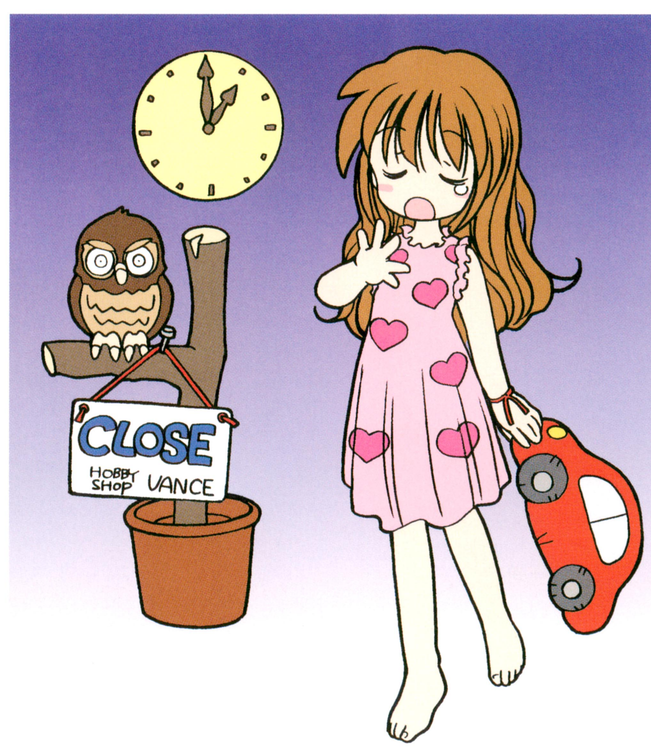


塗料チェックが終わったら、買い物メモを作りましょう。「買い忘れで作業が中断」はよくある失敗です。

お買い物は余裕を持って



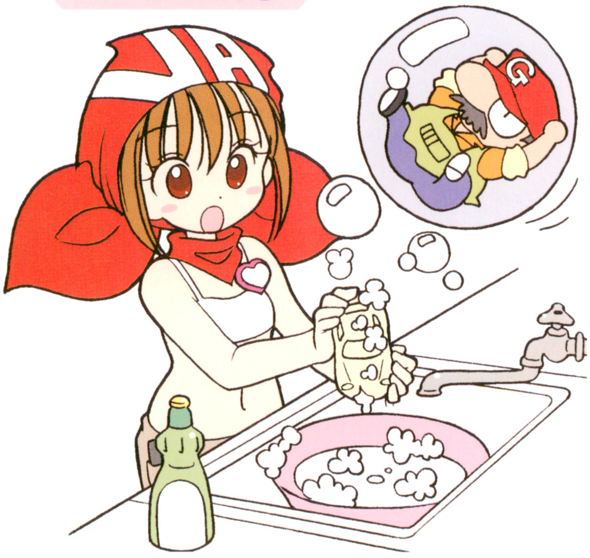
いよいよお店に。メモを確認して必要なものをそろえていきます。よく使う色やうすめ液、エアー缶などは多めに買っておきましょう。なぜかというと……。



作業途中で塗料やエアー缶がなくなった時のショックときたら……。それもだいたいお店が閉まっている時間におきるものなのです。

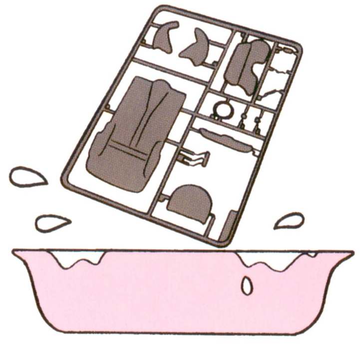
パーツの洗浄

「Keiちゃん、なんでプラモを洗うんじゃ?」
「今のプラモはそんなに神経質にならなくてもいいけど、古いものや外国製のものには離型剤というものがついていて、これが残っていると塗料をはじいてしまうのよ。」
「それじゃ念のため、きちんと洗ったほうがいいんじゃな。」
「そう。特にガレージキットは、クレンザーを使ってしっかり洗うようにしてね。」

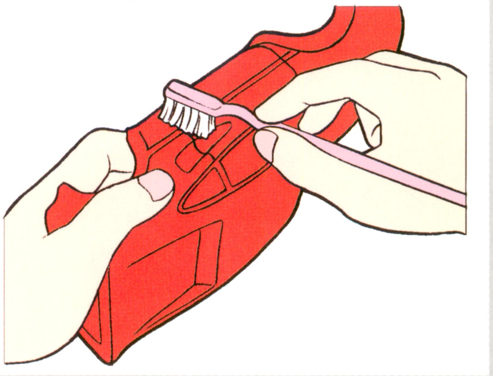


ぬるま湯に溶かした中性洗剤でパーツを洗います。スポンジやブラシは部品を傷める場合があるので、指のはらを使ってやさしく。

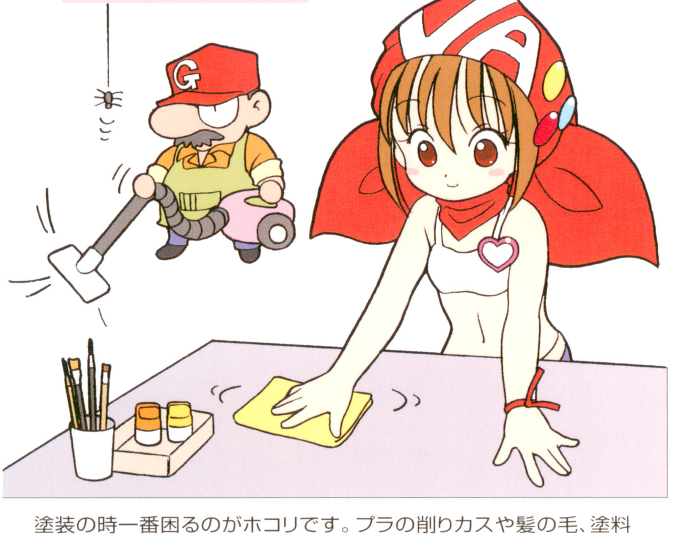
小さいパーツなどは、ランナー(部品のワク)についたまま洗ってください。



隙間やスジ彫りに入りこんだ汚れは、古い歯ブラシを使ってきれいにしてください。



ホコリは大敵!



塗装の時一番困るのがホコリです。プラの削りカスや髪の毛、塗料の粉などそのままになっていませんか? 塗装を始める前に部屋、机の上をきれいにしましょう。

服装チェック



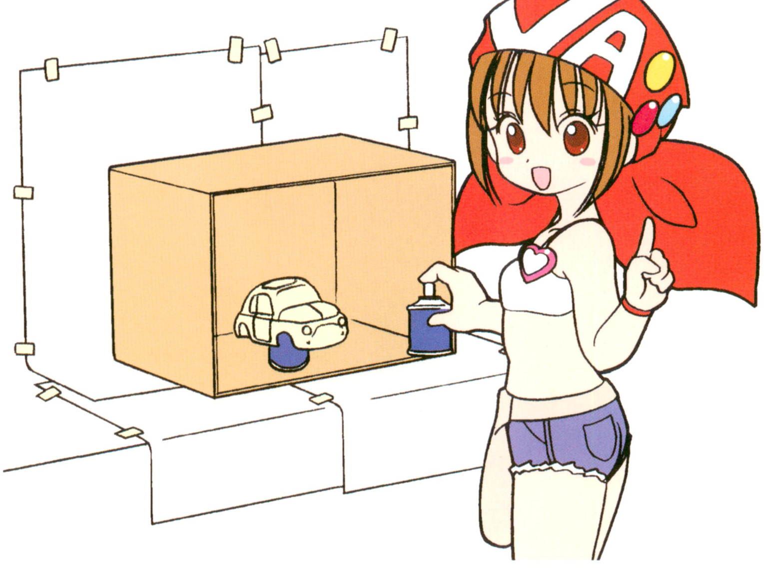
塗装作業は、塗料をこぼしたり、吹き付けの残りが付着したりと服を汚しやすいものです。動きやすく、ホコリの出にくい古い服を作業用に準備しましょう。

部屋を汚しちゃダメ!

部屋を汚してしまっては、プラモ作り禁止になるかも。古新聞などを広めに敷いて汚れを防止しましょう。

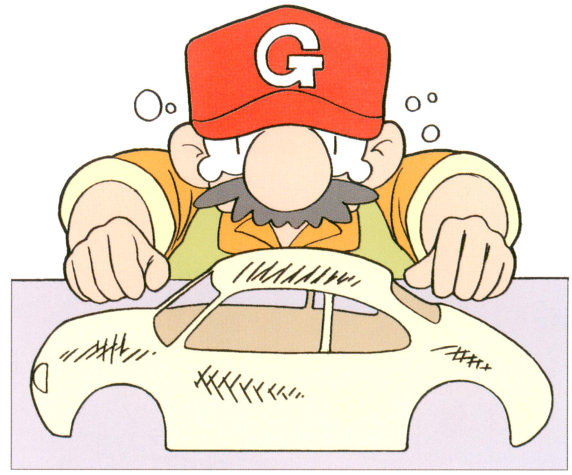


吹き付けをするのなら、ダンボール箱などを用意し、塗料のキリを防ぎましょう。今はやりの塗装ブースがあれば完璧ですね。

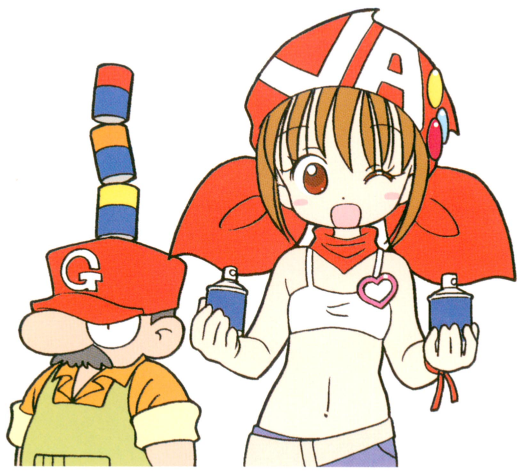


塗装は下地作りで決まる？
——下地処理剤の使い方——

「なんでこんなところにキズがあるんじゃ。塗装で隠れると思ったら、かえって目立ってしまったぞ。
「どうしたの？ 店長」
「Keiちゃんいいところにきてくれた。塗料でキズは隠せないのか。」
「それは無理よ。きれいな塗装をするには、きちんとした下地を作っておかないとだめ。塗装前の準備として、下地作りをちょっと勉強しましょう。」



サーフェイサーについて

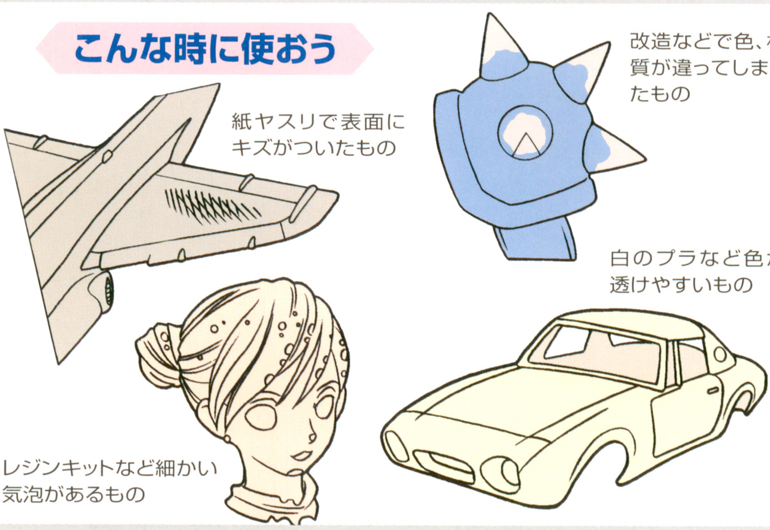




ビンとスプレーがあるけど、きれいに塗るにはスプレータイプが便利よ。

サーフェイサーには、数字がついています。数字の小さいほうから大きい方へ順に細かい粒子になっています。紙ヤスリと同じですね。表面の状態で、大きいキズがあるものは粗いもの、塗装の下地などには細かいものを使用しましょう。レジンプライマー・サーフェイサーは、レジンキット専用で、プラに使用すると、プラを溶かしてしまいます。

こんな時に使おう



紙ヤスリで表面にキズがついたもの

改造などで色、材質が違ってしまったもの

白のプラなど色が透けやすいもの

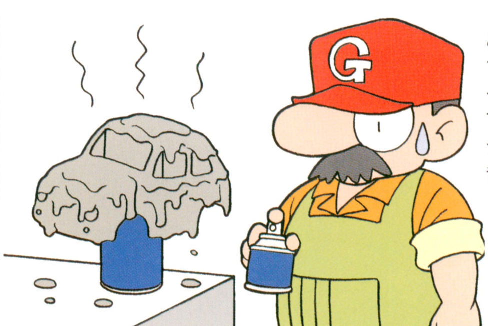
レジンキットなど細かい気泡があるもの

吹き付け前に

サーフェイサーなどを塗る前にホコリ、汚れをきれいに取りましょう。



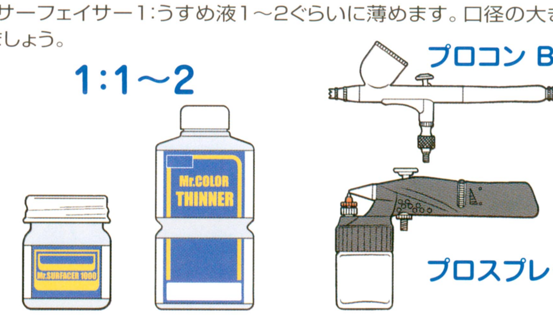
サーフェイサーの塗装



これは吹き付けすぎですね。モールドが埋まってしまわないよう、少しずつ吹き付けましょう。

エアブラシでサーフェイサーを吹く時は

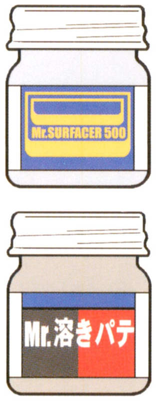
よりきれいな仕上がりを目指すなら、ビン入りのものを使い、エアブラシで吹き付けましょう。サーフェイサー1:うすめ液1〜2ぐらいに薄めます。口径の大きいエアブラシを使用しましょう。



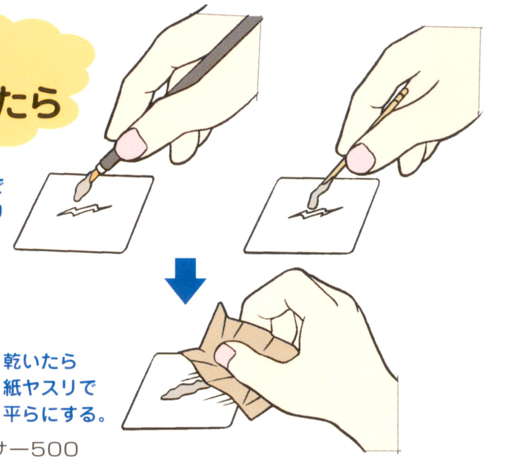
仕上げましょう

塗装後半日ほど置いて、表面をチェックしましょう。グレーになっているので、表面の状態がよくわかります。1000番ぐらいの耐水ペーパーで水をつけずに磨けば、表面状態がよりわかりやすくなります。キズがあれば修正を行い、軽くサーフェイサーを吹き最終仕上げを行います。





キズを見つけたら



筆やつまようじでキズの部分に盛りつけます。

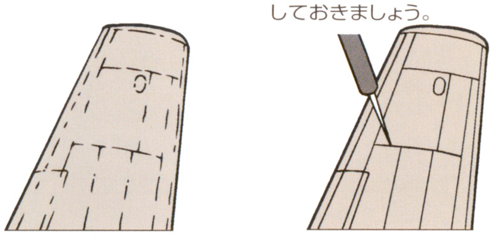
乾いたら紙ヤスリで平らにする。

キズや気泡を見つけたら、サーフェイサー500や溶きパテで修正を行います。段差の処理忘れなどがあれば、ここで修正してください。

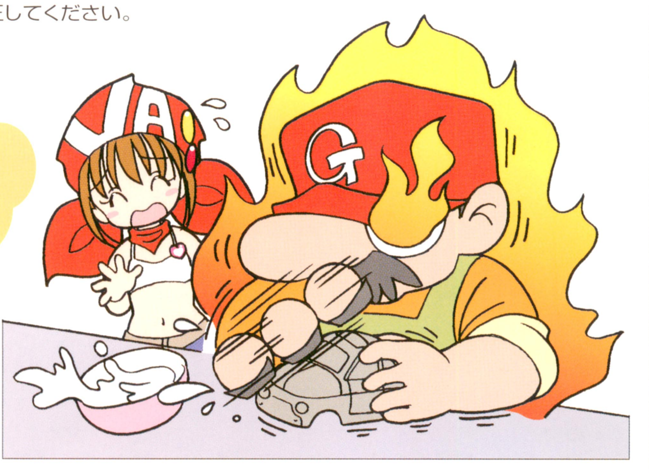
モールドが埋まっていたら

吹き付けすぎで、細いスジ彫りなどが埋まってしまいました。

ケガキ針などでモールドを彫り起こします。シャープさがなくなったスジ彫りなども修正しておきましょう。





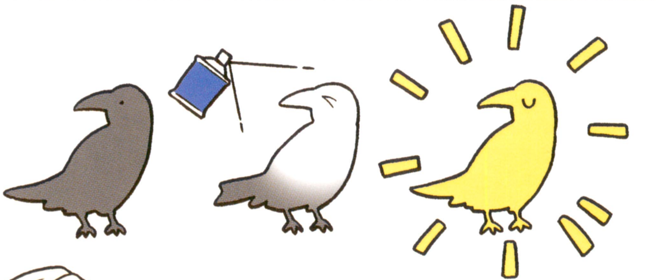


仕上がり後は、削りカスなどが付着していますので、塗装前にきれいにしておきましょう。

ホワイトサーフェイサー／ベースホワイト



ホワイトサーフェイサーは、色が白のサーフェイサーです。使い方は通常のサーフェイサーと同じです。上に塗る色が明るいもの（白、黄、赤など）の下地作りに最適です。ベースホワイトは、塗装の下地に最適な隠ぺい力の強い塗料です。大きなキズのない表面に使用します。サーフェイサーほどではありませんが、若干のキズ埋め効果もあります。

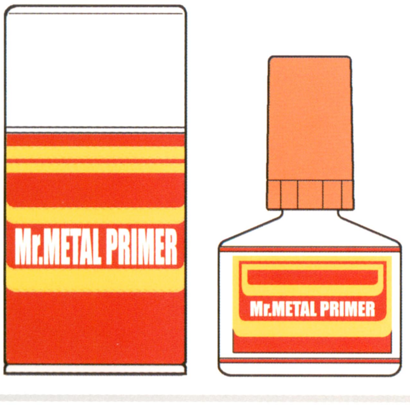


たとえば、黒い成型色の上に黄色をいきなり塗ってもきれいに発色しません。一度白の下塗りをして塗装すれば、ほらこのとおり。



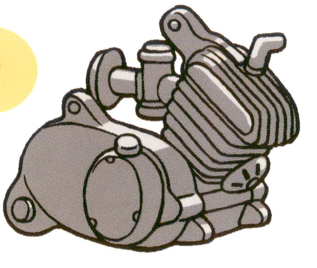
フィギュアなどのクリアー塗料による仕上げの下地にも最適です。

メタルプライマーについて



金属の上に直接塗装しても簡単にはがれてしまいます。そこで登場するのが、メタルプライマーです。塗装前の金属部分にメタルプライマーを塗っておけば（1回塗りでOK）、塗料のはがれを防止できます。

こんなところに使おう



金属部品の酸化防止にも役立ちます。



ホワイトメタル、塩ビフィギュアの下塗りに。



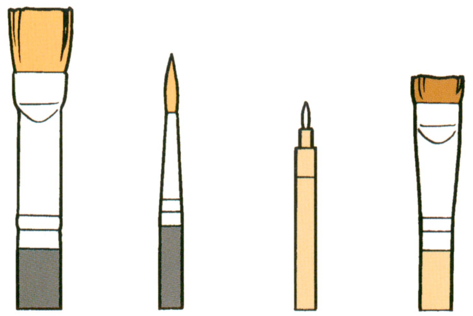
エッチングパーツを使った模型の下塗りに。プラ、金属部に関係なく使用できます。

さあ塗装しよう
——筆塗り編——

「下地もきれいにできたし、いよいよ塗装じゃ。筆と塗料を準備して……そりゃ!」
「チョット待って!ビンにいきなり筆を突っ込んじゃダメじゃない!」
「わしはいつもこれじゃ。男らしいじゃろう。」
「塗料はそのまま使うと濃すぎるし、筆も1本だけだと塗れないところもでるでしょ。」
「筆塗りは簡単だと思っていたけど、いろいろ面倒じゃな。」
「広い面積はスプレー塗装のほうがきれいに仕上がるけど、筆じゃなきゃ塗れないところもあるし、塗装の基礎が覚えられるからしっかり勉強しましょうね。」



筆塗りの準備



平　筆
広い面積に

丸筆（細）
中ぐらいの太さ

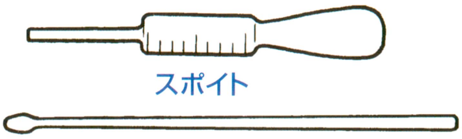
面相筆
細かい部分の塗装

ウエザリングブラシ
汚し塗装をしない場合は必要ありません

まず筆塗りに必要なものをそろえてみましょう。筆選びは重要です。ここはケチらないで、高くても品質の良いものを選びましょう。穂先がばらけたり、毛が抜けるようなものは、あとあと失敗の元になります。種類は、イラストのようなものがあれば良いでしょう。塗料を薄めるためのツールもあわせて準備します。模型店ですべてそろえることができます。

塗料は薄めたり色を混ぜる場合があります。筆のほかにこのようなツールを準備しておきましょう。必要なものがセットになったものもあるので、それを使っても良いでしょう。





スポイト

調理スプーン

塗料の薄め方、混ぜ方

ビン入りの塗料は、そのまま筆塗りするには少し濃すぎます。薄めて使用したほうが、塗りやすく、仕上がりがきれいになります。

——筆塗り用塗料の出し方——

塗料を棒などを使い、底のほうからしっかり混ぜます。

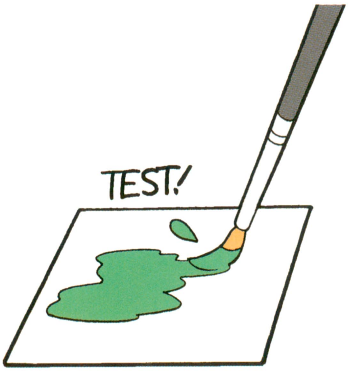
塗料を塗料皿に必要な分量だけ移します。調色スプーンなどがあれば、正確に量が計れます。





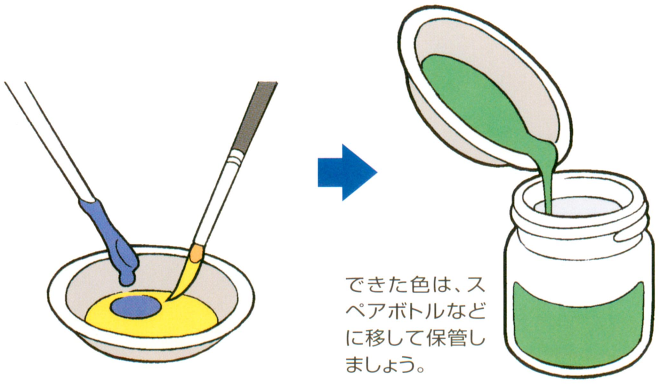
塗料1に対しうすめ液を0.8〜1.0加えます。塗料は保管しておくと濃度が濃くなります。加えるうすめ液の量は塗料の状態に応じて調整してください。

実際に塗る前に試し塗りをしましょう。塗るものと同じ素材に塗ってみて塗料の濃さなどを確認します。塗料は乾燥すると色が濃くなります。思ったとおりの色になっているかも確認しておきましょう。



——色を混ぜる時は——

塗料を混ぜて使う場合も多いと思います。混色の際の基本は、薄い色に濃い色を少しずつ混ぜること。反対にすると思う色になかなかならず、大量に塗料が必要になります。また混合色は多めに作っておきましょう。あとで同じ色を作ることは不可能です。



できた色は、スペアボトルなどに移して保管しましょう。

同じ分量だけ混ぜたのに……



筆塗りの基本

さていよいよ実際の塗装です。広い面積をムラなく塗装するには、ベテランでも難しいものです。ここでは、ムラになりにくい塗装法を覚え、あとは経験あるのみ!

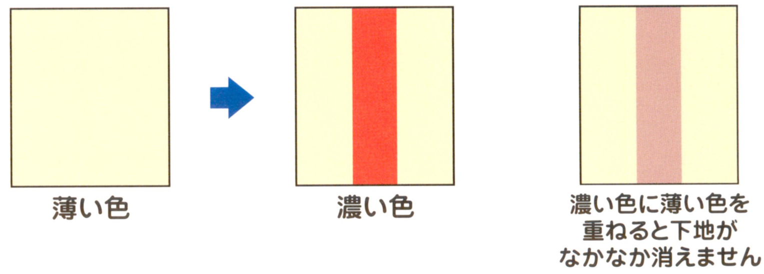


筆の半分ぐらいまで塗料を含ませます。あまり塗料をつけすぎると、筆の運びや塗膜に悪影響がでます。



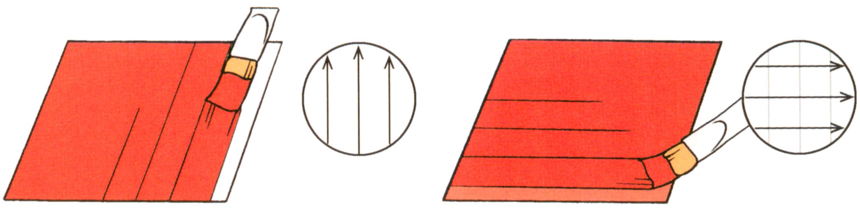
塗る順番について

2色以上の色を塗り重ねる場合は、順番を考えておきます。薄い色をベースとして順に濃い色を塗り重ねるようにします。逆にすると下地の色がなかなか消えず、塗膜が厚くなってしまいます。



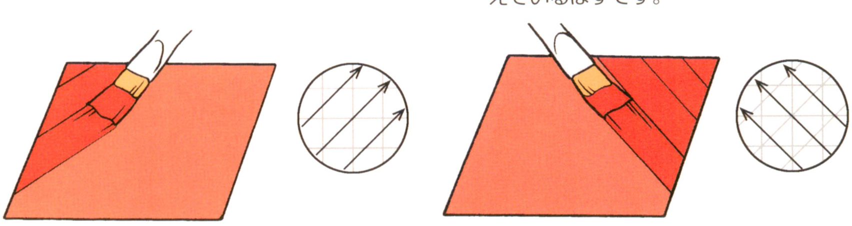
❶ 一定方向に線が大きく重ならないよう筆を運びます。この段階でムラがでても気にせず、どんどん塗っていきましょう。

❷ 1回目が充分乾燥したら、最初に塗った線に直角に交わるよう塗り重ねます。



❸ 乾燥後、今度は斜めに交差するよう塗り重ねます。

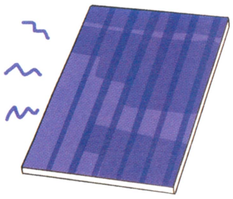
❹ 3回目の塗装と直角になるよう、塗り重ねます。この段階では、ムラはかなり消えているはずです。

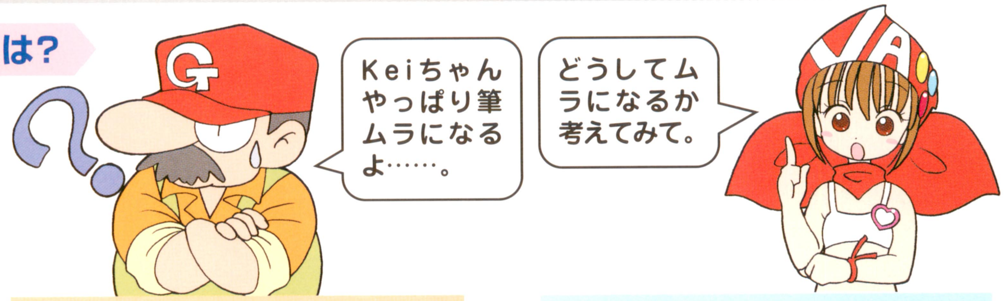


筆塗りできれいに仕上げるには?

ムラはなぜできる

気をつけて塗っても、どうしても筆ムラは出てしまいます。どうすれば筆ムラが出にくいか考えながら塗装してみましょう。





ムラの原因

- 乾燥する前に塗装面を筆でなぞる(返し筆など)。
- 塗料の付けすぎにより色の濃淡がおきる。
- 塗料が濃すぎて滑らかな筆さばきができない。
- 乾燥が早く、平滑になる前に乾燥する。

ムラをなくすには

- 同じ場所を乾燥する前に何度もなぞらない。
- 筆に塗料を付けすぎない。
- 塗り始めたら迷わず一定方向に滑らかに筆を動かす。
- 適度な濃さに塗料を薄める。
- リターダーマイルドやレベリングうすめ液を使用し、乾燥を遅らせる。

Mr.カラーできれいな筆塗りをするには

塗料の伸びを良くし、ゆっくり乾燥させれば筆ムラはかなり目立たなくなります。そこで登場するのがリターダーマイルド、レベリングうすめ液です。光沢塗装のように筆ムラの目立ちやすい塗装には最適の仕上材です。





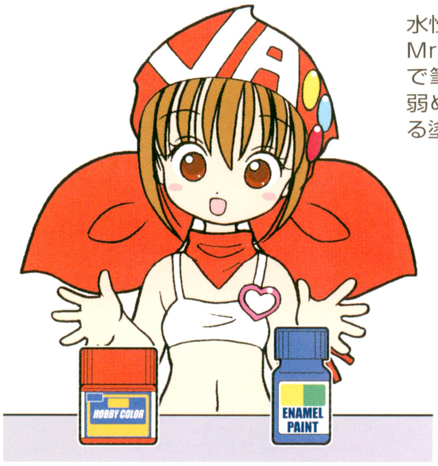
塗料に対し5%〜10%入れます。レベリングうすめ液は調整済みですので、通常に薄めてください。

入れすぎに注意



リターダーの入れすぎには注意!入れすぎると塗料がなかなか乾かず、ホコリや指紋が……。

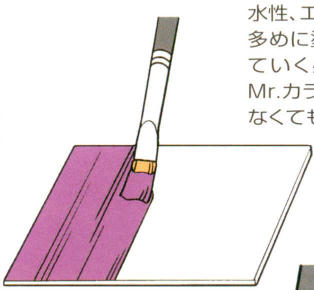
水性ホビーカラー、エナメル塗料を使う



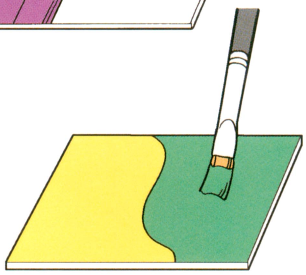
水性ホビーカラー（アクリル）やエナメルカラーは、Mr.カラーに較べ乾きが遅く、隠ぺい力も強いので筆塗りに適した塗料といえます。ただし塗膜は弱めなので、ベース塗りに使用すると重ね塗りする塗料に注意が必要です。



薄めは、Mr.カラーほど薄める必要はありません。エナメルカラーには専用の溶剤を、水性ホビーカラーは水で薄めてください。



水性、エナメルとも伸びが良いので、多めに塗料を含ませ、表面をおおっていく感覚で塗装してください。Mr.カラーほどムラに神経質にならなくてもOKです。



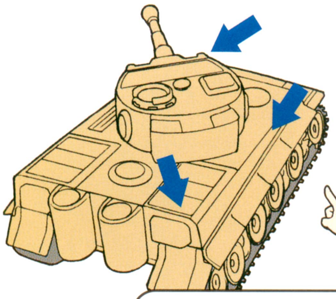
Mr.カラーの上に、水性、エナメル塗料は相性抜群です。失敗しても下地を傷めず落とすことが可能です。

筆塗りのテクニック

ここは筆塗りの小ワザ集です。覚えておけばいろいろな場面で役立つテクニックです。経験をつんで自分なりのワザも加えていってください。

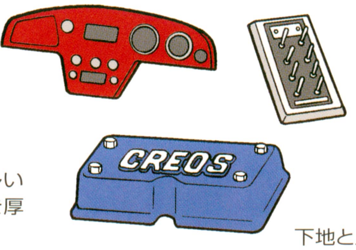
立体をきれいに塗るには

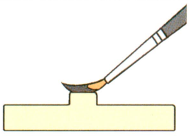
模型の塗装の場合、平面より何らかの立体物に色を塗る場合が多いものです。エッジやくぼんだところを最初に塗っておけば、塗膜を厚くすることなく均一に塗装することができます。



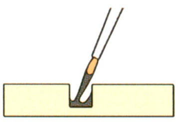


細かい部分の塗装



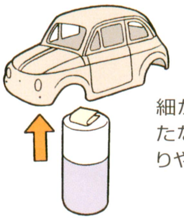


細かい凸の部分は、筆のはらを使って塗装しましょう。



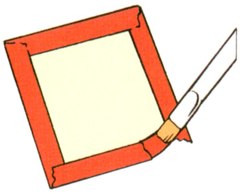
反対に凹の部分は穂先を使い、塗料を流し込むように塗装します。

下地と上塗りの塗料の種類を変えておけば、はみだしてもふき取りできます。

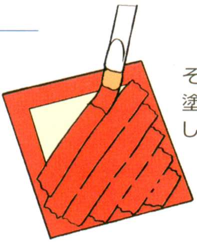


細かい塗装をする時は、スプレーのふたなどに部品を貼り付け固定すると塗りやすいです。

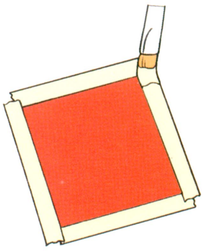
囲まれた部分の塗装



まず囲まれている部分の外周を塗ります。



その中を塗りつぶします。

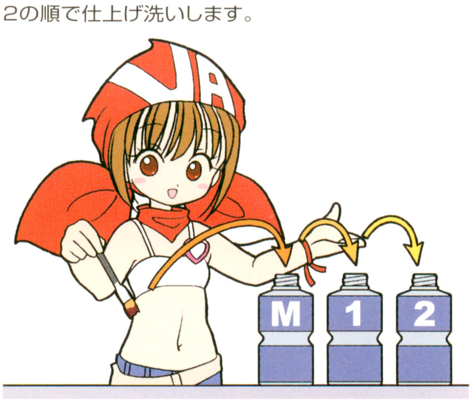


塗った部分を囲んでいる色で角をだしながら塗ると仕上がりがきれいです。

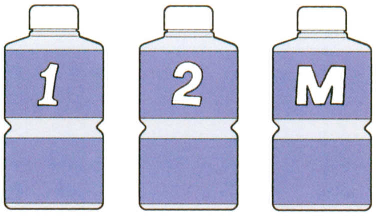
塗ったあとは……

塗り終わったら、すぐに道具の手入れをしましょう。せっかくいい道具を使っても、手入れを怠ってはなんにもなりません。特に筆は塗料が固まると完全に元には戻りませんのでご注意を。

筆洗いは2段階で行えば、かなりきれいになります。メタリックは最初にメタリック専用で洗浄してから1、2の順で仕上げ洗いします。



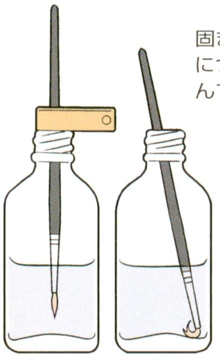
筆洗いうすめ液の準備



筆洗い専用の容器を用意します。最初の洗い用、その次に仕上げ洗い用、メタリック専用の3本を準備すれば完璧です。仕上げ洗い用が汚れてきたら、最初の洗い用に格下げです。汚れていてもしばらく置けば汚れが沈殿し、上澄み部分ができます。このきれいな部分は、別容器に移し、新しい溶剤を足して使いましょう。メタリック専用は一般用に使いまわししないほうが良いでしょう。



洗った筆は、穂先を整えながら、ティッシュなどで軽くふき取ります。



固まってしまった筆は、穂先がビン底につかないようにして溶剤に漬け込んでおきます。



洗い終わった筆は、穂先があたらないようにして保管しましょう。

おまけコーナー Keiちゃんの仲間たち その1





＜モケイ仙人＞

Keiちゃんがピンチの時に現れる、謎の老人。
模型作りに関して、彼に不可能なことはない!
その正体は、Keiちゃんのおじいちゃんであり、巨大プラモデルメーカーの会長なのだ!

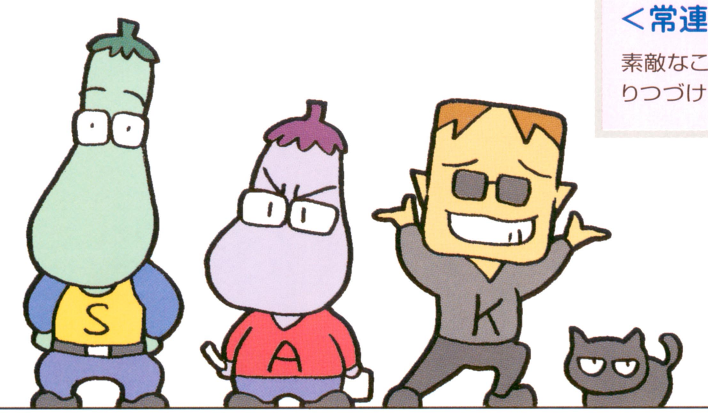


＜模型犬・プラモ＞

ホビーショップVANCEの番犬。
キャプテンGの作ったプラモデルを勝手に持ち出して壊すのが大好き。
雑種・オス・生後2ヶ月。

＜常連客の皆さん＞

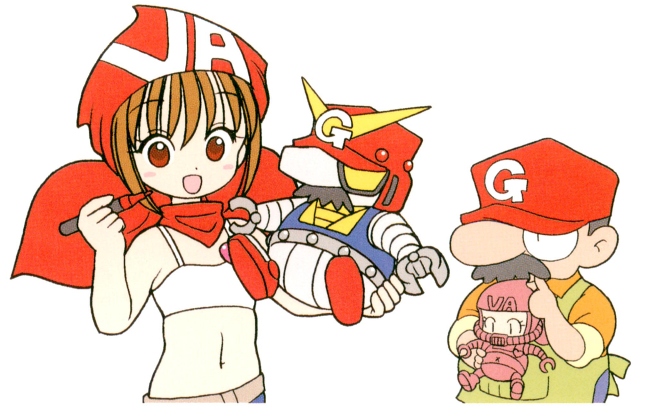
素敵なこだわりで模型を作りつづける永遠の少年たち。





GUNDAM MARKER

「うーんロボットができあがったけど、なんか箱絵とちがうな～」
「ちょい、ちょいと。このごろのアニメキットは色分けがされているから、ガンダムマーカーでちょっと塗るだけで、すごくかっこよくなるわね。」
「おーすごい。Keiちゃんそれはなんじゃね。」
「店長ガンダムマーカーしらないんですか。塗料とペン先が一緒になったとても便利なペンですよ。」
「それじゃ塗料も筆も準備しなくていいいんじゃな。それは楽ちんだ。」
「めんどくさがり屋の店長にはぴったりね。それじゃ一緒に勉強してマーカーマスターをめざしましょう。」



マーカーの種類

ガンダムマーカーには、塗装用、スミ入れ用2種類、汚し塗装用など4種類のタイプがあります。それぞれに得意な分野があるので、目的によって使い分ければ、完成度がぐんとアップします。

ガンダムマーカー塗装用



塗装用は、広い面積から部分塗装までをこなせる平芯のペン先を採用した、伸び、発色の良いアルコール系塗料です。

ガンダムマーカー・スミ入れ用／極細



スミ入れ用は、極細ペン先を採用したスジ彫り塗装用の油性マーカーです。定着性が良く、簡単にリアルな仕上がりが可能です。

ガンダムマーカー・スミ入れふでペン



スミ入れふでペンは、より細かいスジ彫りの塗装に最適なマーカーです。ペン先はふでタイプ、特殊水性インクを使用しているので、下地の塗料を選ばず、はみ出しは、ふき取ることができます。

ガンダムマーカー・ウエザリングマーカー



リアルな仕上げをするなら、汚し塗装専用のウエザリングマーカーです。水性なので下地に影響を与えず、汚しができます。ふき取りタイプ、ペイントタイプがありリアルな仕上げが可能です。

ガンダムマーカー・消しペン



消しペンは、はみ出したマーカーをさっと取ることができる、消しゴムのようなマーカーです。はみ出した部分をこすることにより、余分なマーカーを溶かし、きれいにします。

ガンダムマーカーリアルタッチマーカー



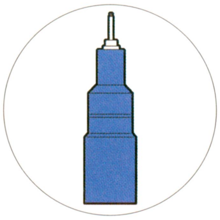
汚れや、ぼかし塗装を、手軽にリアルなタッチで表現できるマーカーです。安全性に配慮して、水性ベースを採用しています。



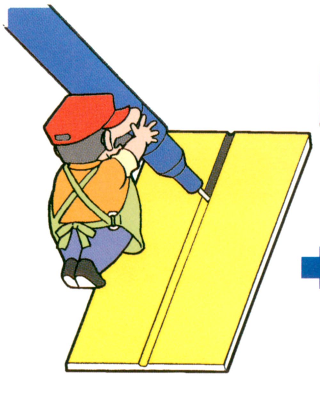
スミ入れ塗装

それでは、まずスミ入れをしてみましょう。スミ入れは、キットのスジ彫りに色を塗ることにより、立体感、リアル感を増す方法です。色分けしてあるキットなら、スミ入れをするだけで、見違えるような仕上がりになります。

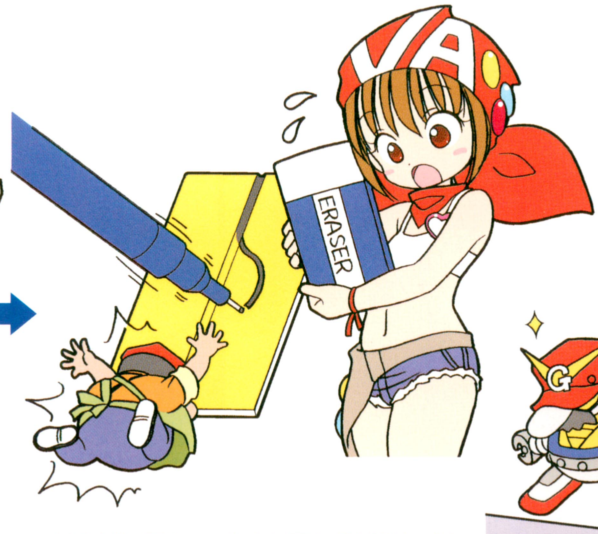
スミ入れ用／極細の使い方



黒色	グレー色	茶色
青やグレーなど色の濃いパーツに	白いパーツに	金メッキや赤いパーツに

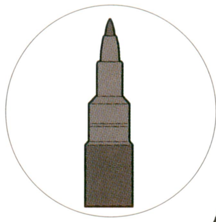


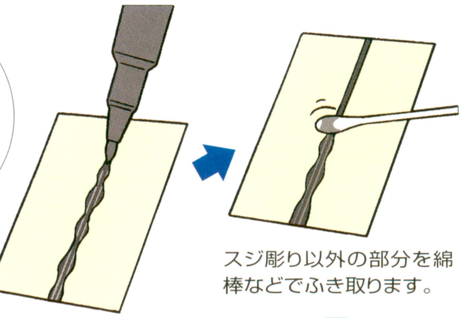
スジ彫りにそってペンを動かします。



はみ出しても、つやあり面ならば消しゴムで消すことができます。

スミ入れふでペンの使い方

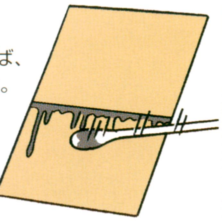


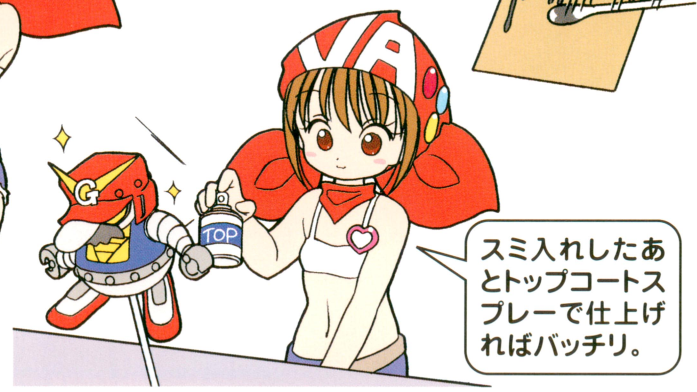


スジ彫り周辺をさっと塗ります。

スジ彫り以外の部分を綿棒などでふき取ります。

応用で、下に流れたようにふき取れば、雨で汚れた状態などを再現できます。



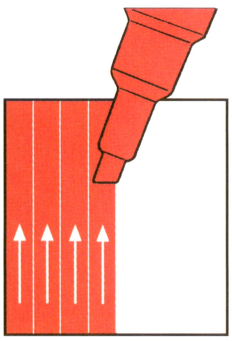


ガンダムマーカーの塗装

もともとのキットの色を使った仕上げも簡単で良いのですが、ワンランク上を目指すならマーカーを使った塗装にも挑戦してみましょう。色分けがされていても、金型の関係で色がついていない場合もあります。その部分を塗装するだけでも、他とは違う仕上がりになります。



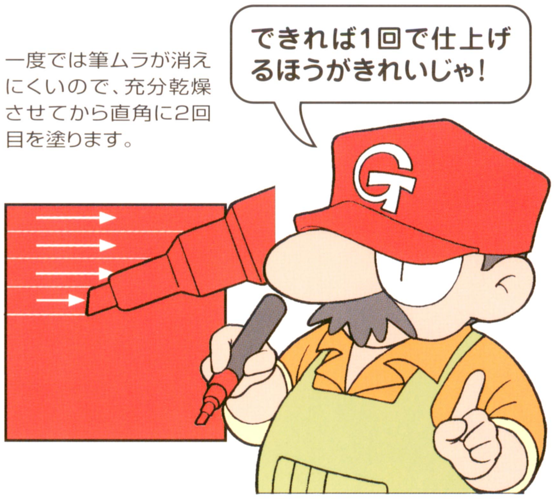
広い面積を塗る



ペン先に塗料を出したら、一定方向にあまり重なり合わないようすばやく塗っていきます。

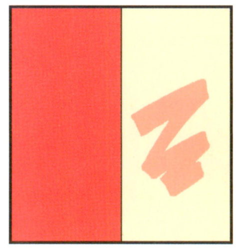


一度では筆ムラが消えにくいので、充分乾燥させてから直角に2回目を塗ります。

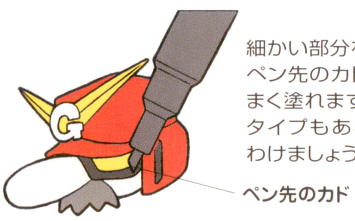


塗り分けの注意

塗り分ける時は、2つの色が重ならないよう、きちんと塗り分けます。重ね塗りをすると下地の色が溶け出す場合があります。

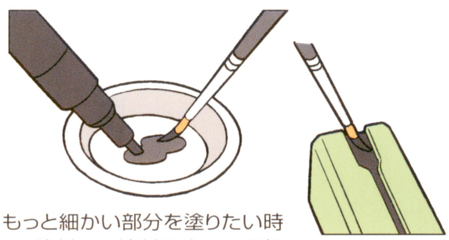


細かい部分を塗る



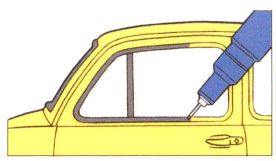
細かい部分を塗る時は、ペン先のカドを使うとうまく塗れます。また先細タイプもあるので使いわけましょう。

ペン先がどうしても入らない場所は……。



もっと細かい部分を塗りたい時は、塗料皿に塗料を出して面相筆で塗りましょう。

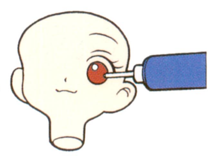
たとえばこんな使い方



凸モールドの塗り分けに



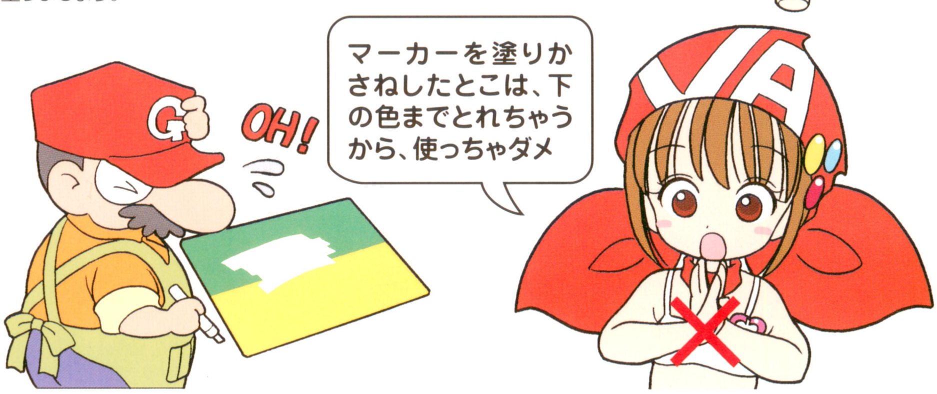
自動車モデルの銀モールやゴムモールの塗装に

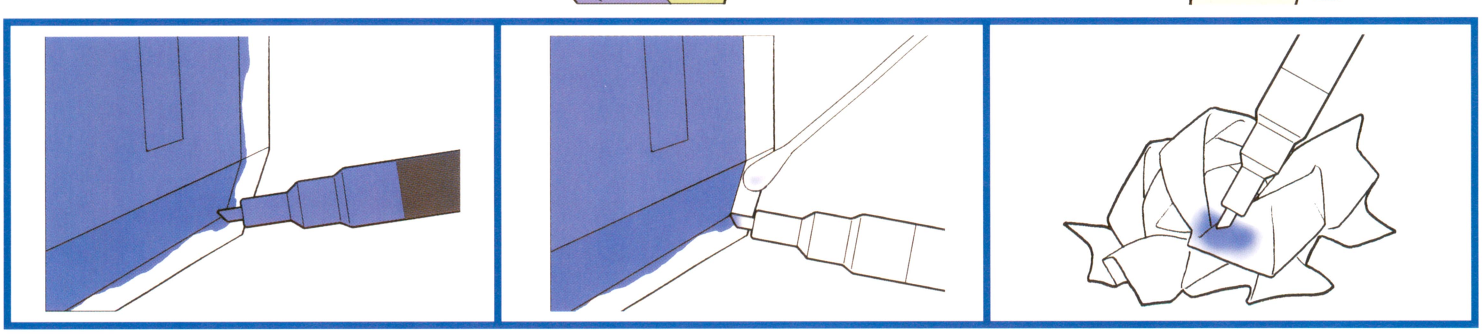


スミ入れマーカーを使い、フィギュアの目の塗装に

マーカー消しペンを使ってみよう

どんなに注意してマーカーを塗っても、どうしても余分なところに色がついてしまうものです。そんな時活躍するのが消しペンです。マーカーの中に専用の溶剤がはいっていて、まるで消しゴムのようにマーカーを落とすことができます。





①おっと!! 注意して塗っていたのに、はみ出して余分なところに色がついてしまいました

②ペン先を押し、溶剤をしみこませた消しペンで、はみ出した部分をこすります。余分な塗料がペン先に移ります。またとりきれない部分は、綿棒などでこすり落とします。

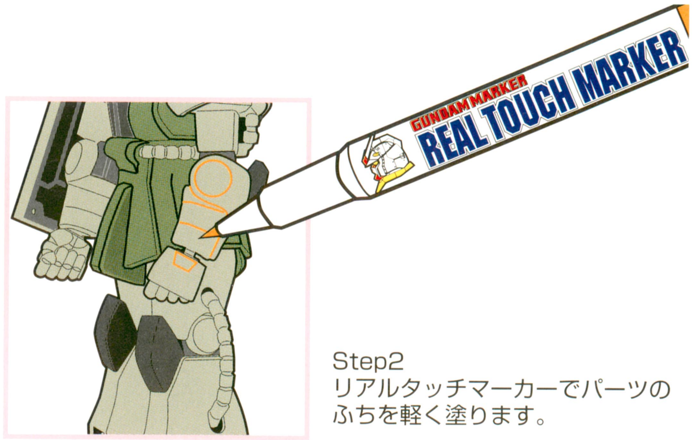
③ペン先に移った塗料は、ティッシュなどの上でペン先を押せば、きれいになります。いつもペン先をきれいにしておきましょう。

リアルタッチマーカーでリアル仕上げ

パーツのふちやスジ彫りの部分をリアルタッチマーカーで縫った後、専用のぼかしペンで色をぼかします。機体の使いこまれた感じをリアルに表現できます。

Step1
リアルタッチマーカーがよく塗れるように全体を、Mr.スーパークリアーつや消し、又はトップコートつや消しで塗ります。

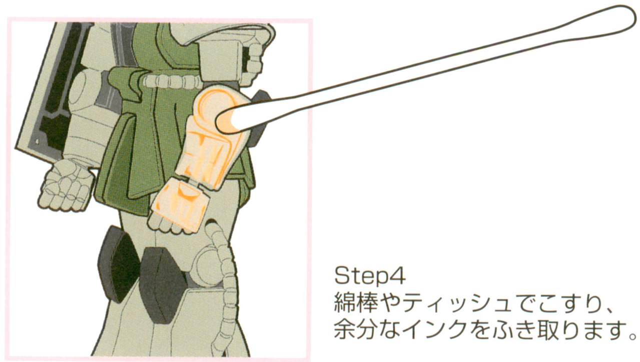




Step2
リアルタッチマーカーでパーツのふちを軽く塗ります。



Step3
ぼかしペンでインクをブレンディングします。



Step4
綿棒やティッシュでこすり、余分なインクをふき取ります。

ウェザリングマーカーでリアル仕上

使い込まれた機体は、ホコリやススなどがついたり、塗装がはげてしまいます。これをリアルに再現することにより、より生き生きとしたモデルが完成するのです。実際の飛行機や車などを観察しどのような汚れがつくかを研究しましょう。でも汚しすぎはだめ。きたなくならないよう、ほどほどにしておきましょう。





●塗装用／水性ふきとりタイプ
●塗装用／水性（ペイントタイプ）
●塗装用／水性（ペイント細先タイプ）

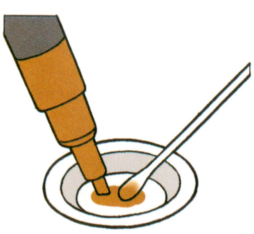
この3種類のマーカーは、それぞれ特長があるので、箱の説明をよく読んでから使ってください。

水性ふき取りタイプ

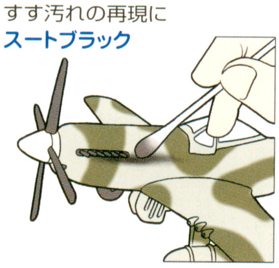
ふき取りタイプは、乾燥後ふき取ることができます。綿棒などでカッコ良くふき取ってください。また乾燥した塗料を綿棒などでこすりつけてもおもしろい効果がでます。

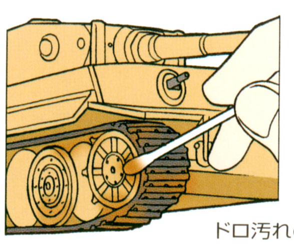


すす汚れ
ドロ汚れ
の表現に



すす汚れの再現に
スートブラック





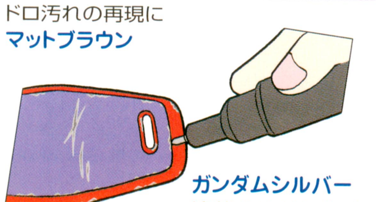
ドロ汚れの再現に
マットブラウン



塗装用／水性（ペイントタイプ）
水性（ペイント細先タイプ）

塗装用／水性（ペイントタイプ）は、下地を溶かさず、塗りかさねができます。細先タイプは、ペン先が細くなっているので、細かい汚し塗装に最適です。乾燥後は、ふき取ることができないので、注意してください。

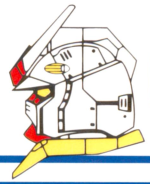
焼けた金属
塗装のはがれ
表現に



ガンダムシルバー
塗装のはがれやすい角などにチャンチャンと塗ります。



バーント
アイアン
バーニアなどの塗装に



商品企画 株式会社バンダイ ホビー事業部 ©創通エージェンシー・サンライズ・毎日放送 ©創通エージェンシー・サンライズ

GUNDAM MARKER CATALOG

●ガンダム マーカー カタログ●

ガンダムマーカー

ガンダムマーカーは、ガンダムやBB戦士のオリジナルカラーを簡単に再現できる人気のマーカーです。〈塗装用〉、〈スミ入れ用〉、〈スミ入れ用ふでペン〉の3種類がそろっています。塗装用は発色にすぐれたアルコール系塗料で色あざやか。スミ入れ用とスミ入れ用ふでペンは、モデルのディテールをひきしめるすじ彫りの塗装用です。

■各色¥200／¥210(税込)

GM100メッキシルバー
■¥300／¥315(税込)



（スミ入れ用）油性



（塗装用）アルコール系



スミ入れ用ふでペン 水性



GM01	スミ入れ用(ブラック)	すじ彫り塗装用
GM02	スミ入れ用(グレー)	すじ彫り塗装用
GM03	スミ入れ用(ブラウン)	すじ彫り塗装用
GM20	スミ入れ用ふでペン(ブラック)	すじ彫り塗装用
GM21	スミ入れ用ふでペン(グレー)	すじ彫り塗装用
GM04 (メタリック)	ガンダムゴールド	金メッキパーツの修正など
GM05 (メタリック)	ガンダムシルバー	銀メッキパーツの修正など
GM06	ガンダムブルー	ガンダムのメインカラー
GM07	ガンダムレッド	ガンダムのメインカラー
GM08	ガンダムイエロー	ガンダムのメインカラー
GM09 (蛍光)	ガンダムアイグリーン	ガンダムの眼など
GM10	ガンダムブラック	アクセサリー、排気管など
GM11	ガンダムホワイト	ガンダムのメインカラー
GM12	ガンダムグレー	武器、関節、ダクトなど
GM13	ガンダムメカグレー	武器、関節など
GM14 (蛍光)	ガンダム蛍光ピンク	ビームサーベルなど
GM15 (蛍光)	ガンダム蛍光グリーン	ビームソード、ビームサーベルなど
GM16 (メタリック)	ガンダムメタレッド	天零頑駄無の脚など
GM17 (メタリック)	ガンダムメタブルー	腕、脚などの発光部
GM18 (メタリック)	ガンダムメタグリーン	金属感のあるグリーン各部に
GM19 (メタリック)	ガンダムメタバイオレッド	ガンダム、BB戦士など
GM 100 (メタリック)	メッキシルバー	
GM 300	消しペン	マーカー塗料の除去・修正に

GUNDAMMARKER REAL TOUCH MARKER

リアルタッチマーカー

汚れや、ぼかし塗装を手軽にリアルなタッチで表現できるマーカーです。安全性に配慮して、水性ベースを採用しています。

■各色¥200／¥210(税込)



GM 400	ぼかしペン
GM 401	リアルタッチグレー1
GM 402	リアルタッチグレー2
GM 403	リアルタッチブルー1
GM 404	リアルタッチレッド1
GM 405	リアルタッチオレンジ1
GM 406	リアルタッチグレー3
GM 407	リアルタッチブラウン1
GM 408	リアルタッチグリーン1
GM 409	リアルタッチイエロー1
GM 410	リアルタッチピンク1

GUNDAM MARKER SET ガンダムマーカーセット

■各¥1,200／¥1,260(税込)

GMS105 ガンダムマーカー ベーシック6色セット

ガンダムの基本色5色とスミ入れ用筆ペンの6色をセット。



- GM06 ガンダムブルー
- GM07 ガンダムレッド
- GM08 ガンダムイエロー
- GM11 ガンダムホワイト
- GM21 スミ入れ用筆ペン(グレー)
- GM22 ガンダムガンメタリック

GMS106 ガンダムマーカー ジージェネマーカー 6色セット

ジージェネレーションに最適なマーカーセットです。



- GM23 ガンダムCGイエロー
- GM24 ガンダムアームズグレー
- GM25 ガンダムメタリックグリーン
- GM26 ガンダムEXダークグレー
- GM27 ガンダムCGレッド
- GM20 スミ入れ用筆ペン(ブラック)

GMS107 ガンダムマーカー ウェザリングマーカー 6色セット

リアルな汚し塗装が楽しめる水性ベースのマーカーです。



- GM28 ガンダムマッドブラウン(泥)
- GM29 ガンダムスートブラック(すす)
- GM30 ガンダムラストレッド(さび)
- GM31 ガンダムサンドブラウン(砂)
- GM32 ガンダムバーントアイアン(焼鉄)
- GM33 ガンダムシルバー(ダメージ用)

GMS108 ガンダムマーカー ジオン軍 6色セット

シャアザク、ザクのカラーをそろえた、より使いやすくなったセットです。



- GM34 シャアピンク
- GM35 シャアレッド
- GM36 ザクダークグリーン
- GM37 ザクライトグリーン
- GM38 ファントムグレー
- GM39 ジオングレー

GMS109 ガンダムマーカー SEEDベーシック6色セット

人気のガンダムSEED用のセットです。ストライク、フリーダムの基本色です。



- GM40 SEEDレッド
- GM41 SEEDイエロー
- GM42 SEEDホワイト
- GM43 SEEDブルー
- GM44 SEEDグレー
- GM45 SEEDダークブルー

GMS110 ガンダムマーカー 細先タイプ 6色セット

ガンダムの顔や目、バーニアなど細かい部分の塗装用のセットです。



- GM46 ガンダムレッド
- GM47 ガンダムイエロー
- GM48 ガンダムブラック
- GM49 ガンダムホワイト
- GM50 ガンダム蛍光ピンク
- GM51 ガンダムメタグリーン

GMS111 SDガンダム フォースベーシック 6色セット

SDガンダムをグレードアップする、メインカラー、各部のカラーを再現したアルコール系塗料ペンです。



- GM52 SDガンダムゴールド
- GM53 SDガンダムシルバー
- GM54 SDガンダムレッド
- GM55 SDガンダムイエロー
- GM56 SDガンダムグレー
- GM57 SDガンダムメタリックグリーン

GMS112 リアルタッチマーカーセット1 5色セット+ぼかしペン

汚れやぼかし塗装をリアルに表現できる便利なセットです。



- GM 401 リアルタッチグレー1
- GM 402 リアルタッチグレー2
- GM 403 リアルタッチブルー1
- GM 404 リアルタッチレッド1
- GM 405 リアルタッチオレンジ1
- GM 400 ぼかしペン

GMS113 リアルタッチマーカーセット2 5色セット+ぼかしペン



- GM 406 リアルタッチグレー3
- GM 407 リアルタッチブラウン1
- GM 408 リアルタッチグリーン1
- GM 409 リアルタッチイエロー1
- GM 410 リアルタッチピンク1
- GM 400 ぼかしペン

GMS114 ガンダムSEED DESTINY マーカーセット

SEED DESTINYのメインとなる「インパルスガンダム」に対応した色を揃えたセットです。



- GM58 SEED DESTINY ホワイト
- GM59 SEED DESTINY レッド
- GM60 SEED DESTINY ブルー
- GM61 (細先) SEED DESTINY ライトブルー
- GM62 (細先) SEED DESTINY イエロー
- GM63 スミ入れ用筆ペン(ブラック)

GMS115 ガンダム SEED DESTINY マーカーセット 2

ガンダムSEED DESTINYの「ザクウォーリア」の機体色を再現したセットです。



- GM64 SEED DESTINY ゴールド
- GM65 SEED DESTINY グリーン
- GM66 SEED DESTINY ライトグリーン
- GM67 SEED DESTINY ピンク
- GM68 SEED DESTINY レッド(2)
- GM69 SEED DESTINY ファントムグレー

GMS116 ガンダムマーカー ゼータガンダム ベーシックセット

Zガンダム、ガンダムMkIIの機体色をリアルに再現したセットです。

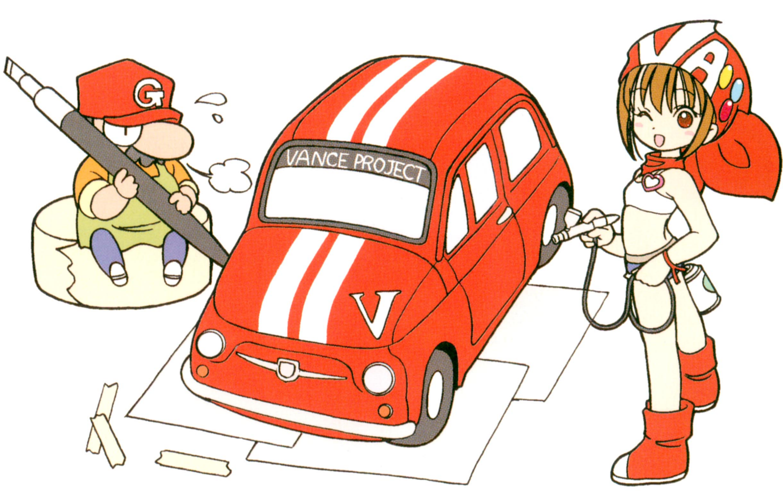


- GM70 Zブルー(1)
- GM71 Zブルー(2)
- GM72 Zブルー(3)
- GM73 Zグレー
- GM74 Zイエロー
- GM75 Zレッド

◎色見本は印刷のため、塗料の色と異なる場合もありますので参考にご利用下さい。

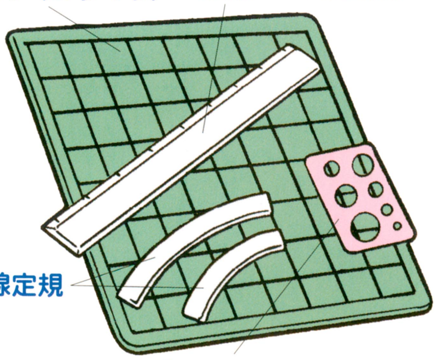
さあ塗装しよう
マスキングを覚えよう

「おっとっと、また塗料がはみだしてしまったぞ。だんだん汚くなるの～。トホホ……。」
「こんにちわ、今日はスプレーの勉強を……。あらら、どうしたの?」
「あっ! Keiちゃんいいところに。色の塗り分けがうまくいかないんじゃよ」
「そういえば、まだマスキングのやりかたを教えてなかったんだ!!」
「なんじゃマスキングって?」
「塗り分けするとき余分な色がつかないように、カバーをすることよ。きれいに塗り分けができれば、完成度がグッとアップよ。スプレーをする時は、もっと必要になるから、しっかり勉強しておきましょうね」



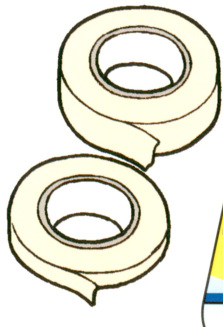
マスキングに必要なもの

一般的なマスキングには、イラストのような道具が必要となります。これ以外に、新聞紙や広告の紙、ティッシュペーパーなどを準備しておきましょう。



テンプレート（丸やいろいろな形が打ち抜いてある定規です）

マスキングテープ



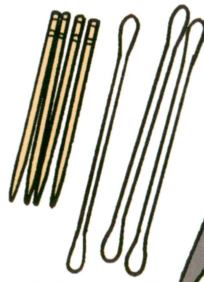
紙製の粘着テープです。細幅、太幅を準備します。

マスキングゾル改　マスキングゾルNEO



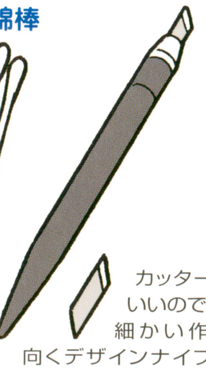
液体のマスキング剤です。2つの種類があります。

つまようじ&綿棒



つまようじや綿棒は、マスキングテープの押さえに使います。

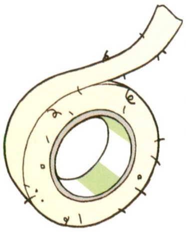
デザインナイフ&替刃



カッターでもいいのですが、細かい作業に向くデザインナイフをぜひそろえましょう。刃はまめに取り替えます。

テープによるマスキング

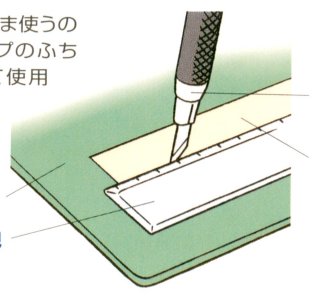
まず基本となるテープでのマスキングを覚えましょう。セロテープなどは粘着力が強いので、必ず専用のマスキングテープを使用しましょう。また古くなり、のりがべたつき始めたテープは使用しないようにしましょう。



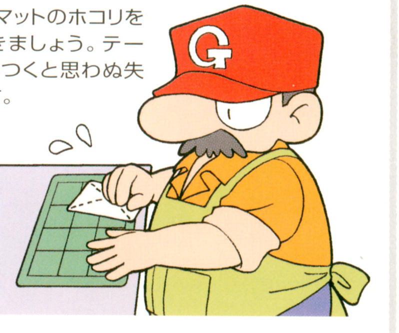
マスキングテープは、ふちの部分にごみがついたり、波打っている場合があります。

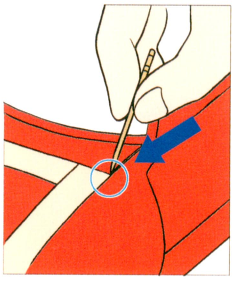
マスキングをする前に

テープをそのまま使うのではなく、テープのふちを必ず落として使用しましょう。塗り分けがシャープになります。



カッティングマットのホコリをおとしておきましょう。テープにホコリがつくと思わぬ失敗を招きます。

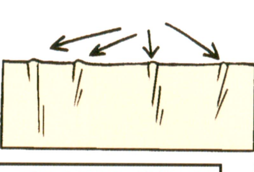




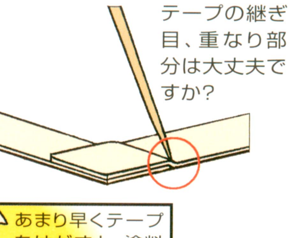
貼ったテープのふちが浮かないよう、つまようじや綿棒でしっかり押さえます。

マスキングの時の注意

意外な盲点。スジ彫りなどモールドにもしっかりなじませます。

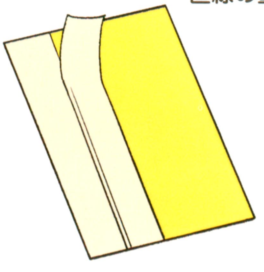


テープのふちが波打って浮いていませんか?曲面に貼った場合など要注意です。

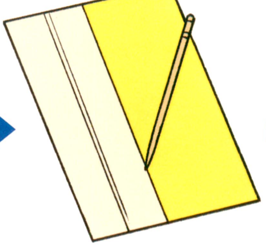


テープの継ぎ目、重なり部分は大丈夫ですか?

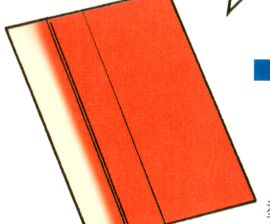
基本的なマスキング
直線の塗り分け



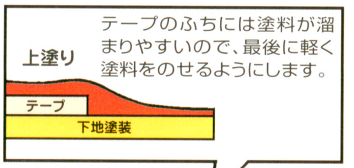
塗りたくない部分にテープを貼ります。しわにならないよう注意。



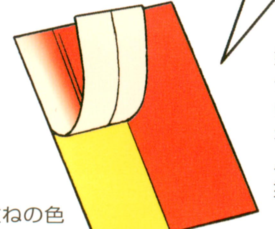
テープのふちをつまようじなどで密着させます。



塗り重ねの色を塗装します。



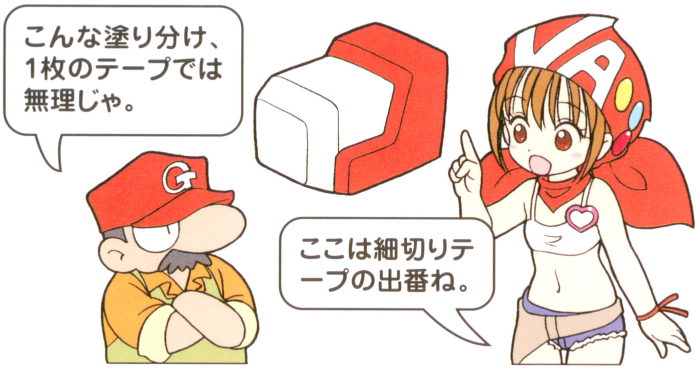
テープのふちには塗料が溜まりやすいので、最後に軽く塗料をのせるようにします。





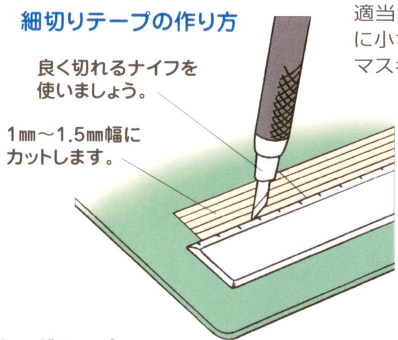
あまり早くテープをはがすと、塗料が引っ張られ、境目がギザギザに。

塗装後1時間程度おいたらテープをはがします。大きい段がついたら、色の境目を1000番以上の耐水ペーパーで軽く磨きます。もし塗料がはみ出していたら、『Keiちゃんレスキュー』を参考に、修正してください。

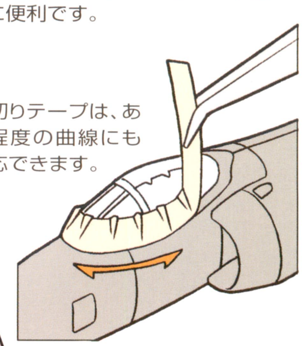


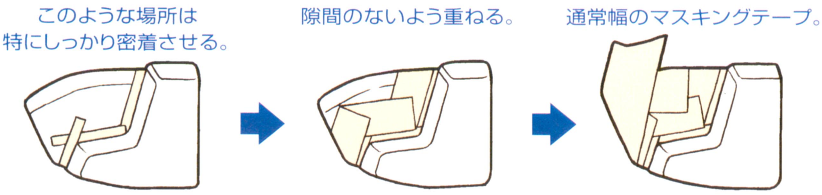
曲線や入り組んだ部分のマスキング

細切りテープの作り方



適当な長さに切っておくと便利です。また更に小さい三角形に切り出せば、小さい曲線のマスキングに便利です。

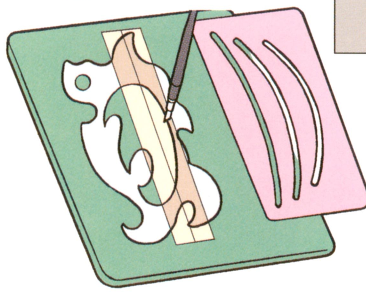




細切りテープを塗り分けにそって貼りこみます。複雑な塗り分けは、数枚に分けてマスクしてください。

細切りテープを重ね貼りし、マスキング部分を広げます。筆塗りの場合はここまででOK。

ある程度の幅がマスキングできたら、通常幅のマスキングテープでくるむようにマスクします。



大きい曲線の場合、曲線定規やテンプレートをガイドに切り出してもよいでしょう。

マスキングゾルを使ってみよう

マスキングゾルは、液体なので、テープでマスクできない部分や曲面のマスキングに最適です。性質を理解して使用すれば、強い味方になります。



Mr.マスキングゾル改

エマルジョン系のマスキング剤です。乾燥したあともカッターなどで切り出しが可能です。細かい凸凹などがあるとはがしにくくなる場合がありますので、注意が必要です。塗装後1時間程度でマスク部分をはがします。長時間おくとはがしにくくなります。



Mr.マスキングゾルNEO

ゴム系のマスキング剤です。乾燥後の切り出しはできません。広い面積のマスクや粘度が高いので、マスキングの隙間埋めに使用できます。乾燥前は水で薄めることができます。

Mr.マスキングゾル



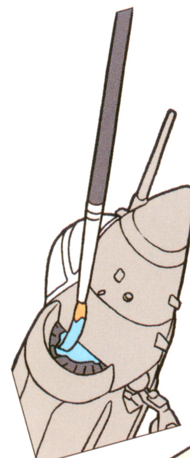
良く切れるナイフで
切り出す。

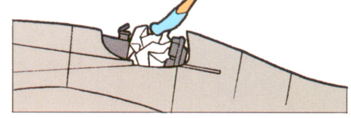


マスキングゾルはあまり薄く塗るとはがしにくくなります。厚めに塗り、充分乾燥させます（乾燥すると半透明になります）。マスクをはがす部分に切りこみを入れ、不要な部分をはがします。切り出す場合は、軽く刃をあて、深い傷をつけないよう注意してください。

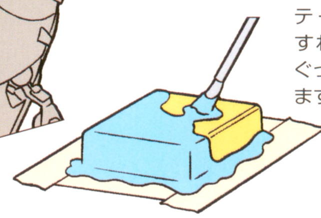
Mr.マスキングゾルNEO

飛行機の操縦席などは、ティッシュなどでマスクしたのち、隙間をNEOで埋めるようにします。





テープと併用すれば、作業がぐっと楽になります。

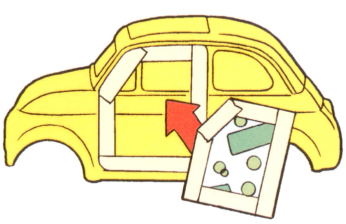


NEOは、はがしやすいので、入り組んだ部分のマスクや大きい面のマスクに最適です。マスクをはがす際、割れた塗料が塗装面につく場合があるので注意してください。

いろいろなマスキング

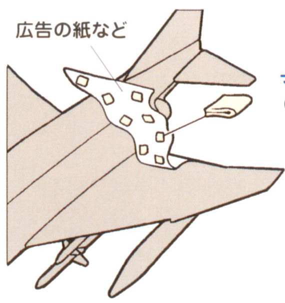
これまで学んだ方法以外にも、応用でいろいろなマスキングを試してみましょう。じょうずにマスキングするコツは、手間を惜しまないことです。仕上がりに大きく影響するので、がんばりましょう。

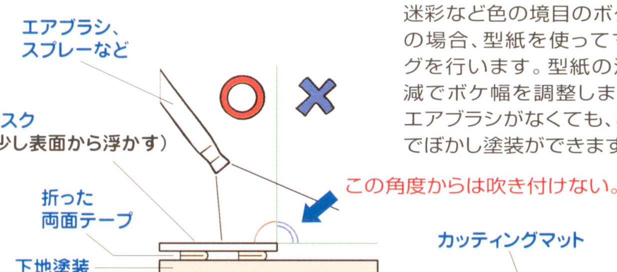
広い面のマスキング



広い面をテープだけでマスクするのは大変。塗り分け線をテープで決めたら、他の部分は、新聞広告の紙などでカバーしてしまいましょう。またスプレーする場合、塗料が吹きこまないよう、充分に注意し、ティッシュなどをつめておきましょう。

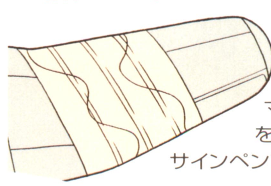
ふちをぼかす場合





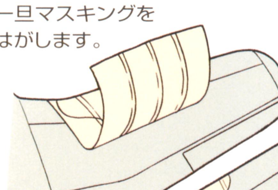
迷彩など色の境目のボケた塗装の場合、型紙を使ってマスキングを行います。型紙の浮かし加減でボケ幅を調整します。高級エアブラシがなくても、この方法でぼかし塗装ができます。

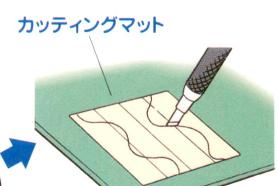
複雑なパターンのマスキング



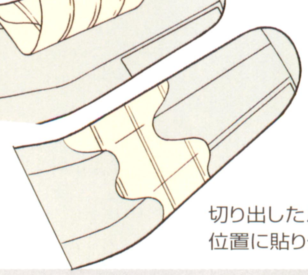
マスキングテープを貼り、パターンをサインペンで書きこみます。

一旦マスキングを
はがします。





カッティングシートに貼り付け、パターンを切り出します。



切り出したパターンを定位置に貼り付けます。

複雑なパターンの場合、直接マスキングするのは困難です。そういう場合、マスキングテープを広く貼り、パターンを写し取り、カットしたものでマスクすると簡単です。

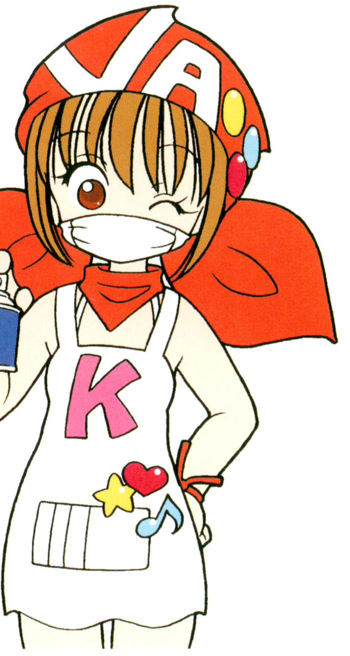
さあ塗装しよう
お手軽吹き付け缶スプレー

「Keiちゃん、マスキングも勉強したし、そろそろスプレー塗装を教えてくれんかね。」
「やっぱり広い面積だとスプレー塗装のほうがキレイに塗れるもんね。それじゃハイ店長これ。」
「そうそう、こうエアブラシなんかでシューッとね。これって缶スプレーじゃないの」
「なんか不満そうね。缶スプレーは、すぐ吹き付けられるし、片付けも簡単ですごく便利よ。自動車のボディ塗装なんか、これじゃないとだめって言う人もいるんだから。スプレー塗装の基本よ」
「じゃがのー。あらら、Keiちゃんさっそく着替えちゃった。」

スプレー塗装をする時の服装は

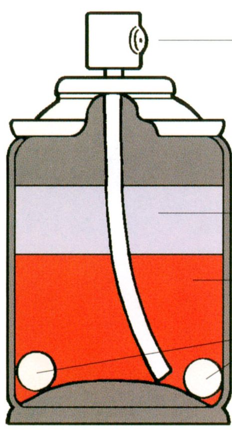
- まず汚れてもいい服装で。エプロンもあるといいわね。
- マスクは、塗料の粉を防いで、臭いも軽くなるわ。
- ヒフの弱い人は、手袋をして直接塗料が肌に触れないようにしてね。



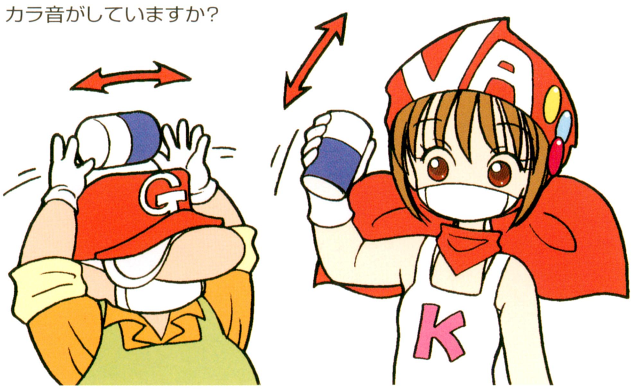




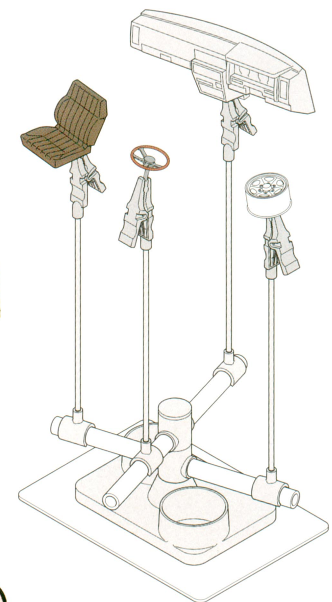
缶スプレーの構造



吹き付ける前には、缶をしっかり振って塗料を良く混ぜましょう。カラカラ音がしていますか？

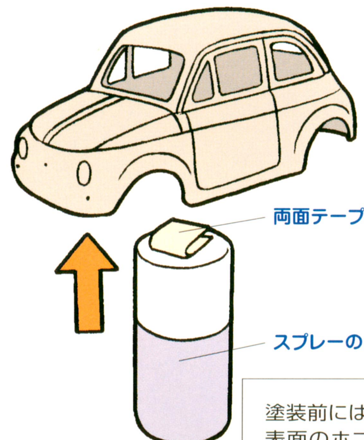


小さいパーツの持ち手は



「ネコの手Ⅱ」
ネコの手Ⅱやクリップを利用します。

吹き付けの前に持ち手をつけましょう

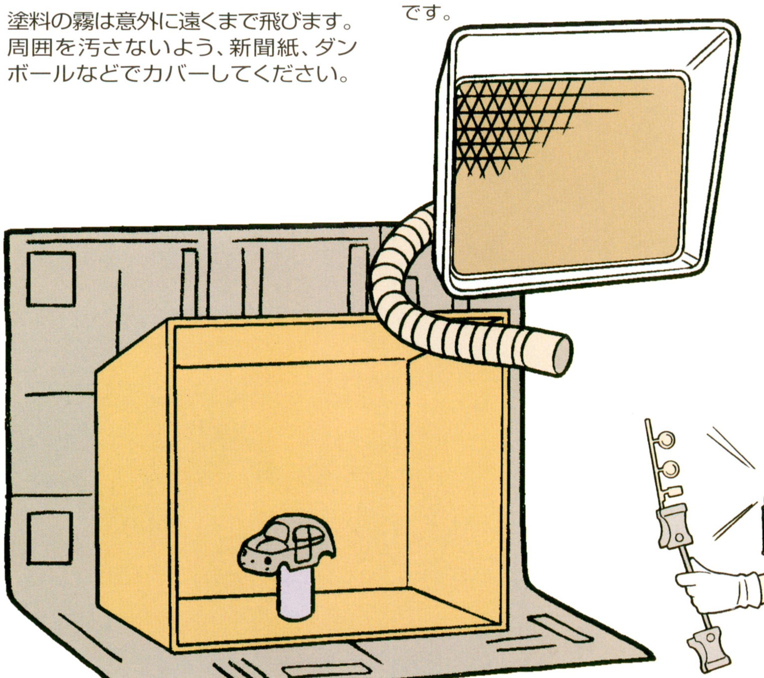


たとえば、車のボディーなどは両面テープで固定してしまいましょう。塗りやすく、乾燥させる時もそのまま置けるので便利です。

吹き付け前の準備

塗料の霧は意外に遠くまで飛びます。周囲を汚さないよう、新聞紙、ダンボールなどでカバーしてください。

いま流行のMr.スーパーブース（排気装置）があれば、汚れ防止にかなり有効です。



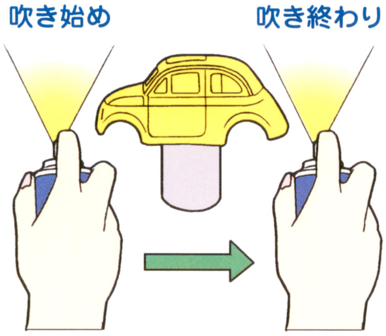


持ち手があると塗装する時自由に部品が動かせるので、塗り残しがなくなり、作業が楽になります。

塗装前には必ず表面のホコリを取りましょう。



布や紙でふくとかえってごみがつきます。はけやブロアーでホコリを飛ばすようにします。

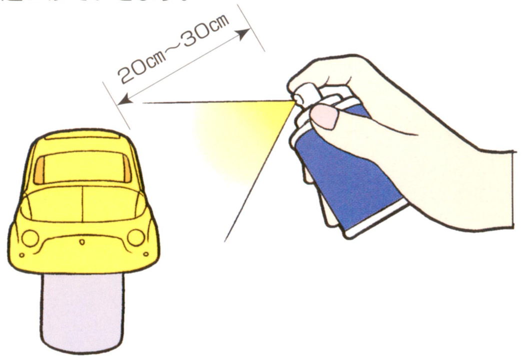


吹き付ける時は、対象物から外れた所から吹き始め、外れた所で終わるようにします。

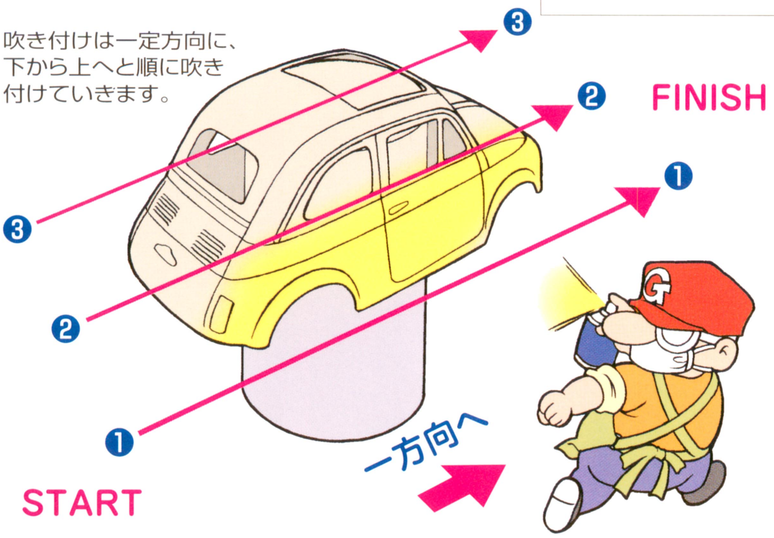
なぜかというと……吹き始めと吹き終わりはガス圧が安定しないので、塗料の大きな粒が出やすいからです。



吹き付けは、20cmから30cm離れた所から吹き付けます。最初は遠くから、塗料がのってくるにしたがい、近づけていきます。

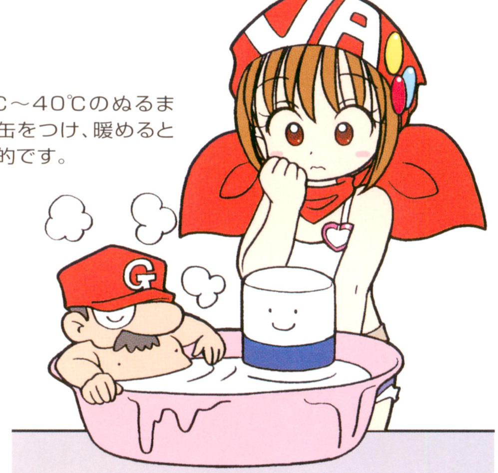


吹き付けは一定方向に、下から上へと順に吹き付けていきます。



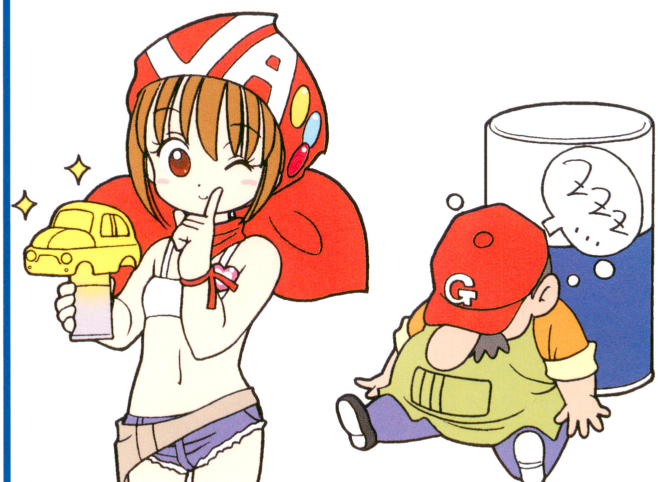
冬など極端に温度が低いと、吹き付けのガス圧が低下してしまいます。

35℃〜40℃のぬるま湯に缶をつけ、暖めると効果的です。



★絶対に熱湯や直接火にかけないこと。大事故につながります。

塗り終わったら、3時間ほどほこりがつかないようにして乾燥させてください。乾燥ブースを使えば、時間の節約になります。



これはやっちゃだめ!!

一定に塗料が出ないので、プシュ、プシュと断続吹きはしないようにしましょう。



塗料がたれたり、乾燥が遅くなるので、一度に厚塗りはしないでください。

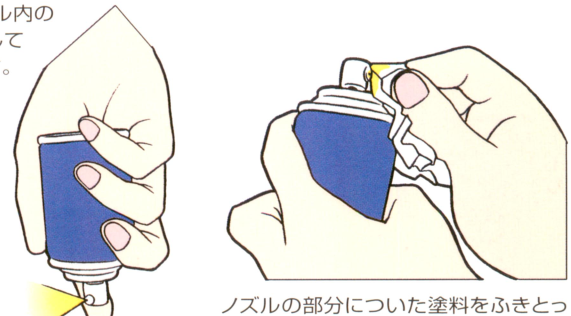


絶対に火のそばやファンヒーターの前に置いたり、吹き付け作業はしないでください。塗料もガスも可燃性のものです。



使用後のお手入れ

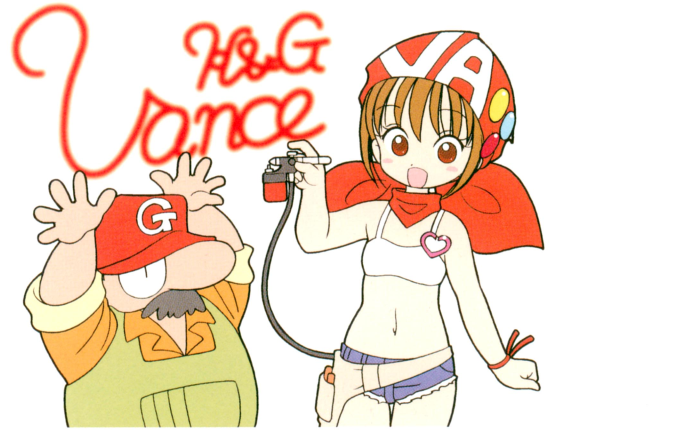
缶をさかさまにして2秒ぐらい空吹きをして、ノズル内の塗料を出してしまいます。



ノズルの部分についた塗料をふきとっておいてください。

さあ塗装しよう
――プロスプレーに挑戦――

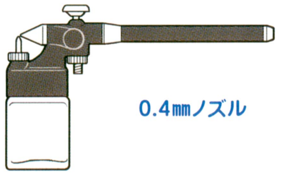
「Keiちゃん、Keiちゃん、ちょっとこれを見ておくれ。」
「なに店長？ ああプロスプレーじゃない。どうかしたの？」
「だいぶ塗装にもなれてきたんで、エアブラシを使ってみようと思ったんじゃが、なかなかうまく行かなくてのー。」
「どれどれ。あ～、これ塗料の薄めが足りないし、ノズルの位置もあってないわね。」
「なんのことやらさっぱりわからん。」
「説明書に書いてあるのに……。それじゃプロスプレーを使ったエアブラシの基礎を勉強して再チャレンジね。」



プロスプレーの種類

プロスプレーには、大きく分けて3つの形があります。塗料を吹き付ける構造には大きな差はありませんが、番号がすすむにつれて新しい機構が組み込まれています。Mr.カラーや水性ホビーカラーのビンが使えるのも便利な特長ですね。プロスプレーで覚えた基本的な技術は、金属製エアブラシにステップアップしても応用できるので、しっかり練習しましょう。

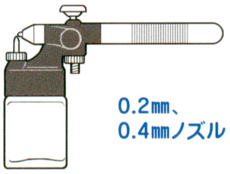
Mk-1タイプ



0.4㎜ノズル

Mk-1は、これからエアブラシをはじめるみなさんにとって手ごろで使いやすい最適な入門機です。0.4㎜ノズルがついています。

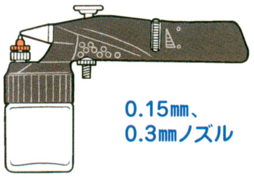
Mk-2、3タイプ



0.2㎜、
0.4㎜ノズル

Mk-2は各部に金属を使用し、丈夫でより使いやすく設計されています。0.2㎜ノズルがついているので、細吹き、太吹きのバリエーションがひろがります。Mk-3はスタンドなどがついたデラックス版です。

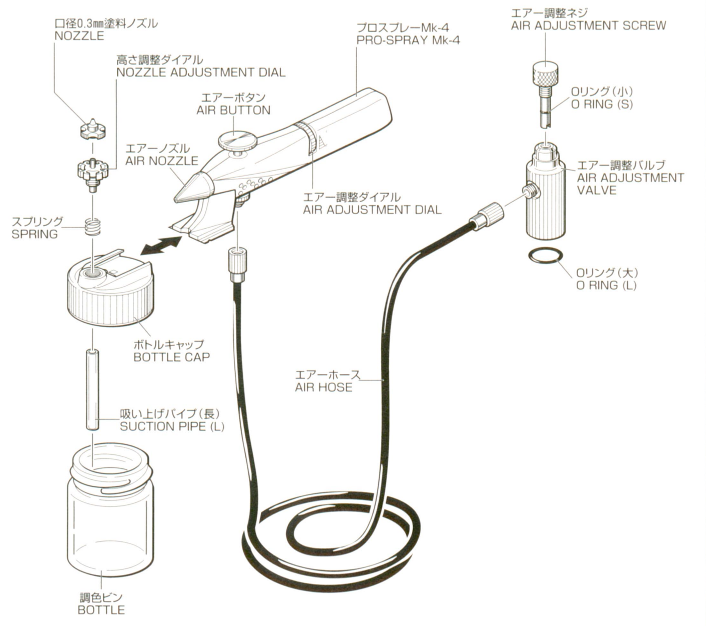
Mk-4、5タイプ



0.15㎜、
0.3㎜ノズル

Mk-4は、まったく新しい思想で設計された新時代のプロスプレーです。手元でエアー量の調整可能、簡単に交換できる塗料ボトルユニットや塗料ノズルなど使いやすいスタイルにさまざまなアイデアが盛り込まれています。

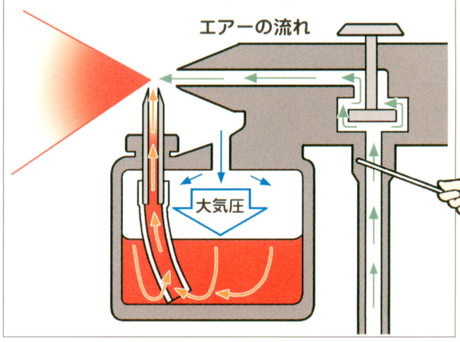
Mk-4タイプ



プロスプレーの構造

プロスプレーの構造は、簡単なものです。エアーが出てくるエアノズルと塗料が出てくる塗料ノズルで構成されています。吸い上げた塗料を気流にのせて対象物に運ぶのですが、きれいな塗装面を得るためには、エアー量、塗料量、塗料濃度などの要素をバランスよく調整しなければなりません。

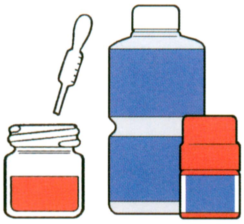
エアブラシの仕組み





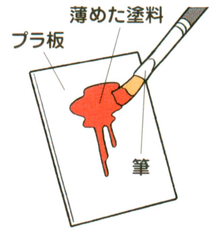
塗料の薄め方

エアブラッシングの時まず悩むのが塗料の薄め方ではないでしょうか。下の図を、塗料を薄める場合の目安としてください。塗料ノズルの口径が小さくなれば、目安より少し多めに薄め液を追加すると良いでしょう。薄め後のイメージは、牛乳の濃さ（ビンに塗料が残らない）ぐらいになります。



塗料を薄める時は

塗料を薄める時は、スペアボトルなどの大きめのビンを使用しましょう。薄めると意外と量が増えるものです。



薄めの比率は、元の塗料の状態で変わってきます。吹き付け具合の良い塗料をプラ板に塗って、流れる状態を覚えておくと、薄めの目安になります。

――各種塗料の薄め方――

Mr.カラー



Mr.カラーは粘度が高いので、多くうすめ液を入れる必要があります。

水性ホビーカラー



水性ホビーカラーは、ほとんど薄める必要はありませんが、少量の水や専用うすめ液を加えたほうが、吹き付けやすいようです。水であまり薄めるとプラがはじいてしまうので注意してください。

他社水性アクリル塗料



ビンに書かれている、うすめ液を使用するようにしてください。

エナメル塗料

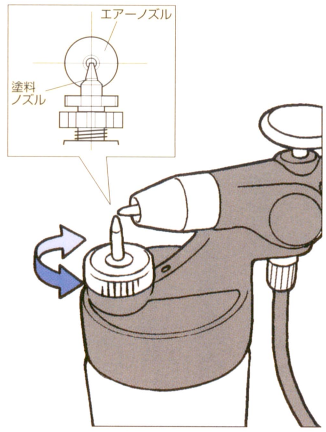


エナメル塗料も専用のうすめ液を使用し薄めます。粘度が低いので、吹き付けには注意が必要です。

使用の前に

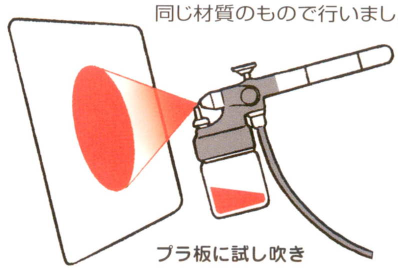


エアー缶は
連続使用すると
缶が気化熱で冷え、
普通の温度に戻るまで、エアーが出なくなってしまいます。予備の缶を準備しておけば安心です。



塗料ノズルの位置を確かめましょう。エアノズルの中心にあっていないと塗料は出ません。高さ、左右の傾きを調整してください。

調整がすんだら試し吹きをして吹き付け具合を確認します。試し塗りはできるだけ、実際塗るものと同じ材質のもので行いましょう。



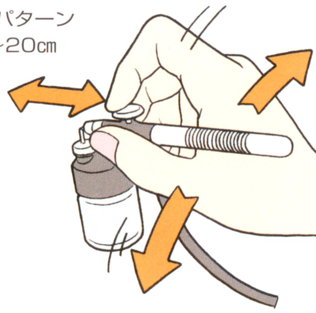
プラ板に試し吹き

プロスプレーでの塗装

缶スプレーとエアブラシの大きな違いは、塗料量とエアー量のコントロールができることです。思いどおりの塗装面を作るには、この2つの要素を目的に合わせ、うまくバランスさせてやらなければなりません。これは金属製エアブラシでも同じことです。プロスプレーで基礎をしっかり学んでください。

きれいに吹き付けるには

吹き付けるパターン
により1cm～20cm



塗料量が多い時は、塗料がたれやすいので、手を速く動かします。

一定の方向、距離、ペースでフワリとした霧で吹き付けます。断続吹きをしないのは、缶スプレーと同じです。塗料量によって手を動かすスピードを変化させます。

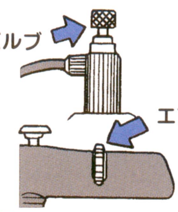


エアブラシ調整の基礎

噴射パターン

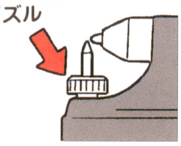


図は塗装面積とそれぞれの調整の関係をあらわしています。塗料が一定の濃度の場合、幅広に吹くには、エアー強、塗料多、距離遠。細吹きの場合、その反対になると覚えてください。非常に単純化していますがこれが基本となります。



エアー圧

弱 ←→ 強

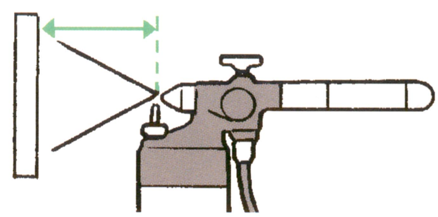


塗料量

少 ←→ 多

塗装面との距離

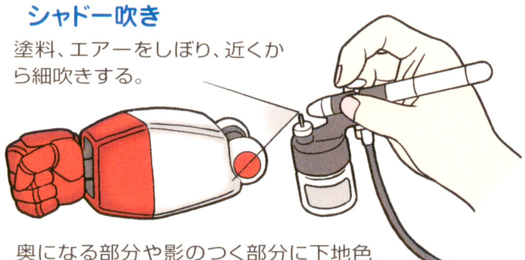
近 ←→ 遠



プロスプレーの応用テクニック

シャドー吹き

塗料、エアーをしぼり、近くから細吹きする。

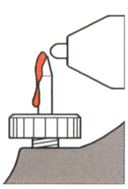


奥になる部分や影のつく部分に下地色よりやや暗い色を吹き付け、立体的に見せます。汚し塗装にも応用できます。

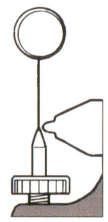
ボカシ塗装

フリーハンドでもある程度ボカシ塗装ができますが、きれいに仕上げるには、型紙を使用しましょう（マスキング編を見てください）。型紙と塗装部分の境目は細吹きします。

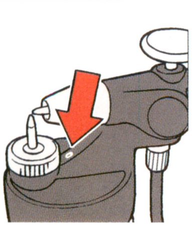
使用中はここに注意



エアー圧を絞って細吹きをすると、ノズルの先に塗料がたまる場合があります。これが飛び散り作品を汚す場合があるので、ふき取りましょう。

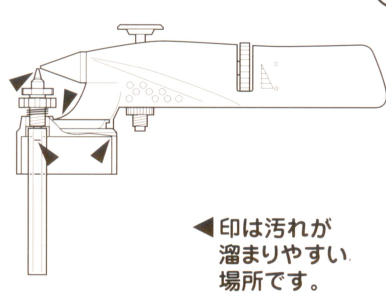


吹き付けを休む時は、必ずノズルクリーナーを塗料ノズルに差し込んでおきましょう。ノズルのつまりが防げます。



空気穴が詰まると塗料が出ません。空気穴周りは、きれいにしておきましょう。

使用後のお手入れ

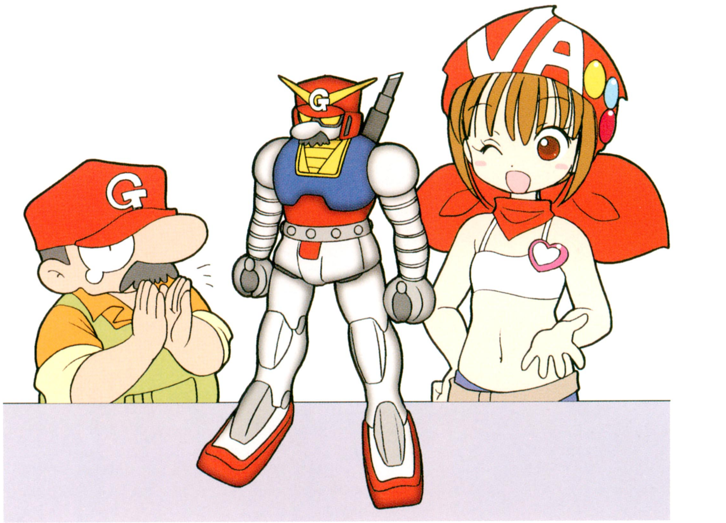


◀印は汚れが溜まりやすい場所です。



さあ塗装しよう いつかはエアブラシ1

「ねえ店長、これ見て♪」
「こりゃすごい。本物みたいにキレイにできてるの〜。でもわしの持ってるプロスプレーじゃこんなにならないな。どうやったらこんなになるんじゃ。」
「これは、プロコンBOYっていうエアブラシで塗ったの。プロスプレーより細吹きができるし、いろいろ調整ができるんで、いろいろな表現ができて、キレイに仕上げることができるのよ。」
「わしもちょっと使ってみたい。Keiちゃんエアブラシって難しいかい?」
「そうねー、ちょっと練習がいるけど、慣れれば筆塗りより楽かも。エアブラシじゃないとできない塗り方もあるし。それじゃちょっとやってみる?」
「よーしがんばって、エアブラシマスターをめざすぞ!」

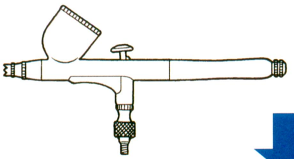


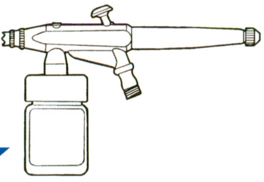
エアブラシの種類

本格的なエアブラシは、プロスプレーなどと違い、本体内で塗料とエアーが混ぜられ、ニードルという金属の針にそって細い噴射口から出ていくので、細かい霧で吹き幅を自由に調整できます。うまく使うには、ちょっと練習をする必要がありますが、エアブラシをうまく使うことにより、格段に仕上がりが良くなります。ワンランクアップを目指すには必須アイテムといえるでしょう。



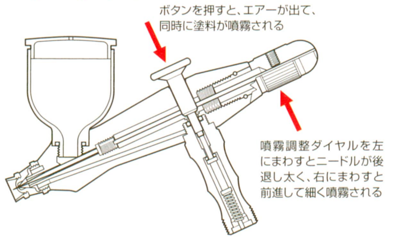
塗料カップが上についた塗料落下式。この形が一般的です。塗料を無駄なく使え、洗浄も楽です。





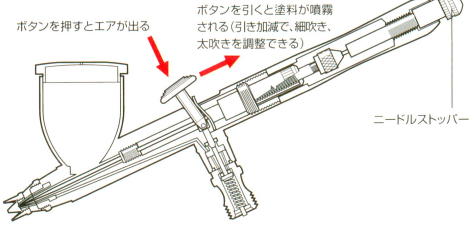
ビンが下についた、吸上げ式。色替えが楽、塗料ビンをそのままセットできるなどの特長があります。洗浄はやや面倒です。

シングルアクション



ボタンはエアーの噴射コントロールのみで、塗料量はダイヤルなどであらかじめニードルを調整しておくタイプです。構造が単純な分、比較的価格も安くなっています。ニードル位置が一定に固定できるため、初心者でも安定した吹き付けができますが、作業中の細かい調整はにがてです。また、作業後ニードルを戻し忘れると、塗料が漏れてしまうので注意が必要です。

ダグルアクション



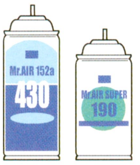
ボタンを押すことによりエアーが出、後ろに引くことにより塗料が出始めます。作業中でも自由に塗料量をコントロールできるため、幅広い表現が可能です。ニードルストッパーがついた機種もあり、一定位置以上にニードルが後退しないようにできるため、シングルアクションのような使い方もできます。いろいろな場面に対応できるため種類も多く発売されており、エアブラシの主流となっています。

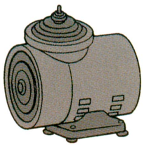
エアブラシの周辺機器

エアブラシを購入しただけでは、すぐに使うことができません。最低エアー源を確保する必要があります。また接続用のホースなどが付属していない場合は、それも必要となります。また持っていれば、大変便利なツール類もいろいろ発売されています。必要に応じ、そろえていきましょう。

エアー源

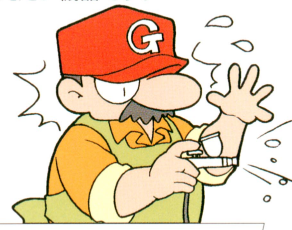
一番手軽なエアー源は、エアー缶です。主にフロンを使用したものとDMEの2種類があります。場所を選ばず高圧のエアーを使用できますが、連続使用すると1分ぐらいで缶が冷え、圧力が低下します。コンプレッサーは空気を圧縮し、高圧の空気を作り出すもので、安定した圧を供給できコントロールも容易です。以前は音がうるさい、高価など、上級者向けのイメージが強かったのですが、最近模型用のコンプレッサーの種類も増え、広く使用されるようになりました。初期のコストはエアー缶より高いのですが、長く模型を作るなら迷わずコンプレッサーを使用しましょう。





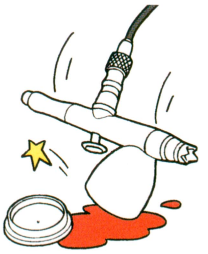
エアーレギュレーター

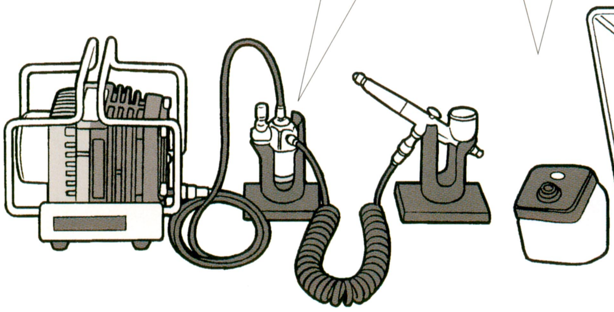
エアーレギュレーターは、コンプレッサーからの空気を調圧したり、分岐させたりする機器です。ほとんどの場合、水抜き機構が付属しており、湿度が高い時の水吹き現象を緩和します。なくても吹き付けはできますが、ブラシコントロールが格段にやりやすくなるので、早めにそろえたい機器です。

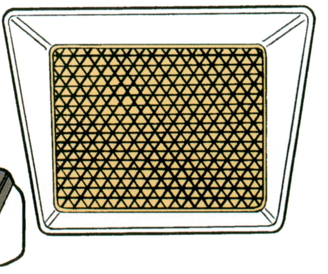


その他そろえたいもの

吹き付けを休むとき、必要になるのがスタンドです。エアブラシを横倒しにすると塗料が漏れるので、それで周りや作品を汚しては大変です。簡単なものでも、安定したものを選びましょう。また洗浄時にシンナーなどを周りに撒き散らさないようにするクリーナーボトル。吹き付け時の塗料の粉を吸引し屋外に排出するスーパーブースなどいろいろ便利なツールがあります。

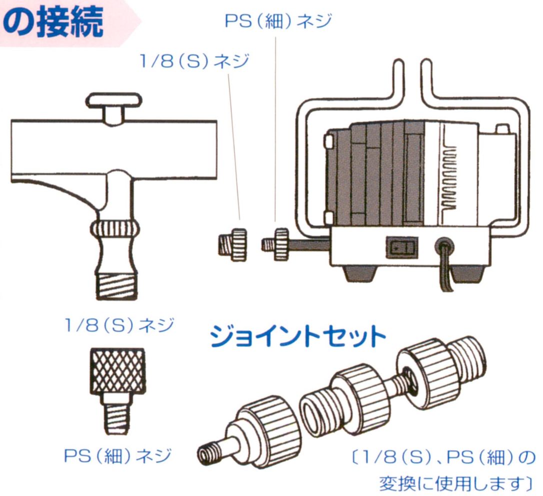




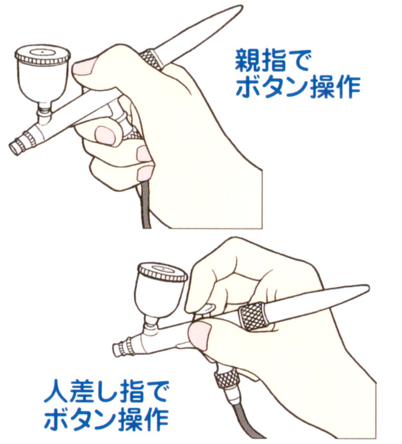


ホースとの接続

模型用エアブラシのホース接続部は、1/8(S)というサイズが標準となります。また独自の接続部を持つものもあり、その場合は変換ジョイントが必要となります。ホースにはストレート、スパイラルなど形状があり、お好みで選択できます。



エアブラシの持ち方

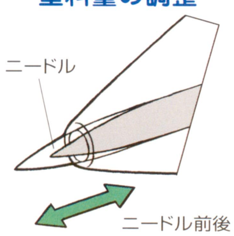




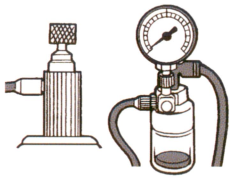
エアブラシのコントロール

エアブラシコントロールの基本は、ニードル前後による塗料量の調整、レギュレーターなどを使ったエアー圧の調整です。この2つを上手に調和させることにより、多彩な表現が可能になります。

塗料量の調整

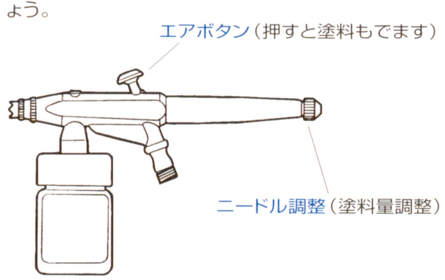


エアー圧の調整



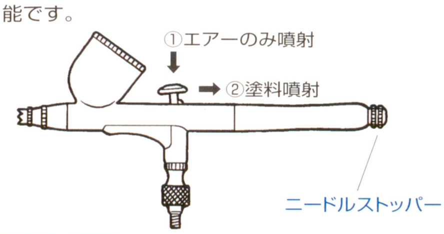
シングルアクションタイプ

シングルアクションの場合、本体後部にあるダイヤルを回転させることによりニードルが前後し、塗料量の調節をおこないます。押しボタンはエアーのコントロールのみで、エアボタンの押し加減により若干のエアーコントロールはできますが、安定しないので、レギュレーターなどを使いましょう。



ダブルアクションタイプ

ダブルアクションの場合、押しボタンで2つのコントロールをおこないます。ボタンを押しエアーを噴射し、ボタンを後ろに引くことでニードルを後退させ、塗料量のコントロールをおこないます。後部にシングルアクションと同じようなダイヤルがありますが、これはニードルの後退量を制限するためのものです。ニードルストッパーが効く位置までボタンを引けば、一定量の吹き付けが可能です。



エアブラシのメンテナンス

エアブラシは精密機械です。メンテナンスを怠れば、どんなに高級なエアブラシでもすぐに使えなくなります。洗浄する際に注意することは、洗い用のうすめ液、エアーを充分に使うことです。また必要以上には分解しないようにしましょう。本体をうすめ液に漬けこむなどはもってのほか。日ごろのメンテナンスを怠らなければ、大変長持ちさせることができます。

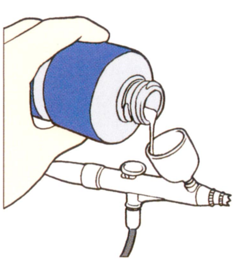




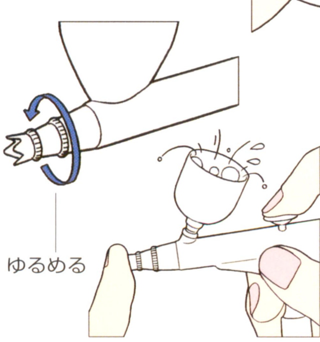
クリーニングの方法は……



❶ カップ内の塗料をビンに移し、カップ内にうすめ液をふくませた布などできれいにします。



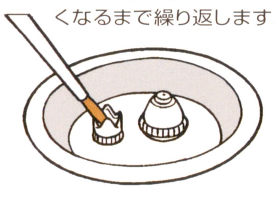
❷ カップ内にうすめ液を入れます。



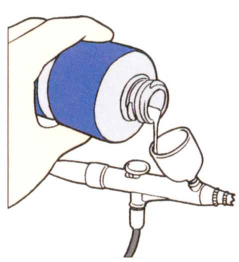
❸ 先端を指で押さえます。クラウンタイプはノズルキャップをゆるめ、うがいをさせます。



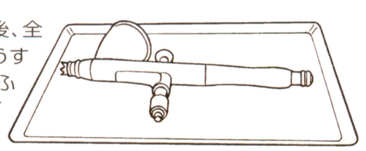
❹ カップ底の汚れは、細筆などで洗い流します。



❺ きれいなうすめ液に入れ替え、空吹きをして、うすめ液に色がつかなくなるまで繰り返します。

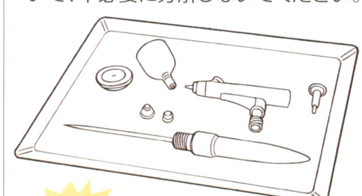


❻ ノズルキャップ、ニードルキャップをはずし、うすめ液でキレイに洗います。取り外しの際は、ニードルを後退させてください。



❼ 組み立てた後、全体の汚れをうすめ液などでふき取り、完了です。

分解掃除は、通常必要ありません。メタリック色を使った場合や塗料が中で固まってしまった場合などを除いて、不必要に分解しないでください。





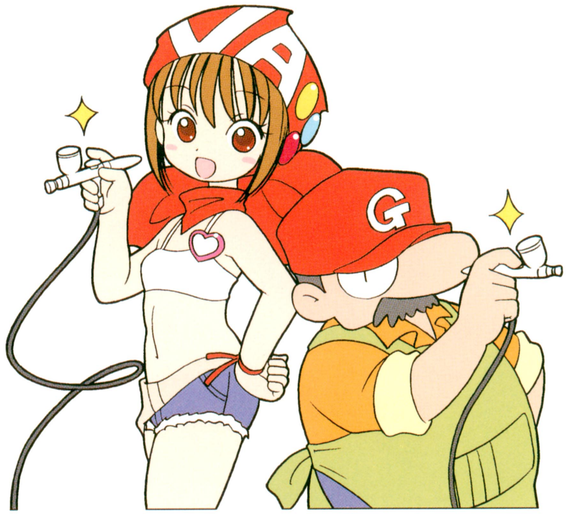
塗料ノズルは、大変繊細な部品です。取り付ける際は、無理に力をかけないでください。

ニードルを抜くとき、取り付けるときは、先端を当てないように充分注意してください。



先端は、ちょっと当っただけで、簡単に曲がってしまいます。

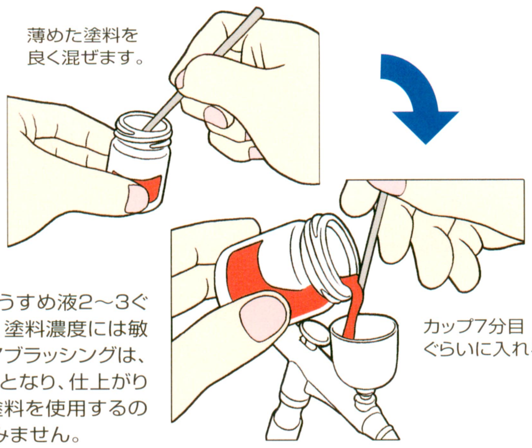
さあ塗装しよう
――いつかはエアブラシ2――



「Keiちゃん、エアブラシの基礎はだいたいわかったよ。さっそく吹き付けをしてみようかの。」
「あ〜だめだめ。いきなり吹き付けたりして、失敗したら大変よ。」
「もう遅いよ、ほれシューッと。おや?なかなか色がつかいないな。どんどん吹き付けてみよう。」
「ストップ、ストップ!ほら,塗料がたれてきたじゃない。塗料が薄すぎるし、同じ所をずっと吹いていたらだめでしょう。」
「とほほ……、これじゃ一からやり直しじゃ。こんなことなら、やっぱりちゃんと練習してからやれば良かったよ。」
「だからいったじゃないですか。ぜんぜん成長してませんね。もう一度特訓が必要なようね。」
「許して〜。」

エアブラシ塗装の準備

基本的な注意事項、コツなどは、前に勉強したプロスプレーと同じですが、繊細な塗装ができる分、塗料濃度、吹き付け距離などに仕上がりが大きく影響を受けやすいので注意が必要です。本番の前に試し吹きを繰り返し、さまざまな条件での仕上がり具合を確認しておきましょう。

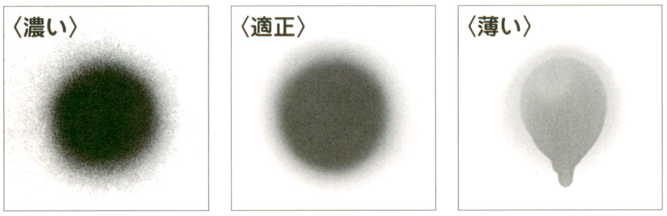


塗料をカップに移すときは、ニードル位置を最前進位置にして、塗料が流れ出ないようにしてください。塗料は、カップにいっぱいではなく、7分目ぐらいにしてください。吹き付け時にエアブラシが傾いた際、カップの空気穴から塗料が漏れ、周囲を汚してしまう場合があります。

塗料の薄め方



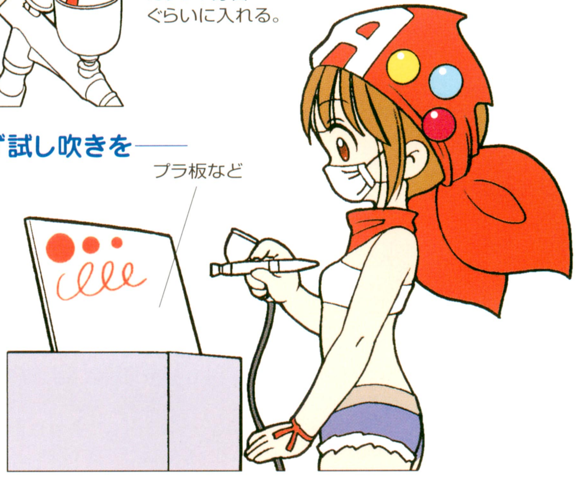
エアブラシ用の塗料の薄め方は、塗料1に対してうすめ液2〜3ぐらいを目安にしましょう。ノズル径が小さいので、塗料濃度には敏感です。かなり薄く感じるかもしれませんが、エアブラッシングは、薄い塗料を何回も重ねて発色させることが基本となり、仕上がりも良くなります。色を早くつけようとして、濃い塗料を使用するのは、表面の荒れなどのもととなり、良い結果を生みません。



塗料の濃度を変え、一定条件で吹き付けた例です。濃すぎるものは、周囲に粒状の塗料が飛び散っています。また糸のようなものも見えます。薄すぎると、塗料が定着せず流れてしまいました。まん中が適正な状態で、中心部に色がのり、周囲はきれいなボカシ状態になっています。

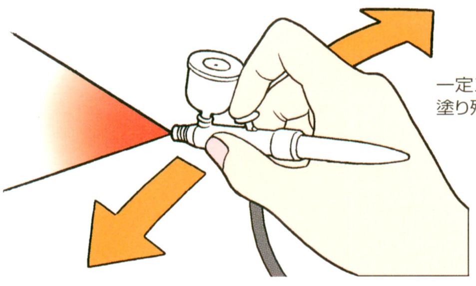
必ず試し吹きを

実際に塗るものと同じ素材に必ず試し吹きをしてみましょう。塗料の濃度や吹き付け状態、適正な距離などをつかんで、塗装を開始すれば失敗を防ぐことができます。



エアブラシ塗装の基本

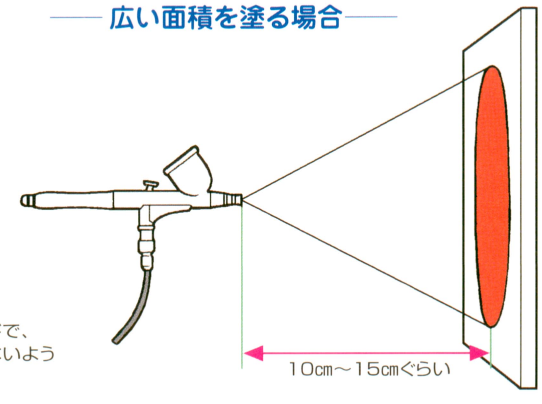
塗装の基礎は、薄く重ね塗り。これは、エアブラシの塗装にも当てはまります。最初は、軽く塗料がのった状態から、吹き重ねて仕上げていきます。これは光沢、つや消しいずれも同じです。ここでは、基本中の基本を紹介しています。まず基本を覚え、条件をいろいろ変えてみて自分にあったやり方を見つけてください。



一定スピードで、
塗り残しのないよう

エアブラシを持った手を水平に一定スピードで動かします。均一な面を作るように気をつけてください。1回では、きれいな面を得られませんが、塗り重ねていくうちに色の濃淡がなくなっていきます。吹き始めには、ノズル付近に溜まった塗料がエアーで飛ばされ、大きな粒となって飛ぶ場合があります。まず対象物から離れた部分に1回吹き付け、その後吹き付け作業に移るよう習慣づけてください。

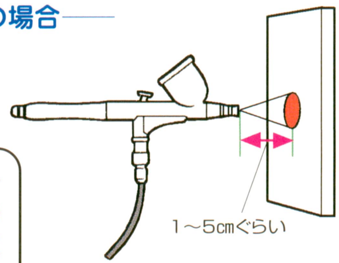
広い面積を塗る場合



- 距離　遠
- エアー圧　0.08〜0.1Mpa（強め）
- ニードル開度　中〜大
- 塗料濃度　普通※

※広い面積に濃いめの塗料を吹く場合は、ニードル開度を大きくし、エアー圧を強めにします。

細吹きの場合

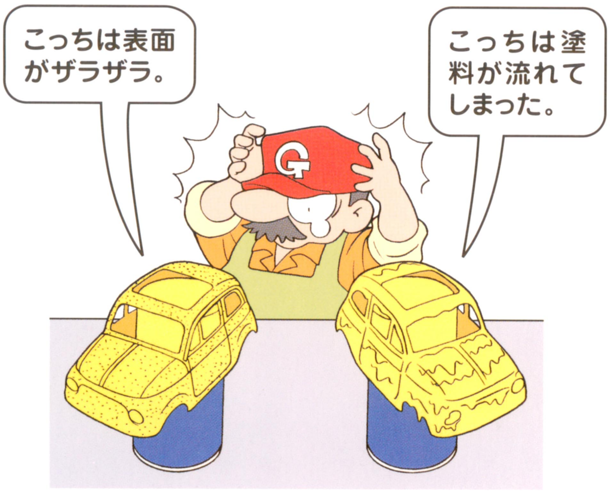


- 距離　近
- エアー圧　0.02〜0.05Mpa（弱め）
- ニードル開度　小
- 塗料濃度　薄め

『プロスプレー編』の調整の基礎も参考にしてください。

広い面、光沢面のエアブラッシング

つや消しや、狭い部分を塗る場合は見過ごされがちですが、光沢面での表面の荒れは、修正に大変手間がかかります。また広い面積のツヤのばらつき（主に塗料の濃淡による）も気になる部分です。平滑でムラのない面を作ることに気をくばりましょう。



キレイな塗装面を得るには

★距離に気を付ける
⇒距離が遠すぎると途中で塗料が乾燥し、表面に塗料がなじまず粒状になります。塗装面との距離を離しすぎないこと。乾燥をすこし遅らせるため、レベリングうすめ液やリターダーマイルドを使用するとよいでしょう。

★一度に大量の塗料を吹き付けない
⇒エアブラシ塗装は、かなり薄い塗料を使用するためなかなか発色しない場合があります。乾燥前に何度も吹き付けると塗料が流れてしまいます。全体に濡れたようなツヤがでたら、一旦塗装をやめ充分乾燥させてください。乾燥後に再度重ね吹きをし、塗装面を完成させます。

★金属色はやさしくふんわりと
⇒金属色は乾燥が早いため、ノズルの部分で詰まりやすい傾向があります。これを防ぐには、レベリングうすめ液を使用し、乾燥を遅らせます。またニードルを開きぎみにし風量を押さえ、ふんわりと塗装すると詰まりを防止できます。また高圧のコンプレッサーを使用している場合は、ニードルを開き、圧を上げ一気に吹き付ける方法もありますが、コントロールが難しくなります。



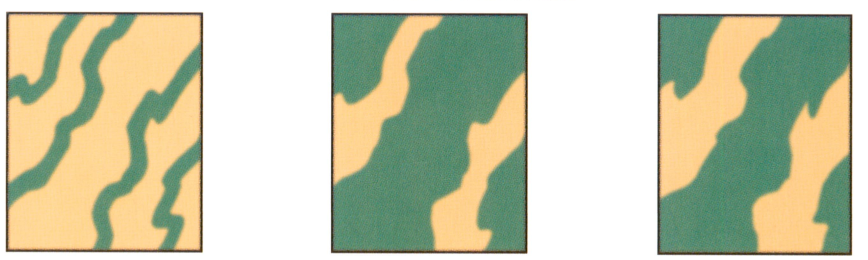
細吹きの応用

エアブラシをもって、その実力を実感できるのは、細かいぼかし塗装やグラデーション塗装がきまったときではないでしょうか。ここでは、細吹きを応用したさまざまな塗装方法を覚えましょう。



迷彩塗装

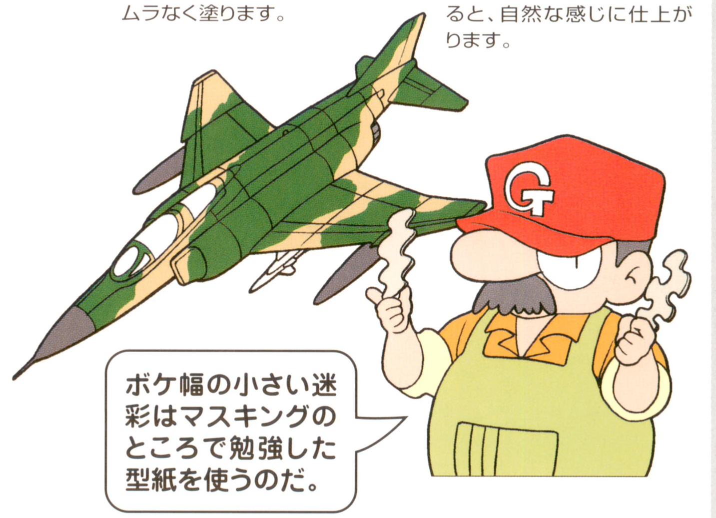
フリーハンドによる迷彩塗装



❶ 下地色の上にパターンを細吹きで描きこみます。空気圧は低めに。

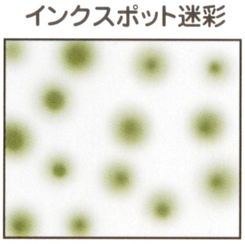
❷ 線の内側をやや太吹きにして塗りつぶします。少々はみ出しがあっても気にせず、ムラなく塗ります。

❸ はみ出した部分を下地色で修正します。また色の境めに極細吹きで吹き付けてやると、自然な感じに仕上がります。



細吹きの応用でこんなことも

インクスポット迷彩



ボカシすぎないよう、ニードルを絞って吹き付ける。失敗しないよう、エア圧は低く設定すること。

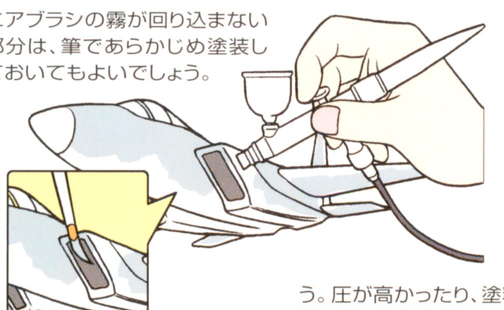
ウェーブ迷彩



細い縞模様の迷彩。フリーハンドで吹き付ける。単調にならないよう、資料などをよく見て。もちろんエア圧、ニードル開度は低く。

入り組んだ部分などの塗装

エアブラシの霧が回り込まない部分は、筆であらかじめ塗装しておいてもよいでしょう。

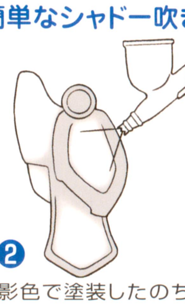


入り組んだ部分やくぼんだ所は、エア圧をしぼった細吹きで塗装しましょう。圧が高かったり、塗料を多く吹き付けると色がのらず、流れてしまいます。

簡単なシャドー吹き

方法❶ 下地色を塗った上に影色を吹き付けます。下地色とのバランスに注意。





方法❷ 全体を影色で塗装したのち、影色を残しながら、表面色を塗り重ねます。塗りすぎて影色を消してしまわないよう注意。

ミリタリーモデルなどで使用されていたテクニックですが、現在はアニメモデルの仕上げにもよく使われています。塗装後に影色をエッジやスジ彫りの部分を中心に細吹きします。また全体を暗い色で仕上げておき、影色を残しながら表面色を吹き付ける方法もあります。いずれも細吹きを充分練習してから試したいテクニックです。

さあ塗装しよう
――仕上げ塗装編――

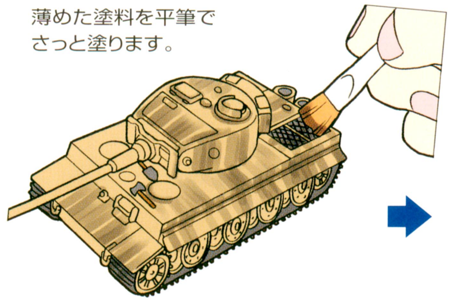
「塗装が終わって完成じゃ。われながら惚れ惚れする出来じゃ」
「店長、よくできてるわね。あとは仕上げね。」
「えぇ!? こんなにきれいに塗装したのにこれ以上何をするんじゃ?」
「たとえば本物って、使っているうちに埃や泥がついたり、表面の塗装がはがれて下地が見えたりして、汚れていくものでしょ。それにスジ彫りを強調したり、ツヤを整えたり、最後の仕上げで実感がグッとあがるのよ。」
「おぉ、なるほど。では手はじめに、外から土をとってこようかの……」
「チョット待った! 全部塗料を使って表現するのよ。」
「えぇ!? いったいどうやるんじゃ?」
「それじゃ、代表的な仕上げ塗装を教えてあげるから、試してみてね。」



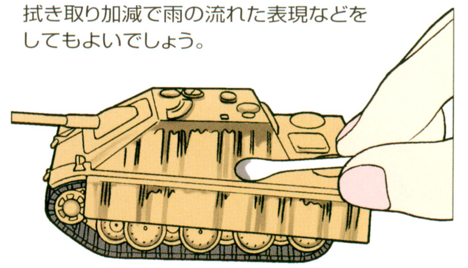
ウォッシング

本来の意味は「洗う」という意味ですが、模型塗装の場合薄めた塗料の黒やこげ茶色をエナメルシンナーで薄く溶いたものを、全体に塗り、乾かないうちに綿棒や布で一定の方向に拭き取ることをいいます。これで全体のトーンが落ち着いた感じに統一されます。エナメルシンナーは、浸透力が強く、プラがもろくなる場合がありますので、必要最小限の塗料でおこなうようにします。

薄めた塗料を平筆でさっと塗ります。

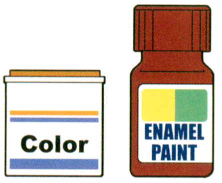


綿棒などで一定方向に拭き取ります。このとき、拭き取り加減で雨の流れた表現などをしてもよいでしょう。

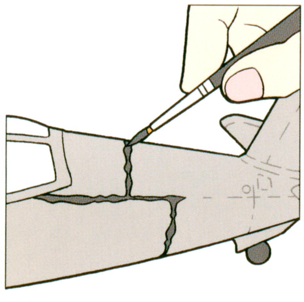


スミ入れ

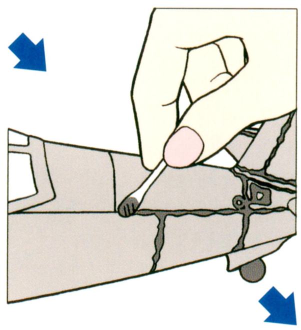
エナメル塗料のつや消し黒をエナメルシンナーで薄く溶いたものを、スジ彫りのラインや、窪んだ所に沿って流し込みます。簡単な方法として、ガンダムマーカーのスミ入れを使用してもよいでしょう。



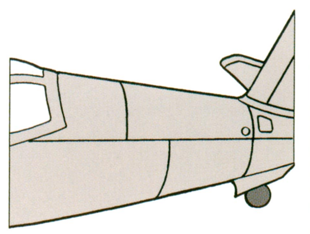
注意：エナメル系の溶剤は、プラスチックを侵す場合があります。特に窪みやパーツの隙間に溶剤が残った場合は、必ず拭き取るなどして乾燥させてください。



塗料をふくませた筆をスジ彫りに当てると、毛管現象でさっと塗料が流れていきます。



完全乾燥前に綿棒や、柔らかい布で拭き取ると、溝の中や窪みに黒い塗料が残り、ラインをくっきり目立たせることができます。

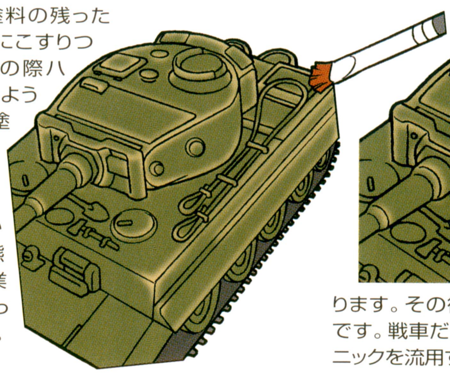


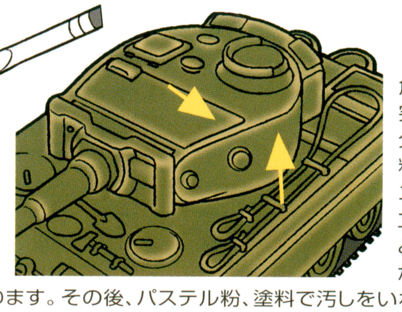
ドライブラシ

塗装に使用した色よりも明るい色を選びます(塗装色に白を混ぜたり、戦闘車輌の場合は、砂や埃のような明るいサンド系の色でもOKです。)。塗料の種類は、下地がラッカー系ならエナメルや水性を選びましょう。塗料を少量筆にふくませたら、それを布やティッシュでほとんど残らないくらい、拭き取ります。



かすかに塗料の残った筆を、表面にこすりつけます。この際ハケ目がでるようなら、まだ塗料がつきすぎです。色がつくかつかないかという状態にして、作業をおこなってください。

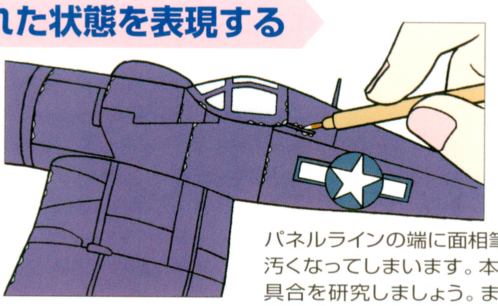




角の部分や突起した部分に薄く塗料がのって、エッジを目立たせることで、全体が引き締まります。その後、パステル粉、塗料で汚しをいれれば完璧です。戦車だけではなく、飛行機の操縦席などにこのテクニックを流用すれば、メリハリの利いた仕上がりになります。

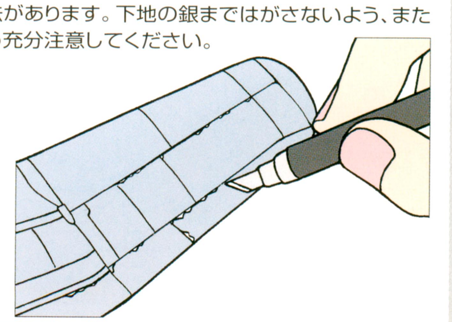
塗装のはがれた状態を表現する

飛行機は、使い込むにつれて、塗装の表面が劣化して、パネルラインの端や整備や乗降でこすれる個所からはがれて、地の色(ジュラルミンの銀色)が現れてきます。



パネルラインの端に面相筆で銀色を塗る。やりすぎると汚くなってしまいます。本物の写真などをみて、はがれ具合を研究しましょう。また銀を塗るときは、わざと形状をばらつかせ、単調にならないように注意します。

他に、最初に銀色を塗った上に機体色を塗り、カッターの先で軽くこすって、銀色の地を出すという方法があります。下地の銀まではがさないよう、また余分なキズをつけないよう充分注意してください。



ツヤを整える

同じツヤの塗料を使っても、塗装条件などでツヤのばらつきが出がちなものです。最終仕上げとして塗装の上にクリアーを吹き付けることにより、ツヤが整い、大変きれいな仕上がりになります。



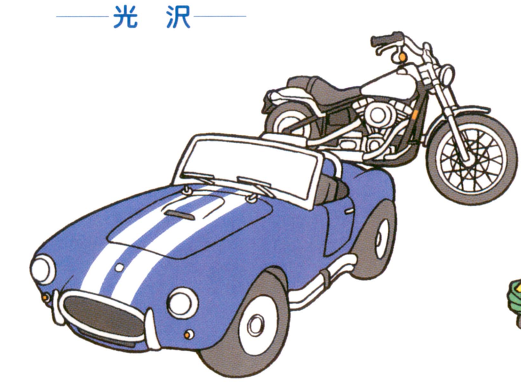
トップコートは、水性クリアーなので下地を選ばず使用できます。デカールの上に吹き付けてもデカールが溶けることはありません。水性なので、光沢タイプは乾燥に時間がかかります。また油性に比べ塗膜が弱いので、乾燥後のコンパウンド仕上げなどには向きません。トップコートの上からMr.カラー、エナメルカラーの塗り重ねはできません。



スーパークリアーは、Mr.カラーより高級樹脂を使用し、光沢、肉持ち感、レベリング性に優れたクリアー塗料です。油性なので乾燥が早く、塗膜も強く、他の塗料の塗り重ねも可能です。使うのにちょっとしたコツがいりますが、大変よく使われているクリアー塗料です。

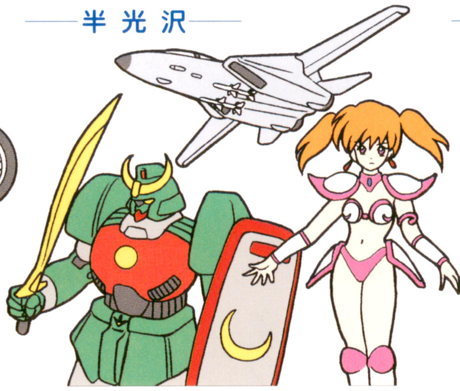
表面コートスプレーには、光沢の差によりそれぞれ3種があります。

光　沢



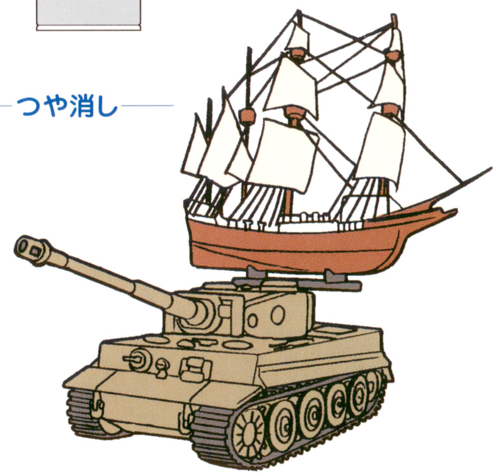
自動車モデルやオートバイモデルに。パール塗料やマイカ塗料に記入してある2コートとは、この光沢クリアーでコートすることを意味しています。

半 光 沢



フィギュア、アニメモデル、飛行機モデルなど多くのジャンルに使用されています。鈍いつやは、模型のおもちゃっぽさをなくします。

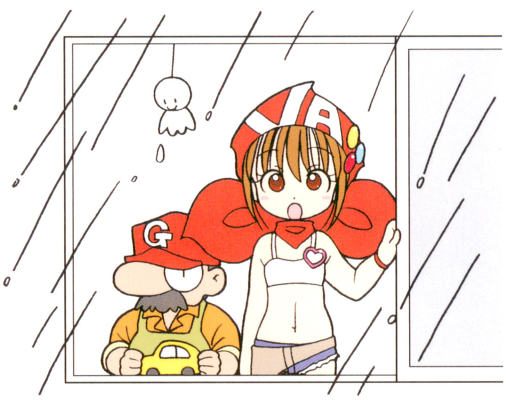
つや消し

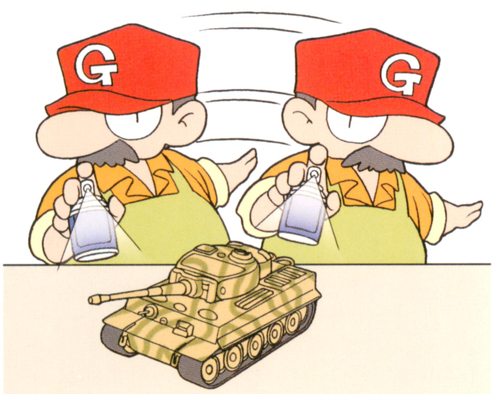


完全につやがない状態になります。ミリタリーモデルや帆船などに最適です。軽く吹くだけで効果がでます。

注意

雨の日や高温／低温で多湿の時は、吹き付け作業をしないでください。かぶり（表面が白くなったり、アバタになる）の原因になります。



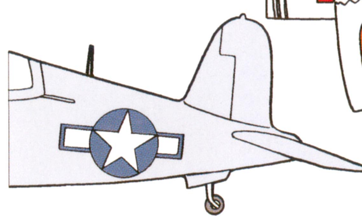


つや消し、半光沢は、厚く吹くことは厳禁です。通常の塗料の感覚で吹き付けると白く曇ってしまいます。つや消し剤によって必要以上に光が乱反射するためで、曇りガラスと同じ原理です。薄く吹き乾燥させ、表面状態を確認しながら作業してください。

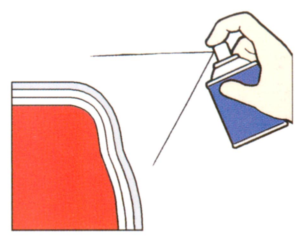
デカールの上からの表面コート

デカールと塗装のツヤが違ったり、段差があると実感のとぼしい仕上がりになってしまいます。そこで表面コートをおこなうのですが、これには少々コツが必要です。充分練習してうまくできるようになってからチャレンジしてください。
まずデカールを貼ったら、表面コートをおこなう前に1週間ほどおき、完全に乾燥させます。これは、デカールが完全に密着していないと、裏側にシンナー分がまわり、デカールがしわになってしまうからです。またデカールによっては、非常に弱いものがありますので、不要部分を使い必ずテストしてください。



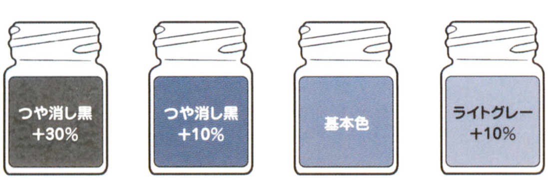


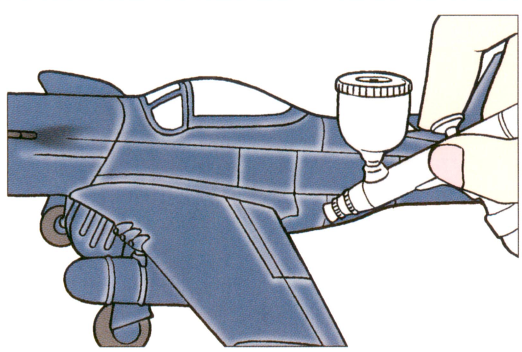
吹き付ける時は、先ず1層目をほんの軽く吹き、乾燥後薄く吹き重ねていきます。厚塗りするとデカールがシンナーに侵される時間が長くなるので厳禁です。トップコートは水性なので、そこまで注意する必要はありませんが、同じような方法をとったほうが、失敗を防げます。



エアブラシを使った色褪せ表現

基本色、基本色＋ライトグレイ10％、基本色＋つや消し黒30％、基本色＋つや消し黒10％、というように、明度の少しづつ異なる種類の塗料を用意します。

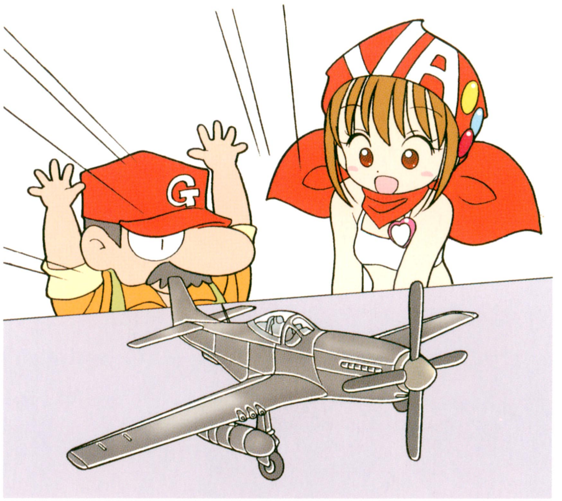




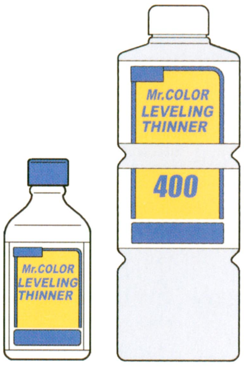
基本色を吹いた上から、パネルラインに沿ってつや消し黒10％入りの基本色を吹き付けます。その上につや消し30％入りの基本色をパネルラインに細吹きします。ライトグレイ10％入りの基本色を、各パネルに吹いていきます。このように明度を変えた塗料をエアブラシで吹くことで、場所によって色が褪せた感じを表現していきます。さらにライトグレイや黒の割合を変化させた色を重ねると、より深みのある表現が可能です。

便利な塗料・仕上材

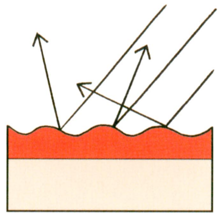
「店長よくがんばたわね。いよいよ最後の講座よ」
「いやいや、わしもなかなかのもんじゃろう?」
「まだまだ覚えなきゃいけないこと、いっぱいあるけどね。たとえば ほら!!」
「なんじゃこれは!プラモデルなのに金属みたいに光ってるぞ」
「これは、メタルカラーっていう塗料を使ったの。他にもいろいろ便利な材料がでてるのよ」
「うーん、奥が深いのー。こりゃまだまだ勉強しなくちゃ」
「それじゃ最後は、これまで紹介できなかった、仕上げ材の使い方を一気に教えちゃお」
「よぉーし、本格モデラーめざして、もうひとがんばりだー。」



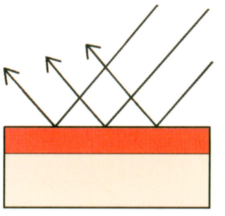
Mr.レベリングうすめ液



Mr.レベリングうすめ液は、この本の中にもたくさん登場しています。普通のうすめ液とどこが違うのでしょうか。レベリングうすめ液を使用すると、まず塗料の乾燥時間が若干ながくなります。そうすると塗料が乾燥する前に、平滑になる時間がとれることになります。またこれは、エアブラシなどで吹き付けをおこなう場合、対象物に届くまでに塗料が乾燥し、表面が荒れる現象を防ぐ効果もあります。さらに溶解力が通常のうすめ液より強いため、塗料がより細かい粒子になり、細かい凸凹を減らすことになります。



塗装の表面(塗膜)が凸凹だと、光の反射が乱れて、きれいな光沢が得られません。

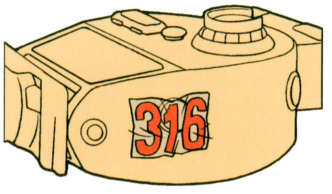


Mr.レベリングうすめ液は、塗膜を平らに均一にすることで、きれいな光沢を出す効果があります。

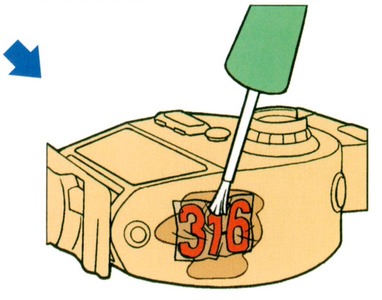
Mr.マークソフター

マークソフターは、デカールの軟化剤です。これをデカールを貼った上から塗ると、デカールが柔らかくなり、凹凸の部分や曲面にもなじませることができます。塗ったときデカールに細かいしわがでることがありますが、これは軟化してきた証拠、あわてて触ったりしないようにしましょう。なじみが悪いときは、綿棒などで軽く押さえ密着させます。デカールによっては、軟化しすぎる場合があります。使用する前に、不要部分で試してみましょう。水で薄めることができますので、強すぎる場合は、薄めて使用してください。

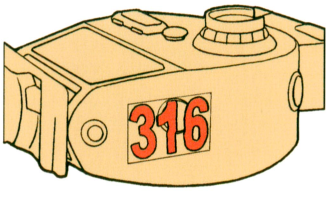




❶ デカール(スライドマーク)のフィルムが硬いと、貼ったときに表面になじまないことがあります。特に凸凹のある所に貼ると、デカールが浮いた状態になってしまいます。



❷ デカールを所定の位置に貼り、ある程度密着させたら、マークソフターを塗り、フィルムを柔らかくします。綿棒などで密着させながら軽く水気をとります。

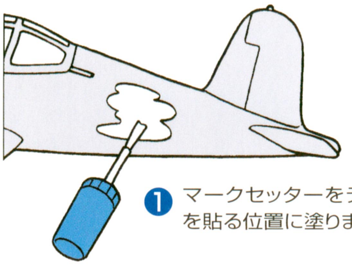


❸ 乾燥すれば、凸凹にもなじみ、実感を損なうことがありません。

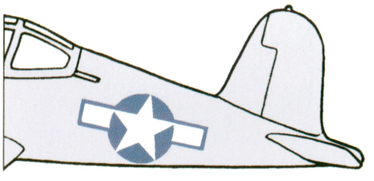
Mr.マークセッター

マークセッターはより強力にデカールをフィットさせるために開発されました。のり分が含まれた軟化剤で、密着しにくいデカールなどに威力を発揮します。また通常の平面でも密着度が増すので、上からクリアーを吹き付ける場合など、デカール裏面へのシンナーの浸透を防ぐ効果があります。のり分が含まれるため、はみ出した場合は、乾燥する前に水をふくませた綿棒などで、はみだし分を除去してください。

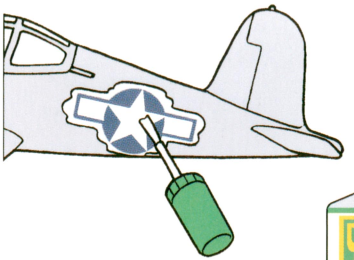




❶ マークセッターをデカールを貼る位置に塗ります。

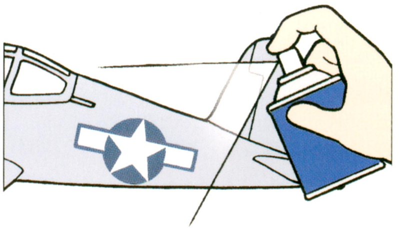


❷ デカールを所定の位置に貼り、軽く水気を取りながら密着させます。





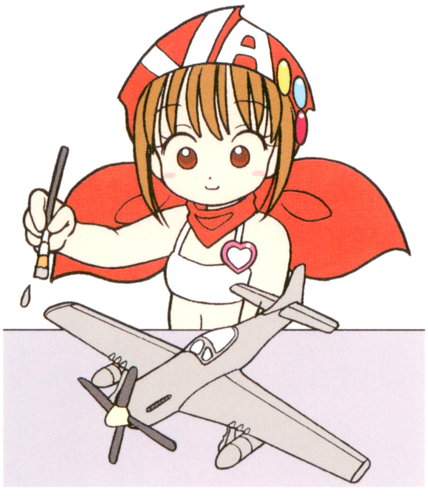
❸ より密着度を増すには、その上からマークソフターを塗ります。



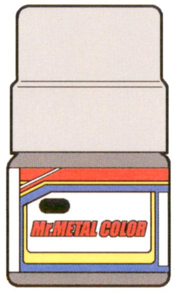
❹ 充分乾燥させた後、クリアーで仕上げれば、シルバリング(デカールののり分が白く光ること)のない手書きのような仕上がりになります。

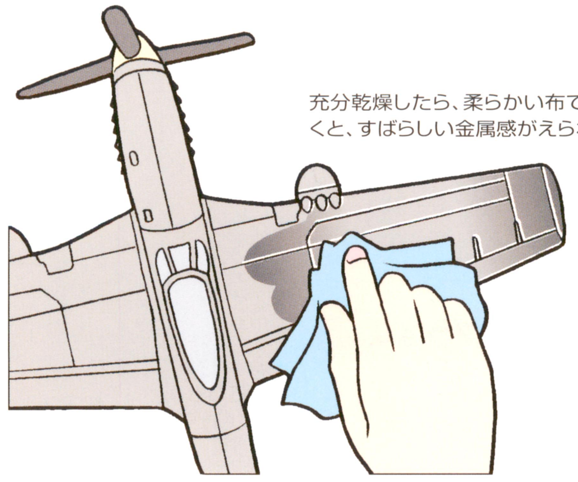
Mr.メタルカラー

Mr.メタルカラーは、通常の塗料と違い、金属粉が溶剤に浮いている状態になっています。これを塗装し、溶剤分が蒸発すると金属粉が表面に残り、これを磨くことにより本物の金属光沢が再現できます。下地の状態が仕上がりに大きく影響しますので、特に念入りに下地処理するようにしてください。下地に水性カラーを使用すると、塗装を侵すおそれがあるので注意してください。また下地は光沢仕上げのほうが、きれいな金属光沢が得られます。

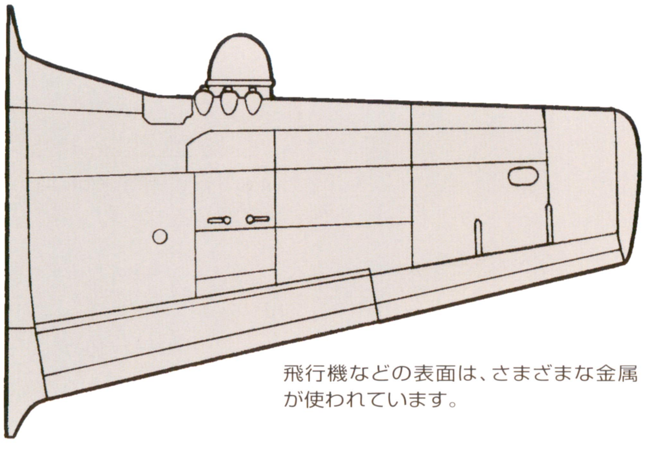


筆を使いメタルカラーを塗装します。ハケ目が残ると、仕上がりに影響しますので注意してください。広い面積には、エアブラシ、プロスプレーなどを使用したほうが、キレイに仕上がります。吹き付ける場合も、薄める必要はありません。

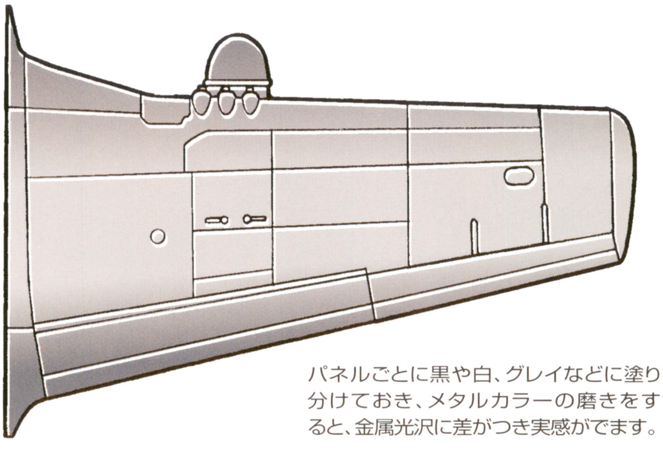




充分乾燥したら、柔らかい布で表面を磨くと、すばらしい金属感がえられます。

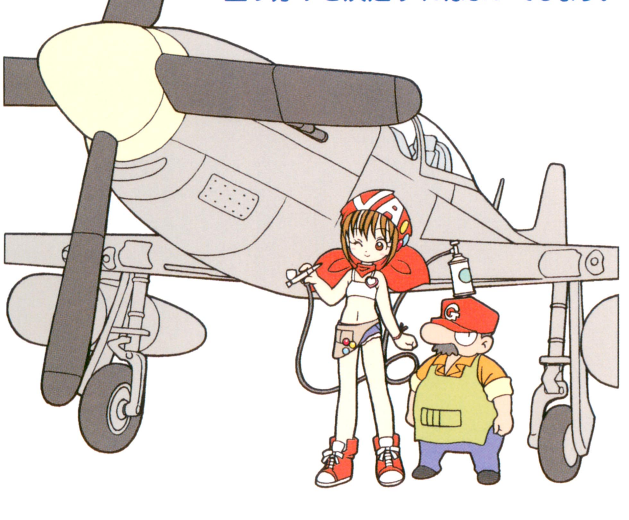


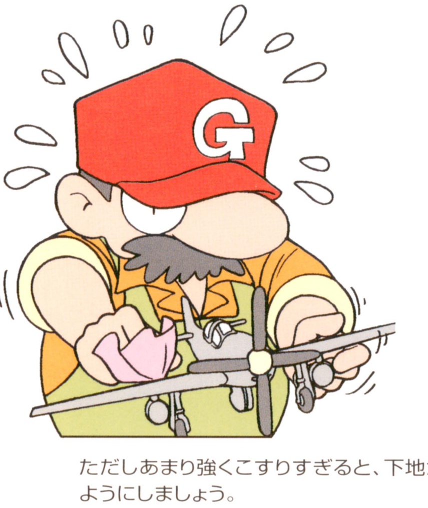
飛行機などの表面は、さまざまな金属が使われています。

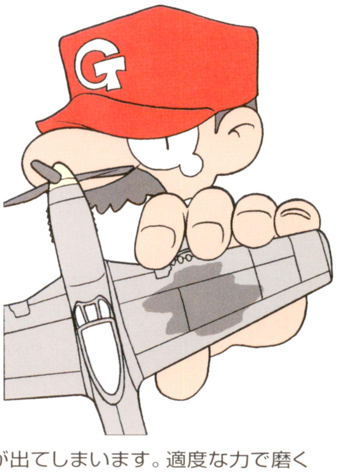


パネルごとに黒や白、グレイなどに塗り分けておき、メタルカラーの磨きをすると、金属光沢に差がつき実感がでます。

実際の飛行機の写真などを参考にして、塗り分けを決定すればよいでしょう。



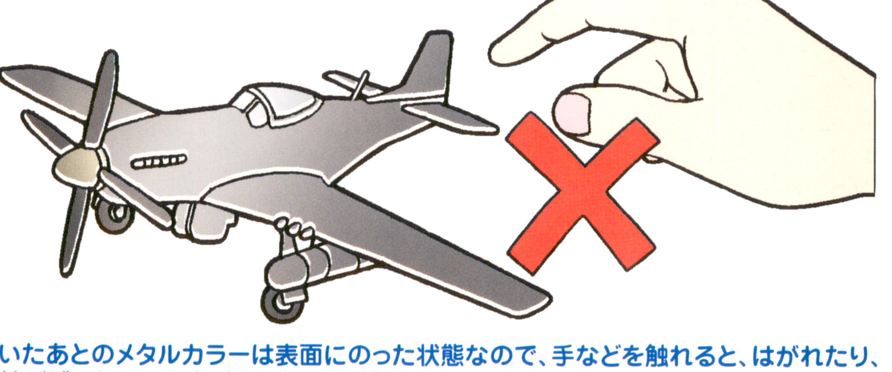




ただしあまり強くこすりすぎると、下地が出てしまいます。適度な力で磨くようにしましょう。

メタルカラーの上に表面コートすると、金属光沢が損なわれます。できるだけそのままで飾ってください。どうしてもコートする必要があれば、水性のトップコートなどを使用します。





磨いたあとのメタルカラーは表面にのった状態なので、手などを触れると、はがれたり、指紋が残ったりします。組み立て順、塗装順をよく考えて使用してください。



KeiちゃんRESCUE

塗　装　編

「どう店長？ これで塗装の基本は、バッチリよね。」
「でもKeiちゃん、実際やってみると、教わったこと以外のことが色々おきるもんじゃ。みんなももっと教えてほしいことがあるんじゃないかの〜。」
「そうね。それじゃ、よくお客さんから聞かれることなんかを、ちょっとまとめてみようか。」
「おぉ、困った時のKeiちゃんだのみ。KeiちゃんRESCUEのはじまりはじまり。」

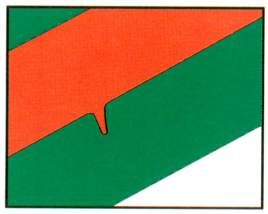


うわー!! マスキングをはがしたら塗料がはみ出してた。どうやってなおせばいいの？



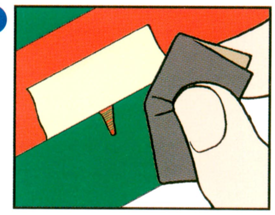
マスキングがキチンとできていなかったのね。よくある失敗だけど、ガッカリせずキチンと修整すれば、かなり目立たなくできるわ。丁寧に手間を惜しまないことがうまく修整するコツよ。マスキング講座をもう一度よく読んで、きれいな塗りわけができるようにしてね。修正する時間と手間を考えたら、マスキングに時間をかけた方が、きっと楽よ。

マスキングテープの浮いたところから塗料が進入！



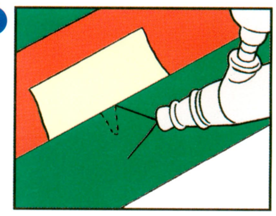
少量なら下地色でタッチアップします。

❶



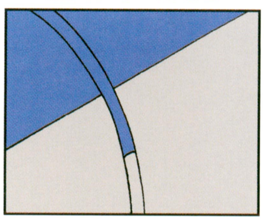
でも通常は下地より盛り上がっているので、1000番くらいの耐水ペーパーで段差を削ります。上塗りを傷めないよう保護テープを貼っておきます。削ったあと下地が傷んでいなければ、コンパウンドで磨いてつやをもどすだけでOKです。

❷

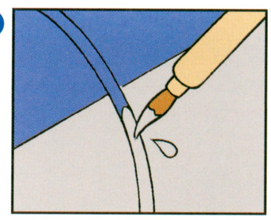


削り終わったら、上塗り色をマスキングし、部分吹きで修整を行います。周囲のざらつきは、コンパウンドで磨きます。上からクリアーコートする場合はコンパウンドは必要ありません。

スジ彫りに塗料が浸入していた場合

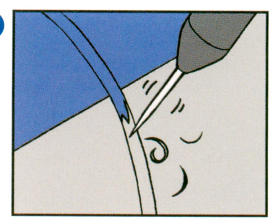


❶



下地の色で上からタッチアップ。ミゾの中だけに塗料を入れるようにします。

❷



ミゾが埋まるほど塗料が浸入していた場合は、周囲を傷つけないようケガキ針などで塗料を削り、その後タッチアップします。



雨の日に塗装したら、ツヤがばらばらのうえにくもっちゃった。塗料がおかしいの？



それはカブリという現象ね。湿度の高い無風の時に塗装するとよくおきるの。夏など天気が良くても要注意。塗料に含まれた水分が蒸発しきれず、塗膜の表面に止まり、表面が荒れてくもって見えるのよ。防止するには、天気のいい湿度の低い日を選んで塗装するのが一番。どうしても天気の悪い日に塗装するのなら、リターダーシンナーを塗料に混ぜるか、塗装する表面を軽く暖めておく、乾燥の時軽い空気の流れを作ってやり水分の蒸発を助けてやるなどの対策をすればかなり防げるわ。くもってしまったら、うすめ液を吹き付け表面を軽く溶かし、水分を蒸発させるか、つやを整えるクリアーを吹き付ければ回復できる場合もあるの。あきらめる前に試してみてね。



乾かしている時にホコリがついちゃった！どうしよう？



塗料が乾燥する前なら、ピンセットなどで丁寧に取ればあとがわからなくなることもあるけど、逆に塗装面を傷つける場合が多いの。確実な方法は、乾燥してから耐水ペーパーでホコリを取り、再塗装したほうがきれいに仕上がると思うわ。でも肝心なのは、ホコリがつかないように、注意することよ。乾燥の時は上からカバーをかぶせたり、模型用の乾燥機を使ってみてもいいかも。



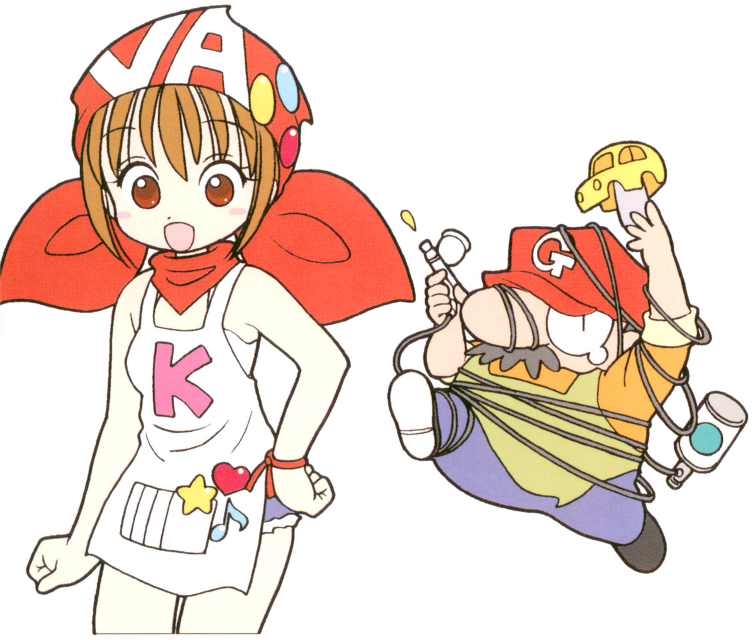
赤い成型色のプラモデルに白のサフェーサーも吹きつけたらピンク色になっちゃった。



全部のプラモデルでそうなるわけじゃないけど、濃い成型色にうすい色を塗った場合に時々こんなことがあるの。これは塗料がおかしいんじゃなくて、プラスチックを色づけしている材料が、塗装で浮いてきた現象よ。残念ながら、これを完全に防止することはできないけど、プラの上にシルバーの塗料を塗って、うすい色を塗ると、かなりこの現象は防げるようよ。一度見えない部分で確認した方がいいわね。

KeiちゃんRESCUE

エアブラシ編



コンプレッサーにエアブラシをつないで、吹き付けしてたら水が噴き出したよ。どこか壊れたの?

湿度の多いときなどによくある現象ね。水と塗料が一緒に吹き付けられたら塗装面が台無し。圧縮された空気の中の水分が、ホース内で水になり、空気と一緒に飛び出したの。これを防ぐには、天気のよい乾燥した日を選んで塗装するか、エアブラシとコンプレッサーの間に、水抜きをつければいいわ。水抜きは、レギュレーターと一緒になったものが、いろいろ発売されているので、持っているコンプレッサーの能力にあうものを選んでね。でも湿度がすごく高いときは、水抜きでも水を取りきれない場合があるので注意してね。

吹き始めに塗料が飛び散っちゃった。エアブラシの故障?

まずシングルアクションの場合、吹き付けを休んでいるときにニードルを戻していた?シングルアクションの場合ニードルが戻ってないと塗料が塗料ノズルのところに溜まり、それが吹き始めに飛び散ることがあるの、注意してね。ダブルアクションでも出口に塗料が残っていることがあるので、塗装する時は、必ず吹き始めに空吹きをして、出口付近の塗料を飛ばしてから、作業をはじめるのを習慣にすること。それに吹き付け途中も、ノズルキャップ付近に塗料が溜まって、飛び散ることがあるので、ときどきは、対象物から外れたところで、空気圧を上げて溜まった塗料を吹き飛ばしてね。塗装中に大きい塗料の粒が飛ぶときは、ニードルや塗料ノズルがいたんでいる場合が多いので確認してね。

あわわ……エアブラシからクモの糸みたいなものが。なぜ?

塗料はちゃんと薄めた?塗料が濃すぎると塗料が糸みたいになって飛び出すよ。長く保存した塗料なんかは、溶剤分が飛んで濃くなってるから、基本どおりに薄めても濃すぎることがあるの。プラ板などに薄めた塗料を塗ってみて、状態を確認するクセをつけてね。エアブラシの塗料カップに濃い塗料を入れてしまったら、うすめ液を追加して、うがいをしてよく混ぜること。しばらく吹き付けていれば、正常な濃度の塗料が出てくるはずだから、それから対象物に吹き付けてね。

エアブラシに塗料を入れっぱなしにしたら、中で塗料が固まっちゃった。面倒だからこのままうすめ液に漬けちゃおうかな。

だめ! そんなことしちゃ、ニードルパッキンなんかが全部ダメになっちゃうよ。ニードルが動かなくなるぐらい固まったら、塗料カップにツールクリーナーをいれ、数時間放置すれば、塗料が溶けて、ニードルが動くようになるはずよ。それから、ツールクリーナーを入れ空吹きをすれば使えるようになるわ。念のため分解掃除すれば完璧ね。ニードルが動く程度なら、ツールクリーナーを入れ空吹きを繰り返せばもとどおりよ。エナメル塗料は、固まるとなかなか溶かすことができないので要注意。いずれにしても塗装後は、すぐにエアブラシを掃除するくせをつけましょうね。

エアブラシのメンテナンスではなにに気をつけたらいいんだろう。

『エアブラシ編』でもいったけど、エアブラシは精密機械だから、扱いはていねいに。それにネジなどをしめるときも、無理な力をかけないようにね。それとわりと多いのが、ニードルを差し込むとき最後まできちんと入っていないこと。塗料が先端から漏れてしまい、大慌てなんてこともあるわ。ニードルは最後まできちんと差し込んだことを確認して、ネジできちんと固定してね。
それと、長く使っていると、あちこちの動きが悪くなってきたり、パッキンが痛んで、塗料が漏れ出したりするけど、作ったメーカーにオーバーホールしてもらえば、すっきり快調になる場合も多いよ。壊れている場所によって、修理代は変わるから、一度相談してみたら。



Mr.COLOR

溶剤系アクリル樹脂塗料

Mr.カラーは、仕上がり抜群の模型塗料として、長年にわたって世界のモデラーから高い評価を得ているもっとも使いやすい塗料です。色バランス、つやのバランスは完璧ですから、塗装後の仕上り度は誰もが納得するすばらしさです。色数や色の種類が豊富で、ほとんどのモデルの塗装に対応しています。たとえば、飛行機色は、実機に塗られている正しい資料にもとづいて精密に再現していますので、実機に迫る最高のモデルを作り上げることができます。

塗り方は、筆塗りは1度に厚塗りしないで2回、プロスプレーなどによる吹きつけ塗装は、塗料1に対してMr.うすめ液1～2位うすめて2～3回がよいでしょう。光沢色を半光沢にする場合は 30 フラットベースを5～10%、つや消しは10～20%混ぜて下さい。ひとビンで0.11㎡（3回塗り）塗ることができます。一般模型、クラフト、造形、工作にもMr.カラーをお使い下さい。

Mr.カラー

C-1～C-138
C-301～C-340
全146色（色見本参照）
各10㎖入
各¥120／¥126(税込)

C-151～C-160、C-171～C-175
181 182 183 185
全19色（色見本参照）
各10㎖入
各¥150／¥157(税込)

Mr.カラーL

CL1, CL8, CL184
全3色（色見本参照）
各40㎖入
各¥400／¥420(税込)
※ 184 はMr.カラーLのみです。

CL184 スーパークリアーIIのうすめには、必ずMr.レベリングうすめ液をご使用下さい。

No.	仕上り	色名	用途	近似色
1 / CL1	(光沢)	ホワイト(白)	基本色	H-1
2	(光沢)	ブラック(黒)	基本色	H-2
3	(光沢)	レッド(赤)	基本色	H-3
4	(光沢)	イエロー(黄)	基本色	H-4
5	(光沢)	ブルー(青)	基本色	H-5
6	(光沢)	グリーン(緑)	基本色	H-6
7	(光沢)	ブラウン(茶)	基本色	H-7
8 / CL8	(メタリック)	シルバー(銀)	基本色	H-8
9	(メタリック)	ゴールド(金)	基本色	H-9
10	(メタリック)	カッパー(銅)	基本色	H-10
11	(半光沢)	ガルグレー	現用アメリカ海軍機ほか	H-51
12	(半光沢)	オリーブドラブ(1)	アメリカ陸・空軍機ほか	H-52
13	(半光沢)	ニュートラルグレー	アメリカ陸・空軍機下面色ほか	H-22 / H-53
14	(半光沢)	ネービーブルー	アメリカ海軍機ほか	H-54
15	(半光沢)	暗緑色(中島系)	日本海軍機 上面色	H-36 / H-59
16	(半光沢)	濃緑色	日本陸軍機	H-60
17	(半光沢)	RLM71 ダークグリーン	ドイツ空軍機 上面色	H-64
18	(半光沢)	RLM70 ブラックグリーン	ドイツ空軍機 上面色	H-65
19	(半光沢)	サンディブラウン	ドイツ空軍機ほか	
20	(半光沢)	ライトブルー	ドイツ空軍機下面ほか	
21	(半光沢)	ミドルストーン	イギリス空軍機迷彩ほか	H-71
22	(半光沢)	ダークアース	イギリス空軍機迷彩ほか	H-72
23	(半光沢)	ダークグリーン(2)	イギリス海・空軍機迷彩ほか	H-73
25	(半光沢)	ダークシーグレー	イギリス空軍機迷彩ほか	H-75
26	(半光沢)	ダックエッググリーン	イギリス海・空軍機ほか	H-74
27	(半光沢)	機体内部色	アメリカ陸・海軍機機内ほか	H-58
28	(メタリック)	黒鉄色	基本色	H-18
29	(半光沢)	艦底色	軍艦船底ほか	H-17
30	(つや消し)	フラットベース	つや消し用添加剤	
31	(半光沢)	軍艦色(1)	アメリカ海軍軍艦ほか	H-82
32	(半光沢)	軍艦色(2)	日本海軍軍艦ほか	H-83
33	(つや消し)	つや消しブラック	基本色	H-12
34	(光沢)	スカイブルー	基本色	H-25
35	(半光沢)	明灰白色(三菱系)	日本海軍機 全面・下面色	H-61
36	(半光沢)	RLM74 グレーグリーン	WWIIドイツ空軍機 上面色	H-68
37	(半光沢)	RLM75 グレーバイオレット	WWIIドイツ空軍機 上面色	H-69
38	(つや消し)	オリーブドラブ(2)	WWIIアメリカ戦車ほか	H-78
39	(つや消し)	ダークイエロー（サンディイエロー）	WWIIドイツ戦車ほか	H-79
40	(つや消し)	ジャーマングレー〈フィールドグレー(1)〉	WWIIドイツ戦車ほか	H-32
41	(つや消し)	レッドブラウン	WWIIドイツ戦車ほか	H-47
42	(半光沢)	マホガニー	基本色	H-84
43	(半光沢)	ウッドブラウン	基本色	H-37
44	(半光沢)	タン	帆船、軍艦甲板ほか	H-27
45	(半光沢)	セールカラー	帆船ほか	H-85
46	(光沢)	クリアー(透明)	光沢仕上げ用、基本色	H-30
47	(光沢)	クリアーレッド	基本色	H-90
48	(光沢)	クリアーイエロー	基本色	H-91
49	(光沢)	クリアーオレンジ	基本色	H-92
50	(光沢)	クリアーブルー	基本色	H-93
51	(半光沢)	肌色(フレッシュ)	人形ほか・基本色	H-44
52	(つや消し)	フィールドグレー(2)	WWIIドイツ軍軍服ほか	H-48
54	(つや消し)	カーキグリーン	アメリカ陸軍軍服ほか	H-80
55	(つや消し)	カーキ	日本、イギリス陸軍軍服ほか	H-81
56	(半光沢)	明灰緑色(中島系)	日本海軍機 全面・下面色	H-62
57	(メタリック)	青竹色	日本陸・海軍機機内ほか	H-63
58	(半光沢)	黄橙色	日本機識別マークほか	H-24
59	(光沢)	オレンジ(橙)	基本色	H-14
60	(半光沢)	RLM02 グレー	ドイツ空軍機 上面・機内色	H-70
61	(メタリック)	焼鉄色	排気管ほか・基本色	H-76
62	(つや消し)	つや消しホワイト	基本色	H-11
63	(光沢)	ピンク(桃)	基本色	H-19
64	(光沢)	ルマングリーン(黄緑)	自動車ほか・基本色	H-16
65	(光沢)	インディブルー	自動車ほか・基本色	H-15
66	(光沢)	デイトナグリーン	自動車ほか・基本色	H-26
67	(光沢)	パープル(紫)	基本色	H-39
68	(光沢)	モンザレッド	自動車ほか・基本色	H-86
69	(光沢)	グランプリホワイト	自動車ほか・基本色	H-21
70	(つや消し)	ダークグリーン	WWIIドイツ戦車	
71	(光沢)	ミッドナイトブルー	アメリカ海軍機ほか	H-55
72	(半光沢)	ミディアムブルー	アメリカ海軍機ほか	H-42 / H-56
73	(光沢)	エアクラフトグレー	現用アメリカ海軍機ほか	H-57
74	(光沢)	エアスペリオリティーブルー	現用アメリカ海軍機ほか	
75	(メタリック)	メタリックレッド	自動車ほか・基本色	H-87
76	(メタリック)	メタリックブルー	自動車ほか・基本色	H-88
77	(メタリック)	メタリックグリーン	自動車ほか・基本色	H-89
78	(メタリック)	メタルブラック	自動車ほか	H-28
79	(光沢)	シャインレッド	基本色	H-23
80	(光沢)	コバルトブルー	基本色	H-35
81	(光沢)	赤2号	電車ほか	H-33
90	(メタリック)	シャインシルバー	基本色	H-8
92	(半光沢)	セミグロスブラック	基本色	
97	(光沢)	灰色9号	電車各部ほか	
100	(光沢)	マルーン	自動車ほか・基本色	H-43
101	(光沢)	スモークグレー	自動車ほか・基本色	H-95
104	(メタリック)	ガンクローム	エンジンほか	
107	(半光沢)	キャラクターホワイト	基本色	
108	(半光沢)	キャラクターレッド	基本色	
109	(半光沢)	キャラクターイエロー	基本色	
110	(半光沢)	キャラクターブルー	基本色	
111	(半光沢)	キャラクターフレッシュ(1)	基本色	
112	(半光沢)	キャラクターフレッシュ(2)	基本色	
113	(半光沢)	RLM04 イエロー	ドイツ機マーク	
114	(半光沢)	RLM23 レッド	ドイツ機マーク	
115	(半光沢)	RLM65 ライトブルー	ドイツ機 下面色 1936～	H-67
116	(半光沢)	RLM66 ブラックグレー	ドイツ機 機内ほか	
117	(半光沢)	RLM76 ライトブルー	ドイツ機 下面色 1941～	
118	(半光沢)	RLM78 ライトブルー	ドイツ機 下面色 トロピカル	
119	(半光沢)	RLM79 サンドイエロー	ドイツ機 上面色	H-66
120	(半光沢)	RLM80 オリーブグリーン	ドイツ機 上面色	
121	(半光沢)	RLM81 ブラウンバイオレット	ドイツ機 上面色	
122	(半光沢)	RLM82 ライトグリーン	ドイツ機 上面色	
123	(半光沢)	RLM83 ダークグリーン	ドイツ機 上面色	
124	(半光沢)	暗緑色(三菱系)	日本海軍機 上面色	
125	(半光沢)	カウリング色	日本機カウリング	
126	(半光沢)	コクピット色(三菱系)	日本機コクピット	
127	(半光沢)	コクピット色(中島系)	日本機コクピット	
128	(半光沢)	灰緑色	日本陸軍機 全面・下面色	
129	(半光沢)	濃緑色(中島系)	日本陸軍機 上面色	
130	(半光沢)	濃緑色(川崎系)	日本陸軍機 上面色	
131	(半光沢)	赤褐色	日本機プロペラ	
132	(つや消し)	土草色	日本戦車	
133	(つや消し)	土地色	日本戦車	
134	(つや消し)	草色	日本戦車	
135	(つや消し)	ロシアングリーン(1)	WWII前期ソ連戦車	
136	(つや消し)	ロシアングリーン(2)	WWII後期ソ連戦車	
137	(つや消し)	タイヤブラック	基本色	H-77
138	(光沢)	クリアーグリーン	基本色	H-94
151	(パール コート用)	ホワイトパール	自動車ほか 2コート	
152	(パール コート用)	グリーンパール	自動車ほか 2コート	
153	(パール コート用)	レッドパール	自動車ほか 2コート	
154	(パール コート用)	ブルーパール	自動車ほか 2コート	
155	(光沢)	スーパークリアー	基本色・ツーコート用	
156	(光沢)	スーパーホワイトIV	自動車ほか・基本色	
157	(光沢)	スーパーブラック	自動車ほか・基本色	
158	(光沢)	スーパーイタリアンレッド	自動車ほか・基本色	
159	(メタリック)	スーパーシルバー 2コート	自動車ほか（エアーブラシ用）	
160	(光沢)	クランベリーレッドパール 2コート	自動車ほか・基本色（エアーブラシ用）	
171	(つや消し)	蛍光レッド	基本色	
172	(つや消し)	蛍光イエロー	基本色	H-97
173	(つや消し)	蛍光オレンジ	基本色	H-98
174	(つや消し)	蛍光ピンク	基本色	H-99
175	(つや消し)	蛍光グリーン	基本色	H-100
181	(半光沢)	スーパークリア半光沢	基本色・コート用	
182	(つや消し)	スーパークリアーつや消し	基本色・コート用	H-20
183	(つや消し)	スーパークリアーグレートーン	基本色・コート用	
CL184	(光沢)	スーパークリアーII	基本色・コート用	
185	(つや消し)	スーパーフラットブラック	基本色	
301	(半光沢)	グレーFS36081	チャコールリザード迷彩色	H-301
302	(半光沢)	グリーンFS34092	チャコールリザード迷彩色	H-302
303	(半光沢)	グリーンFS34102	チャコールリザード迷彩色	H-303
304	(半光沢)	オリーブドラブFS34087	ウェポン用	H-304
305	(半光沢)	グレーFS36118	アメリカ制空迷彩色	H-305
306	(半光沢)	グレーFS36270	アメリカ制空迷彩色	H-306
307	(半光沢)	グレーFS36320	アメリカ制空迷彩色	H-307
308	(半光沢)	グレーFS36375	アメリカ制空迷彩色	H-308
309	(半光沢)	グリーンFS34079	ベトナム迷彩色	H-309
310	(半光沢)	ブラウンFS30219	ベトナム迷彩色	H-310
311	(半光沢)	グレーFS36622	ベトナム迷彩色	H-311
312	(半光沢)	グリーンFS34227	イスラエル砂漠迷彩色	H-312
313	(半光沢)	イエローFS33531	イスラエル砂漠迷彩色	H-313
314	(半光沢)	ブルーFS35622	イスラエル砂漠迷彩色	H-314
315	(光沢)	グレーFS16440	アメリカ海軍標準塗装色	H-315
316	(光沢)	ホワイトFS17875	アメリカ海軍標準塗装色	H-316
317	(つや消し)	グレーFS36231	アメリカ海軍標準塗装色	H-317
318	(半光沢)	レドーム	アメリカ海軍標準塗装色	H-318
319	(半光沢)	薄松葉色	航空自衛隊F-1迷彩色	H-319
320	(半光沢)	濃松葉色	航空自衛隊F-1迷彩色	H-320
321	(半光沢)	黄土色	航空自衛隊F-1迷彩色	H-321
322	(光沢)	フタロシアニンブルー	T-2ブルーインパルスカラー	H-322
323	(光沢)	ライトブルー	T-2ブルーインパルスカラー	H-323
324	(つや消し)	ライトグレー	航空自衛隊機内色	H-324
325	(半光沢)	グレーFS26440	航空自衛隊F-1迷彩色	H-325
326	(光沢)	ブルーFS15044	サンダーバーズカラー	H-326
327	(光沢)	レッドFS11136	サンダーバーズカラー	H-327
328	(光沢)	ブルーFS15050	ブルーエンジェルスカラー	H-328
329	(光沢)	イエローFS13538	ブルーエンジェルスカラー	H-329
330	(半光沢)	ダークグリーンBS381C/641	イギリス空軍迷彩色	H-330
331	(半光沢)	ダークシーグレーBS381C/638	イギリス空軍迷彩色	H-331
332	(半光沢)	ライトエアクラフトグレーBS381C/627	イギリス空軍機迷彩色	H-332
333	(半光沢)	エクストラダークシーグレーBS381C/640	イギリス海軍シーハリアーほか	H-333
334	(半光沢)	バーリーグレーBS4800/18B21	イギリス空軍F-4ファントム、ライトニングほか	H-334
335	(半光沢)	ミディアムシーグレーBS381C/637	イギリス空軍バルカンほか	H-335
336	(半光沢)	ヘンプBS4800/10B21	イギリス空軍ビクター、ニムロットほか	H-336
337	(半光沢)	グレイッシュブルーFS35237	アメリカ海軍F-18, F-14, F-4ほか	H-337
338	(半光沢)	ライトグレーFS36495	アメリカ海軍F-18ほか	H-338
339	(光沢)	エンジングレーFS16081	アメリカ海軍シースフライトP-2Jほか	H-339
340	(半光沢)	フィールドグリーンFS34097	アメリカ海兵隊コブラほか	H-340

●蛍光色を塗る際は、一度に厚塗りせず、薄く塗り重ねてください。
●光沢仕上げにする場合は、光沢クリアーでコートして下さい。

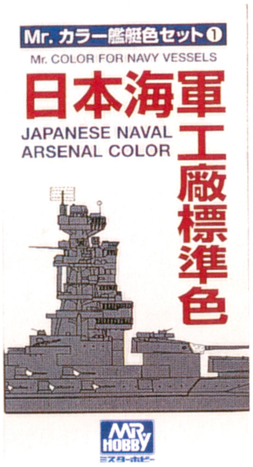
※色見本中のH-1などの番号は、水性ホビーカラーの近似色の番号です。
◎色見本は印刷のため、塗料の色と異なる場合もありますので参考にご利用下さい。

● 2コート と表示のある色は、塗装後、乾燥してから必ずMr.カラー 155 スーパークリアーや 184 スーパークリアーIIをエアーブラシ塗装するか、B-513 Mr.スーパークリアー光沢を重ね塗り（2コート）して下さい。深味があり、光があたるとキラキラ輝くすばらしい色に仕上がります。

Mr.カラー特色セット

Mr.カラー特色セットは、現用戦車の塗装色や第2次世界大戦軍用機の塗装色、軍艦の塗装色を精密再現したMr.カラーのセットです。

◆各セット18㎖×3色入り



セット	内容		
CS601 Mr.カラー 現用戦車色① 陸上自衛隊戦車色 ■¥600/¥630(税込)	TC07(つや消し) 濃緑色 3414	TC08(つや消し) 茶 色 3606	TC09(つや消し) OD色 2314
CS602 Mr.カラー 戦車色セット② NATO軍(ドイツ連邦軍)戦車色 ■¥600/¥630(税込)	TC10(つや消し) RAL 6031 ブロンセグリュン	TC11(つや消し) RAL 8027 レーダァブラオン	TC12(つや消し) RAL 9021 テーアシュバルツ
CS611 Mr.カラー 日本海軍艦艇色セット① 日本海軍工廠標準色 ■¥600/¥630(税込)	SC01(3/4つや消し) 呉海軍工廠標準色	SC02(3/4つや消し) 佐世保海軍工廠標準色	SC03(3/4つや消し) 舞鶴海軍工廠標準色
CS612 Mr.カラー 日本海軍艦艇色セット② 日本海軍迷彩色 ■¥600/¥630(税込)	SC04(3/4つや消し) 外舷21号色	SC05(3/4つや消し) 外舷22号色	SC06(3/4つや消し) リノリウム色
CS651 Mr.カラー 飛行機色セット① WWIIアメリカ陸・海軍機/イギリス空軍機インテリア塗装色 ■¥500/¥525(税込)	351(3/4つや消し) FS34151 ジンク・クロメイトタイプ1	352(3/4つや消し) FS33481 クロメイトイエロープライマー	364(3/4つや消し) BS283 エアクラフトグレイグリーン
CS652 Mr.カラー 飛行機色セット② イギリス空軍機 WWII 中・後期標準塗装色 ■¥500/¥525(税込)	361(3/4つや消し) BS641 ダークグリーン	362(3/4つや消し) オーシャングレー	363(3/4つや消し) BS637 ミディアムシーグレー
CS653 Mr.カラー 飛行機色セット③ アメリカ海軍機 WWII 標準塗装色 ■¥500/¥525(税込)	365(光沢) FS15042 グロスシーブルー	366(3/4つや消し) FS35164 インターミディエイトブルー	367(3/4つや消し) FS35189 ブルーグレー
CS654 Mr.カラー 飛行機色セット④ イギリス空軍機 WWII 前期・砂漠塗装色 ■¥500/¥525(税込)	368(3/4つや消し) BS361C/210 スカイ	369(3/4つや消し) BS381C/450 ダークアース	370(3/4つや消し) エイザーブルー
CS-600S Mr.カラー 飛行機色セットEX 航空自衛隊T-4 ブルーインパルスカラー ■¥500/¥525(税込)	371(光沢) FS15180 ブルー	372(光沢) FS17925 アイティンティドホワイト	373(つや消し) FS36440 ライトガルグレー



Mr.カラースーパーメタリック

高級微細金属粒子でこれまでにない金属感を再現します。GSIクレオスがお届けする決定版塗料にご注目ください。

◆各18㎖入り

No.	仕上げ	色名	価格
SM01	(メタリック)	スーパーファインシルバー	¥630(税込)
SM02	(メタリック)	スーパーゴールド	¥630(税込)
SM03	(メタリック)	スーパーアイアン	¥630(税込)
SM04	(メタリック)	スーパーステンレス	¥630(税込)
SM05	(メタリック)	スーパーチタン	¥630(税込)
SM06	(メタリック)	クロームシルバー	¥840(税込)
SM07	(メタリック)	メッキシルバー	¥1,050(税込)

Mr.メタルカラー

Mr.メタルカラーは、塗って、乾いたらやわらかい布などで磨くだけで、プラ模型に金属の重さを感じさせる仕上げ材です。塗って約5分で乾燥しますので、磨き作業は完全に乾いてからはじめるようにします。磨き込むほど定着性がよくなります。色も9色そろっているので、自動車、飛行機、ミリタリー、アンティークモデルなど、広い分野で使えます。

◆各¥180/¥189(税込)・10㎖入り

No.	色名	備考
MC211	クロームシルバー	金属感を出すみがき塗料
MC212	アイアン	金属感を出すみがき塗料
MC213	ステンレス	金属感を出すみがき塗料
MC214	ダークアイアン	金属感を出すみがき塗料
MC215	カッパー	金属感を出すみがき塗料
MC216	ブロンズ	金属感を出すみがき塗料
MC217	ゴールド	金属感を出すみがき塗料
MC218	アルミ	金属感を出すみがき塗料
MC219	ブラス	金属感を出すみがき塗料

Mr.カラースプレー



Mr.カラースプレーは、超微粒HG顔料を使用、細かい粒子の噴霧で定評がある精密スプレーです。色数も豊富で、標準色が70色そろっています。なかでも、自動車モデルに使われる光沢色、メタリック、パール/マイカ、クリアーカラーは新開発のR99アクリル樹脂を使用しているので、塗膜の品質が向上し、つやと肉持ち感がグーンとアップし、あわせて耐傷性が驚くほど向上しました。

◆各色¥500/¥525(税込)・100㎖入り

No.	仕上げ	色名	備考
1	(光沢)	ホワイト(白)	基本色 ※
2	(光沢)	ブラック(黒)	基本色 ※
3	(光沢)	レッド(赤)	基本色 ※
4	(光沢)	イエロー(黄)	基本色 ※
5	(光沢)	ブルー(青)	基本色 ※
6	(光沢)	グリーン(緑)	基本色 ※
8	(メタリック)	シルバー(銀)	基本色 ※
9	(メタリック)	ゴールド(金)	基本色
11	(半光沢)	ガルグレー	現用アメリカ海軍機ほか
12	(半光沢)	オリーブドラブ(1)	アメリカ陸・空軍機ほか
13	(半光沢)	ニュートラルグレー	アメリカ陸・空軍機下面色ほか
14	(半光沢)	ネービーブルー	アメリカ海軍機ほか
15	(半光沢)	暗緑色(中島系)	日本海軍機 上面色
16	(半光沢)	濃緑色	日本陸軍機
28	(メタリック)	黒鉄色	基本色
29	(半光沢)	艦底色	軍艦船底ほか
30	(つや消し)	つや消しクリアー	基本色
31	(半光沢)	軍艦色(1)	アメリカ海軍軍艦ほか
32	(半光沢)	軍艦色(2)	日本海軍軍艦ほか
33	(つや消し)	つや消しブラック	基本色
34	(光沢)	スカイブルー	基本色
35	(半光沢)	明灰白色(三菱系)	日本海軍機 全面・下面色
38	(つや消し)	オリーブドラブ(2)	WW II アメリカ戦車ほか
39	(つや消し)	ダークイエロー(サンディイエロー)	WW II ドイツ戦車ほか
40	(つや消し)	ジャーマングレー〈フィールドグレー(1)〉	WW II ドイツ戦車ほか
41	(つや消し)	レッドブラウン	WW II ドイツ戦車ほか
42	(半光沢)	マホガニー	基本色
43	(半光沢)	ウッドブラウン	基本色
44	(半光沢)	タン	帆船、軍艦甲板ほか
46	(光沢)	クリアー(透明)	基本色
47	(光沢)	クリアーレッド	基本色
48	(光沢)	クリアーイエロー	基本色
49	(光沢)	クリアーオレンジ	基本色
50	(光沢)	クリアーブルー	基本色
58	(半光沢)	黄橙色	日本機識別マークほか
62	(つや消し)	つや消しホワイト	基本色
63	(光沢)	ピンク(桃)	基本色
64	(光沢)	ルマングリーン(黄緑)	自動車ほか・基本色
65	(光沢)	インディブルー	自動車ほか・基本色
66	(光沢)	デイトナグリーン	自動車ほか・基本色
67	(光沢)	パープル(紫)	基本色
68	(光沢)	モンザレッド	自動車ほか・基本色
69	(光沢)	グランプリホワイト	自動車ほか・基本色
70	(つや消し)	ダークグリーン	WW II ドイツ戦車
75	(メタリック)	メタリックレッド	自動車ほか・基本色
76	(メタリック)	メタリックブルー	自動車ほか・基本色
77	(メタリック)	メタリックグリーン	自動車ほか・基本色
78	(メタリック)	メタルブラック	自動車ほか
79	(光沢)	シャインレッド	基本色
80	(光沢)	コバルトブルー	基本色
81	(光沢)	赤2号	電車ほか
90	(メタリック)	シャインシルバー	基本色
92	(半光沢)	セミグロスブラック	基本色
97	(光沢)	灰色9号	電車ほか
101	(光沢)	スモークグレー	自動車ほか・基本色
107	(半光沢)	キャラクターホワイト	基本色
108	(半光沢)	キャラクターレッド	基本色
109	(半光沢)	キャラクターイエロー	基本色
110	(半光沢)	キャラクターブルー	基本色
111	(半光沢)	キャラクターフレッシュ(1)	基本色
112	(半光沢)	キャラクターフレッシュ(2)	基本色
115	(半光沢)	RLM65 ライトブルー	ドイツ機 下面色 1936~
117	(半光沢)	RLM76 ライトブルー	ドイツ機 下面色 1941~
124	(半光沢)	暗緑色(三菱系)	日本海軍機 上面色
129	(半光沢)	濃緑色(中島系)	日本陸軍機 上面色

● 2コート と表示のある色は、塗装後、乾燥してから必ずMr.カラー 155 スーパークリアーや 184 スーパークリアーIIをエアーブラシ塗装するか、B-513 Mr.スーパークリアー光沢を重ね塗り(2コート)して下さい。深味があり、光があたるとキラキラ輝くすばらしい色に仕上がります。

※印のMr.カラースプレーは、ビン入りMr.カラーと色あいが異なります。

No.	仕上げ	色名	備考
151	(パール コート用)	ホワイトパール	自動車ほか 2コート
152	(パール コート用)	グリーンパール	自動車ほか 2コート
153	(パール コート用)	レッドパール	自動車ほか 2コート
154	(パール コート用)	ブルーパール	自動車ほか 2コート
161	(マイカ)	ローズレッドマイカ	自動車ほか・基本色 2コート
162	(マイカ)	ワインレッドマイカ	自動車ほか・基本色 2コート
163	(マイカ)	マリンブルーマイカ	自動車ほか・基本色 2コート
164	(マイカ)	ナイトパープルマイカ	自動車ほか・基本色 2コート
165	(マイカ)	ブライトブルーマイカ	自動車ほか・基本色 2コート
166	(マイカ)	フォレストグリーンマイカ	自動車ほか・基本色 2コート
167	(マイカ)	グレーシルバーマイカ	自動車ほか・基本色 2コート
168	(マイカ)	シャンパンゴールドマイカ	自動車ほか・基本色 2コート
171	(つや消し)	蛍光レッド	基本色
172	(つや消し)	蛍光イエロー	基本色
173	(つや消し)	蛍光オレンジ	基本色
174	(つや消し)	蛍光ピンク	基本色
175	(つや消し)	蛍光グリーン	基本色

●蛍光色を塗る際は、一度に厚塗りせず、薄く塗り重ねて下さい。

●光沢仕上げにする場合は、光沢クリアーでコートして下さい。

◎色見本は印刷のため、塗料の色と異なる場合もありますので参考にご利用下さい。

Mr.COLOR ✣ HOBBY COLOR
◆Mr.カラー・水性ホビーカラー・仕上材◆

株式会社GSIクレオス
ホビー課
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-1
TEL.03(5211)1844

水性ホビーカラー



水性ホビーカラーは、水でうすめ、筆洗いができ、塗料に含まれる溶剤もマイルドで安全性が高い塗料です。プラモデル以外にも一般クラフト、工作など使用範囲が広い塗料です。つやよく、レベリング性(塗膜の平滑度)が高いので光沢色の塗装仕上りは抜群です。色数も豊富で標準100色と汚し塗装用のウェザリングカラー6色がそろっています。

◆各¥120/¥126(税込)・10㎖入り

No.	仕上り	色名	用途	Mr.カラー近似色
H1	(光沢)	ホワイト(白)	基本色	1
H2	(光沢)	ブラック(黒)	基本色	2
H3	(光沢)	レッド(赤)	基本色	3
H4	(光沢)	イエロー(黄)	基本色	4
H5	(光沢)	ブルー(紺)	基本色	5
H6	(光沢)	グリーン(緑)	基本色	6
H7	(光沢)	ブラウン(茶)	基本色	7
H8	(メタリック光沢)	シルバー(銀)	基本色	8
H9	(メタリック光沢)	ゴールド(金)	基本色	9
H10	(メタリック光沢)	カッパー(銅)	基本色	10
H11	(つや消し)	つや消しホワイト	基本色	62
H12	(つや消し)	つや消しブラック	基本色	33
H13	(つや消し)	つや消しレッド	基本色	
H14	(光沢)	オレンジ(橙)	基本色	59
H15	(光沢)	インディブルー(青)	基本色	65
H16	(光沢)	イエローグリーン(黄緑)	基本色	64
H17	(光沢)	ココアブラウン(艦底色)	基本色(艦底用)	29
H18	(メタリック光沢)	黒鉄色	基本色(銃、エンジン用)	28
H19	(光沢)	ピンク(桃)	基本色	63
H20	(つや消し)	つや消しクリアー	基本色	182
H21	(光沢)	グランプリホワイト	基本色	69
H22	(光沢)	グレー(ねずみ色)	基本色	13
H23	(光沢)	シャインレッド(朱)	基本色	79
H24	(光沢)	オレンジイエロー(黄橙)	基本色	58
H25	(光沢)	スカイブルー	基本色	34
H26	(光沢)	デイトナグリーン	基本色	66
H27	(光沢)	ライトブラウン(タン)	基本色(甲板用)	44
H28	(メタリック光沢)	青鉄色(メタルブラック)	基本色	78
H29	(光沢)	サーモンピンク	基本色	
H30	(光沢)	クリアー	基本色	46
H31	(光沢)	ホワイトグリーン	基本色	
H32	(光沢)	ダークグレー(フィールドグレー1)	基本色(ドイツ戦車用)	40
H33	(光沢)	あずき色	基本色	81
H34	(光沢)	クリームイエロー	基本色	
H35	(光沢)	コバルトブルー	基本色	80
H36	(光沢)	ダークグリーン	基本色	15
H37	(光沢)	ウッドブラウン	基本色	43
H38	(メタリック光沢)	赤鉄色	基本色	
H39	(光沢)	パープル(紫)	基本色	67
H40	(つや消し添加剤)	つや消し剤(フラットベース)	つや消し用添加剤	
H41	(光沢)	ペールグリーン	基本色	
H42	(光沢)	ブルーグレー	基本色	72
H43	(光沢)	ワインレッド(マルーン)	基本色	100
H44	(半光沢)	はだ色	基本色(人形用)	51
H45	(光沢)	みず色	基本色	
H46	(光沢)	エメラルドグリーン	基本色	
H47	(光沢)	レッドブラウン	基本色(ドイツ戦車用)	41
H48	(光沢)	オリーブグレー(フィールドグレー2)	基本色(ドイツ陸軍軍服用)	52
H49	(光沢)	すみれ色	基本色	
H50	(光沢)	よもぎ色	基本色	
H51	(光沢)	ガルグレー	現用アメリカ海軍機用	11
H52	(半光沢)	オリーブドラブ(1)	アメリカ陸・空軍機用	12
H53	(半光沢)	ニュートラルグレー	アメリカ陸・空軍機用	13
H54	(半光沢)	ネービーブルー	アメリカ海軍機用	14
H55	(光沢)	ミッドナイトブルー	アメリカ海軍機用	71
H56	(半光沢)	ミディアムブルー	アメリカ海軍機用	72
H57	(光沢)	エアクラフトグレー	現用アメリカ海軍機用	73
H58	(半光沢)	機体内部色	アメリカ陸・海軍機用	27
H59	(光沢)	濃緑色(暗緑色)(1)	日本海軍機用	15
H60	(半光沢)	濃緑色(暗緑色)(2)	日本陸軍機用	16
H61	(光沢)	明灰白色	日本海軍機用	35
H62	(半光沢)	明灰白色(2)	日本陸軍機用	56
H63	(メタリック光沢)	青竹色	日本陸・海軍機用	57
H64	(半光沢)	RLMダークグリーン71	ドイツ空軍機用	17
H65	(半光沢)	RLMブラックグリーン70	ドイツ空軍機用	18
H66	(半光沢)	RLMサンディブラウン79	ドイツ空軍機用	119
H67	(半光沢)	RLMライトブルー65	ドイツ空軍機用	115
H68	(半光沢)	RLMダークグレー74	ドイツ空軍機用	36
H69	(半光沢)	RLMグレー75	ドイツ空軍機用	37
H70	(半光沢)	RLMグレー02	ドイツ空軍機用	60
H71	(半光沢)	ミドルストーン	イギリス空軍機用	21
H72	(半光沢)	ダークアース	イギリス空軍機用	22
H73	(半光沢)	ダークグリーン	イギリス空・海軍機用	23
H74	(半光沢)	スカイ(ダックエッググリーン)	イギリス空・海軍機用	26
H75	(半光沢)	ダークシーグレー	イギリス空軍機用	25
H76	(メタリックつや消し)	焼鉄色	排気管用	61
H77	(つや消し)	タイヤブラック	タイヤ用	137
H78	(半光沢)	オリーブドラブ(2)	現用アメリカ戦車用	38
H79	(半光沢)	サンディイエロー(ダークイエロー)	ドイツ戦車用	39
H80	(つや消し)	カーキグリーン	アメリカ陸軍軍服用	54
H81	(つや消し)	カーキ	日本、イギリス陸軍軍服用	55
H82	(半光沢)	軍艦色(1)	アメリカ海軍軍艦用	31
H83	(半光沢)	軍艦色(2)	日本海軍軍艦用	32
H84	(半光沢)	マホガニー	船、帆船用	42
H85	(つや消し)	セールカラー	帆・キャンバス用	45
H86	(光沢)	モンザレッド	基本色	68
H87	(メタリック光沢)	メタリックレッド	基本色	75
H88	(メタリック光沢)	メタリックブルー	基本色	76
H89	(メタリック光沢)	メタリックグリーン	基本色	77
H90	(光沢)	クリアーレッド	基本色	47
H91	(光沢)	クリアーイエロー	基本色	48
H92	(光沢)	クリアーオレンジ	基本色	49
H93	(光沢)	クリアーブルー	基本色	50
H94	(光沢)	クリアーグリーン	基本色	138
H95	(光沢)	スモークグレー	基本色	101
H96	(光沢)	スモークブルー	基本色	
H97	(蛍光光沢)	蛍光イエロー	基本色	172
H98	(蛍光光沢)	蛍光オレンジ	基本色	173
H99	(蛍光光沢)	蛍光ピンク	基本色	174
H100	(蛍光光沢)	蛍光グリーン	基本色	175

(ウェザリングカラー・¥120)

No.	仕上り	色名	用途
H341	(つや消し)	マッド(ドロ汚れ)	ウエザリング用
H342	(光沢)	オイル(油汚れ)	ウエザリング用
H343	(つや消し)	スート(すす汚れ)	ウエザリング用
H344	(つや消し)	ラスト(錆(さび))	ウエザリング用
H345	(つや消し)	ラフグレー(粗面)	ウエザリング用
H346	(つや消し)	ラフサンド(砂目)	ウエザリング用

水性ホビーカラーセット

第2次世界大戦前期のアフリカ軍団と大戦中期以降のドイツ軍戦車のメイン塗装色と現用のアメリカ機の塗装色を、それぞれ3色ずつセットした水性ホビーカラー特色セットです。

HS101 ドイツ戦車色セット1 大戦前期・アフリカ軍団

18㎖×3色入 ¥600/¥630(税込)



H401	H402	H404
(つや消し)	(つや消し)	(つや消し)
ジャーマングレー	グリーンブラウン	カーキブラウン
大戦前期ベース色	アフリカ軍団ベース色	アフリカ軍団ベース色



HS102 ドイツ戦車色セット2 大戦中期以降

18㎖×3色入 ¥600/¥630(税込)

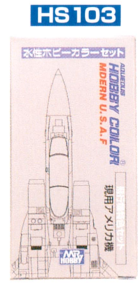


H403	H405	H406
(つや消し)	(つや消し)	(つや消し)
ダークイエロー	オリーブグリーン	チョコレートブラウン
大戦中期以降ベース色	大戦中期以降迷彩色	大戦中期以降迷彩色



HS103 飛行機特色セット 現用アメリカ機

18㎖×3色入 ¥600/¥630(税込)



H305	H307	H308
(半光沢)	(半光沢)	(半光沢)
グレーFS36118	グレーFS36320	グレーFS36375



ウェザリングパステル



汚しの表現、埃や泥の表現に最適なパステルのセットです。はじめから粉末状ですからヤスリでこする手間が省けて必要な分だけ使うことが出来ます。そのまま筆でのせてもよし、水性ホビーカラー用うすめ液で溶いてもよし、自然な「汚れ感」が再現できます。

◆各セット15g×3色入

PP101 ウエザリングパステルセット1

■¥900/¥945(税込)

このセットは、ミリタリーの車輌や自転車モデルのウェザリングに適したセットです。戦車の車体、キャタピラ、転輪などや、自動車のタイヤなどの汚れリアル感を出すのに最適です。

PW01	PW02	PW03
ダークブラウン	ライトブラウン	サンド
土、泥、さびなど	乾いた土、泥など	砂、ホコリなど

PP102 ウエザリングパステルセット2

■¥900/¥945(税込)

ウェザリングパステル1を補完するセットです。砲口や排気口のすすの汚れや、セメントやコンクリートの独特な汚れ、風雨にさらされてさびた鉄製のものを表現するのに最適です。ジオラマにもどうぞ。

PW04	PW05	PW06
チャコールグレー	ライトグレー	オレンジ
すすの汚れなど	コンクリートのホコリなど	さびなど

ホコリの表現

●筆にとって



●そのままのせるように付着させます



泥の表現

●水性ホビーカラー用うすめ液で溶いて



●筆や綿棒でこすりつけます



◎水性ホビーカラーの色見本中の**1**などの番号は、Mr.カラーの近似色の番号です。
◎色見本は印刷のため、塗料の色と異なる場合もありますので参考にご利用下さい。

仕上材・ツール

Mr.カラー専用うすめ液

T104 Mr.カラーうすめ液（特大） 400mℓ入り ￥840（税込）

T102 Mr.カラーうすめ液（中） 110mℓ入り ￥262（税込）

T101 Mr.カラーうすめ液（小） 50mℓ入り ￥157（税込）

T103 Mr.カラーうすめ液（大） 250mℓ入り ￥630（税込）

T108 Mr.カラーレベリングうすめ液（特大）・400mℓ入り ￥945（税込）

T106 Mr.カラーレベリングうすめ液・110mℓ入り ￥315（税込）

GT33 うすめ液大・特大ボトル用注ぎ口キャップ（3個入り） ￥315（税込）

T105 Mr.リターダーマイルド ￥210（税込）

水性ホビーカラー専用うすめ液

T110 水性ホビーカラーうすめ液・110mℓ入り ￥263（税込）

T111 水性ホビーカラーうすめ液・400mℓ入り ￥630（税込）

T112 ペイントリムーバー・110mℓ入り ￥630（税込）

下地塗装材

SF283 Mr.ベースホワイト1000 ￥315（税込）

SF285 Mr.サーフェイサー500 ￥315（税込）

SF284 Mr.サーフェイサー1000 ￥315（税込）

SF286 Mr.サーフェイサー1200 ￥315（税込）

MP242 Mr.メタルプライマー ￥210（税込）

RP261 Mr.レジンプライマー/サーフェイサー ￥315（税込）

下地塗装材

B506 Mr.サーフェイサー500 ￥420（税込）

B505 Mr.サーフェイサー1000 ￥420（税込）

B519 Mr.サーフェイサー1000（徳用） 170mℓ入り ￥630（税込）

B511 Mr.ホワイトサーフェイサー1000 170mℓ入り ￥630（税込）

B515 Mr.サーフェイサー1200（徳用） 170mℓ入り ￥630（税込）

B518 Mr.ベースホワイト1000 ￥630（税込）

B504 Mr.メタルプライマー ￥420（税込）

B517 Mr.レジンプライマー/サーフェイサー ￥735（税込）

表面仕上用コート

B513 Mr.スーパークリアー 光沢 ￥735（税込）

B516 Mr.スーパークリアー 半光沢 ￥735（税込）

B514 Mr.スーパークリアー つや消し ￥735（税込）

水性

B501 トップコート光沢 ￥525（税込）

B502 トップコート半光沢 ￥525（税込）

B503 トップコートつや消し ￥525（税込）

仕上材、接着剤ほか

MC124 Mr.セメント 25mℓ入り ￥157（税込）

MC127 Mr.セメント徳用 40mℓ入り ￥189（税込）

MC129 40mℓ入り Mr.セメントS（流し込みタイプ） ￥262（税込）

MC130 40mℓ入り Mr.セメントリモネン系（流し込みタイプ） ￥294（税込）

MJ194 Mr.ジャストワンプッシュ ￥367（税込）

MJ197 Mr.ジャストはけ塗り瞬着・4g入り ￥420（税込）

T107 Mr.ツールクリーナー 80mℓ入り ￥262（税込）

T109 Mr.ツールクリーナー（徳用）・400mℓ入り ￥1,260（税込）

P115 Mr.強力パテ（エポキシ） ￥315（税込）

P117 Mr.軽量エポキシパテ ￥367（税込）

P118 Mr.ホワイトパテ ￥241（税込）

P119 Mr.溶きパテ ￥315（税込）

R187 Mr.ファインコンパウンドSF（極細） ￥630（税込）

R188 Mr.ファインコンパウンドF（細） ￥630（税込）

MS231 Mr.マークソフター ￥210（税込）

MS232 Mr.マークセッター ￥262（税込）

M132 Mr.マスキングゾルNEO ￥210（税込）

D173 塗料皿・11枚入り ￥105（税込）

SB222 Mr.スペアボトル ￥63（税込） 容量18mℓ

SB223 Mr.スペアボトルL ￥157（税込） 容量40mℓ

エアー

PA148 Mr.エアースーパー190 ￥630（税込）

PA145 Mr.エアースーパー480 ￥1,050（税込）

PA149 Mr.エアー152a 430 ￥1,365（税込）

VANCE PROJECT

VM001 Mr.シリコーン1kg・硬化剤付 ￥3,045（税込）

VM002 Mr.キャスト2kgセット A液B液（ホワイト） ￥3,570（税込）

VM003 Mr.キャストノンキシレン2kgセットA液B液（アイボリー） ￥3,990（税込）

VM005 Mr.型取りブロック2（ダブルサイズ） ￥1,260（税込）

VM004 Mr.型取りブロック（102個入り） ￥525（税込）

VM006 Mr.クレイ（軽量石粉粘土）300g ￥473（税込）

●価格の消費税額は2006年1月時点のものです。 ●製品の仕様は予告なく変更することがございます。ご了承下さい。

Mr. LINEAR COMPRESSOR

Mr.リニアコンプレッサー

■特徴

●リニア駆動フリーピストン方式は、圧縮ピストンを直接電磁力で駆動する画期的な方法で、従来方式のようなモーター、クランクシャフト、コンロッドなどの複雑で、駆動ノイズを発生する伝導機構がない先進のコンプレッサーです。

●本機の空気圧力、空気量などは、プロスプレー、プロコンBOY、Mr.エアーブラシを使って、Mr.カラー、水性ホビーカラーで高度なエアーブラシ塗装を楽しんでいただけるように最適な出力に設定済です。同種の他社市販塗料、他社市販エアーブラシ（ノズル径0.4mm以下）にも、ほとんど適応します。L10は出力容量が大きく、大型エアーガンに対応できます。

●駆動音が静かなので、夜間の使用も気になりません。

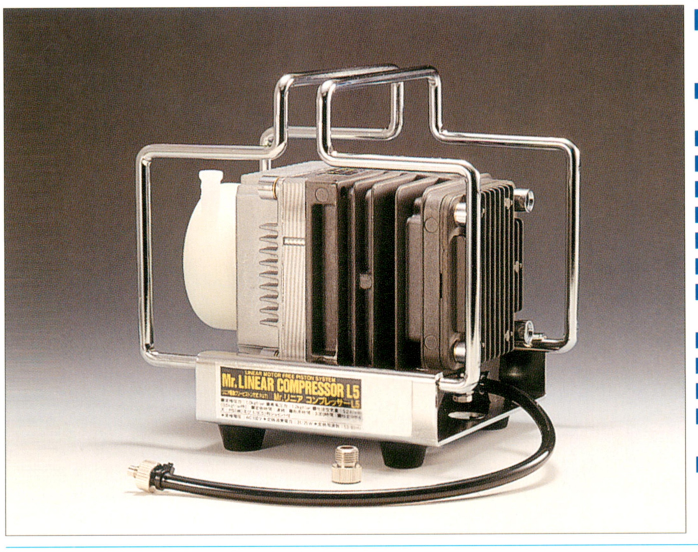
●小型、軽量なので持ち運びが簡単で、机上での使用も可能です。

●長時間連続運転タイプです。（L5、L10は1日中の連続運転も可能です。）

●吸入エアーフィルター付、オイルレス機構なので、吐出エアーは常にクリーンです。

※仕様は予告なく変更することがあります。
※価格は、2006年8月現在のものです。

驚異の静粛性、模型用コンプレッサーのスタンダード



PS251 Mr.リニアコンプレッサーL5

■¥25,000/¥26,250（税込）

■本機の用途：エアーブラシ塗装用コンプレッサー
■適応流体：空気
■定格圧力：0.1MPa
■最高圧力：0.12MPa
■吐出空気量：5.27ℓ/min.0.05MPa
■定格時間：連続
■作動音：50dB（無負荷時）
■吐出口サイズ：PS（細）及び1/8（S）用ジョイント付
■定格電圧：AC100V
■定格消費電力：31/29W
■定格周波数：50/60Hz
■本体寸法：長さ160×幅120×高さ160（mm）
■本体重量：2.4kg

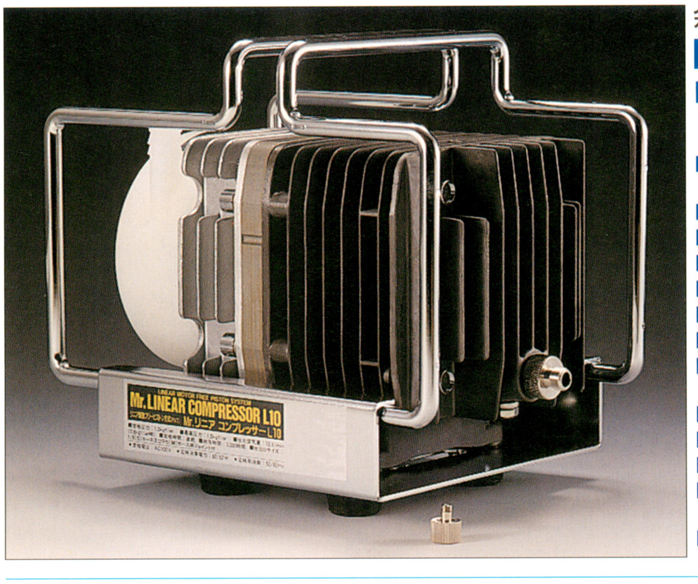
PS303 Mr.リニアコンプレッサーL5/圧力計付レギュレーターⅡセット

■¥31,000/¥32,550（税込）

リニアコンプレッサーL5/レギュレーターⅡセットを組み合わせたセットです。取り付けベースが付いているので、レギュレーター、スタンドがコンパクトにセットできます。
〔セット内容〕 ■Mr.リニアコンプレッサーL5 ■Mr.レギュレーターⅡ（圧力計付） ■ホース用Mr.ジョイント③



余裕の風量と静粛性を両立



PS252 Mr.リニアコンプレッサーL10

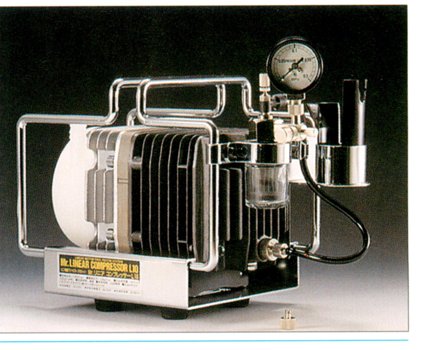
■¥39,800/¥41,790（税込）

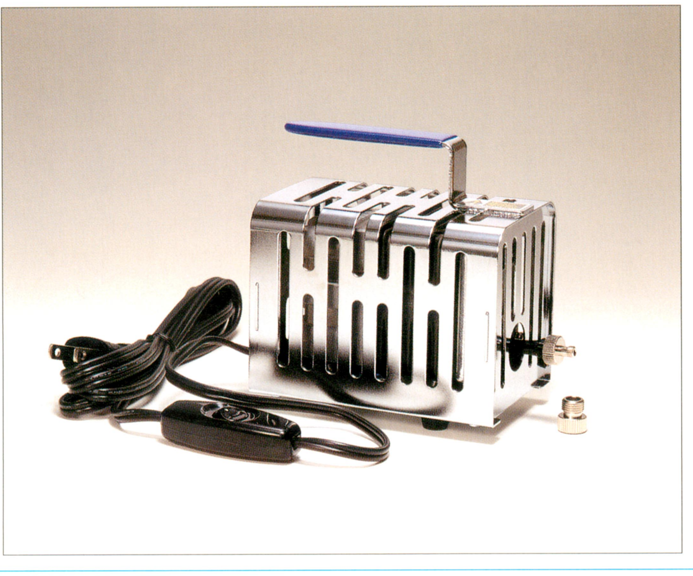
■本機の用途：エアーブラシ塗装用コンプレッサー
■適応流体：空気
■定格圧力：0.1MPa
■最高圧力：0.15MPa
■吐出空気量：10ℓ/min.0.08MPa
■定格時間：連続
■作動音：55dB（無負荷時）
■吐出口サイズ：1/8（S）及びPS（細）用ジョイント付
■定格電圧：AC100V
■定格消費電力：60/52W
■定格周波数：50/60Hz
■本体寸法：長さ220×幅157×高さ198（mm）
■本体重量：4.4kg

PS302 Mr.リニアコンプレッサーL10/圧力計付レギュレーターⅡセット

■¥46,000/¥48,300（税込）

大型タイプのL10と圧力計付のMr.レギュレーターを組み合わせたセットです。Mr.レギュレーターⅡは、L10のハンドルステーに取り付けられるのでコンパクトにまとまります。エアブラシスタンドもついて非常にお得なセットです。
〔セット内容〕 ■Mr.リニアコンプレッサーL10
■Mr.レギュレーターⅡ（圧力計付）





コンパクトなサイズ、静かな作動音

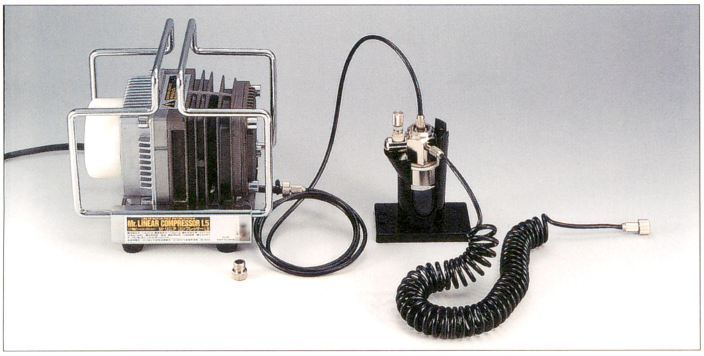
PS351 Mr.リニアコンプレッサープチコン

■¥13,000/¥13,650（税込）

故障知らずの信頼性はそのままにL3相当の風量と0.05Mpaの空気圧で、調圧なしでボカシ、シャドウ吹き、中程度の面積の吹きつけなどエアブラシの基本的作業が可能です。作動音は非常に静か。深夜の作業にも安心です。初めてのコンプレッサーに従来機の補助にと大活躍間違いなしです。

■本機の用途：エアーブラシ塗装用コンプレッサー
■適応流体：空気
■定格圧力：0.05MPa
■最高圧力：0.085MPa
■吐出空気量：3ℓ/min.0.05MPa
■定格時間：30分
■作動音：45dB（無負荷時）
■吐出口サイズ：1/8（S）及びPS（細）用ジョイント付
■定格電圧：AC100V
■定格消費電力：15/14W
■定格周波数：50/60W
■本体寸法：長さ108×幅70×高さ115（mm）
■本体重量：920g

Mr.リニアコンプレッサーセット

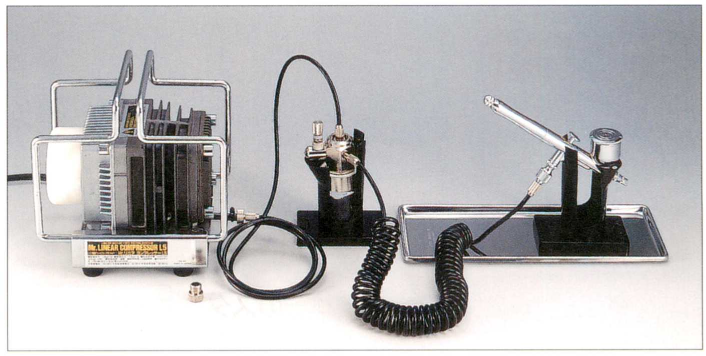


PS300 Mr.リニアコンプレッサーL5/レギュレータセット

■¥28,800/¥30,240（税込）

コンプレッサーはこれから、という方におすすめするお得なセットです。コンプレッサーは大人気のMr.リニアコンプレッサーL5。高性能で夜間の作業も大丈夫。水抜き・減圧・分岐機能を備えたMr.エアーレギュレーター、引きまわしやすいスパイラルエアーホースなどがうれしいセットです。

〔セット内容〕
■Mr.リニアコンプレッサーL5
■Mr.エアーホース・PS（細）ストレート
■Mr.エアーレギュレーター/Mr.スタンド
■Mr.エアーホース・PS（細）スパイラル
■ホース用Mr.ジョイント①
■ホース用Mr.ジョイント③

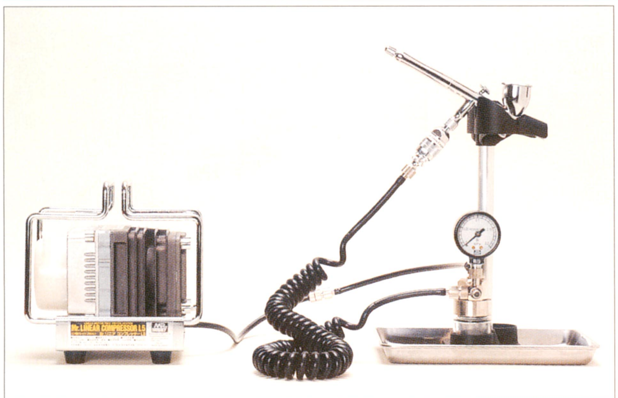


PS301 Mr.リニアコンプレッサーL5/エアブラシセット

■¥39,800/¥41,790（税込）

いますぐ本格的なエアーブラシ塗装を楽しみたいという皆さんにとって、大変お得で使い易さに気を配ったデラックスセットです。Mr.リニアコンプレッサーL5、アクセサリーなどのほかに、好評のエアブラシ"プロコンBOY WAダブルアクション"がセットされています。

〔セット内容〕
■Mr.リニアコンプレッサーL5
■エアブラシ プロコンBOY WAダブルアクション
■Mr.エアーホース・PS（細）ストレート
■Mr.エアーレギュレーター/Mr.スタンド
■Mr.エアーホース・PS（細）スパイラル
■Mr.スタンド&トレー
■ホース用Mr.ジョイント①
■ホース用Mr.ジョイント③



PS305 Mr.リニアコンプレッサーL5/レギュレーター/プラチナ0.3㎜ Ver.2セット

■¥48,000/¥50,400（税込）

Mr.リニアコンプレッサーL5とエアブラシの最高峰、エアアップ機構が追加された、新型プラチナ0.3㎜スペシャルバージョンをセットした最高級のセットです。

〔セット内容〕
■Mr.リニアコンプレッサーL5
■プロコンBOY WA 0.3㎜ プラチナ Ver.2
■Mr.エアーレギュレーター（圧力計付）
■ハンドグリップ式エアフィルター
ドレン&ダストキャッチャー
■Mr.スタンド&トレイII
■1/8（S）口金　スパイラルエアホース



プロコンBOY WA 0.3mmプラチナ Ver.2

〔仕様〕●ドロップ式ダブルアクション ●ノズル口径0.3㎜ ●カップ容量10cc ●エア流量を安定させるエアアップ機構 ●エア量調整可能なエアアジャストシステム ●スムーズなボタン操作のセミイージーソフトボタン



ドレン&ダストキャッチャー

湿度が高い時期になると、レギュレーターを使っていてもエアホース内で水滴が発生する場合があります。その様な時、ドレン&ダストキャッチャーをエアブラシにつなぐことで、水滴をほぼ完璧にブロックします。また、エアブラシを握りやすくするグリップとしても大いに役立ちます。

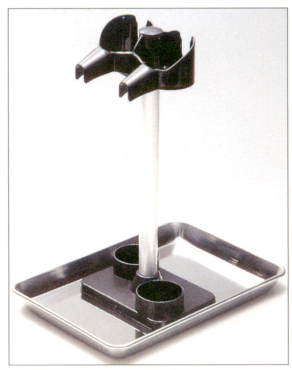
PS306 Mr.リニアコンプレッサーL5/トリガーエアブラシセット

■¥53,000/¥55,650（税込）

大好評のリニアコンプレッサーL5と、広い面積の塗装に最適なエアブラシ、LWAトリガータイプを組み合わせた注目のセットです。付属パーツは、最上のものを揃えました。

〔セット内容〕
■Mr.リニアコンプレッサーL5
■プロコンBOY LWAトリガータイプ
ダブルアクション
■圧力計付エアレギュレーター
■ドレン&ダストキャッチャー
■Mr.スタンド&トレイセットII
■Mr.エアホース・1/8（S）スパイラル

●Mr.スタンド&トレイセットII





●エアブラシ LWAトリガータイプ



●2種類のエアキャップ入りで吹き付けパターンの変更が可能



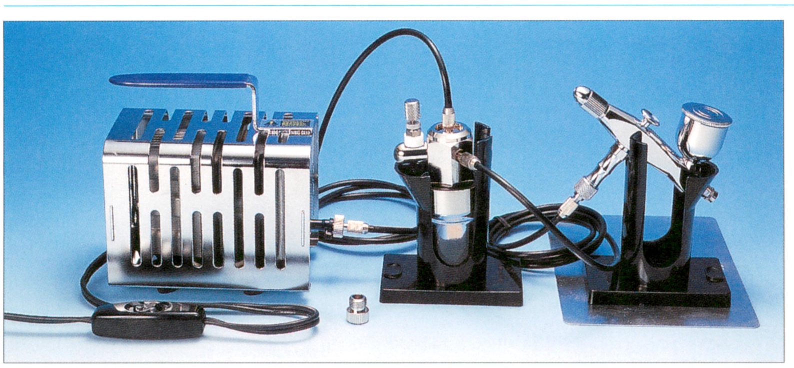
■丸吹き用エアキャップ（通常）



■平吹き用エアキャップ（幅広）

●ドレン&ダストキャッチャー





PS304 Mr.リニアコンプレッサープチコン/エアブラシセット

■¥22,000/¥23,100（税込）

コンプレッサーを使ったエアブラシ塗装を始めたいけれど、パーツはどれを揃えたらいいのかわからない、そんな方にお奨めの入門セットです。静粛性と信頼性に定評のあるコンパクトな「リニアコンプレッサー・プチコン」に、構造が比較的シンプルなシングルアクションのエアブラシ「プロコンBOY SQ」に加え、エア量調節機能付きの「Mr.エアレギュレーター」、エアブラシ用の「Mr.スタンド」もセット。必要なパーツがひとつにパッケージされています。

〔セット内容〕
■Mr.リニアコンプレッサープチコン
■Mr.スタンド×2
■プロコンBOY SQ
■PS（細）エアホース×2
■Mr.エアレギュレーター
■Mr.スタンド用金属ベース

プロコンBOYのニードルパッキンはテフロン加工されています。

エアーブラシ

プラチナタイプに搭載の優れた機構

■セミイージーソフトボタン
吹き始めの塗料の噴き出しをスムースに促がします。

■エアアジャストシステム
0〜最大まで、風量の調節が手元で可能になります。

■エアアップ機構
低圧のエアでも安定した作業が行えるようにエアを整えます。

0.3mm ノズル

ダブルアクション



PROCON BOY WA
DOUBLE ACTION



PS264

プロコンBOY WAダブルアクションタイプ

■¥11,800/¥12,390(税込)

手にぴったりフィットする持ちやすいホルダー部、塗料カップは10cc直付けタイプです。0.3mmノズル口径のもっともスタンダードに使われている機種です。

0.3mm ノズル

ダブルアクション



PROCON BOY WA
PLATINUM DOUBLE ACTION



PS269

プロコンBOY WAプラチナダブルアクションタイプ

■¥12,900/¥13,545(税込)

もっとも一般的な0.3mmノズルを搭載し、本機自体にエアをコントロールするエアアジャストシステムと吹き出し時のスムーズさを追求したセミイージーソフトボタン機構を搭載した先進のエアブラシです。10ccカップ付。

0.2mm ノズル

ダブルアクション



PROCON BOY FWA
DOUBLE ACTION



PS267

プロコンBOY FWAダブルアクションタイプ

■¥11,500/¥12,075(税込)

ノズル口径0.2mmの超精密エアブラシです。インクスポット迷彩や細かいグラデーション塗装に威力を発揮します。小口径タイプ初の10ccカップ付。

0.2mm ノズル

ダブルアクション



PROCON BOY FWA
PLATINUM 0.2 DOUBLE ACTION



PS270

プロコンBOY FWAプラチナ0.2ダブルアクションタイプ

■¥13,000/¥13,650(税込)

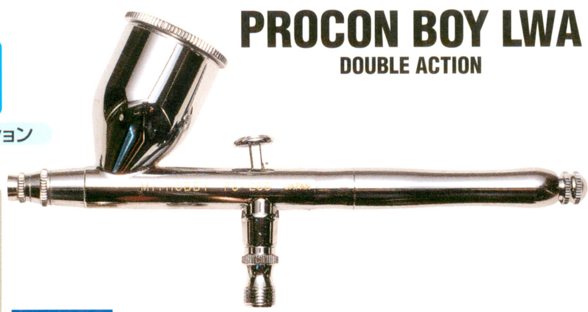
0.2mmのノズル口径に、セミイージーソフトボタン、エアアジャストシステム、さらに、エア圧を安定させるエアアップ機構を搭載した究極の精密塗装用エアブラシです。10ccカップ付。

0.5mm ノズル

ダブルアクション



PROCON BOY LWA
DOUBLE ACTION



PS266

プロコンBOY LWAダブルアクションタイプ

■¥12,000/¥12,600(税込)

金属色やサーフェイサーの吹き付け、大面積の塗装に最適です。低圧でも安定した吹き付けができます。15ccの大型直付けカップで、洗浄が楽な構造です。

0.5mm ノズル

ダブルアクション



PROCON BOY
LWA TRIGGER TYPE
DOUBLE ACTION



PS290

プロコンBOY LWAトリガーダブルアクションタイプ

■¥15,500/¥16,275(税込)

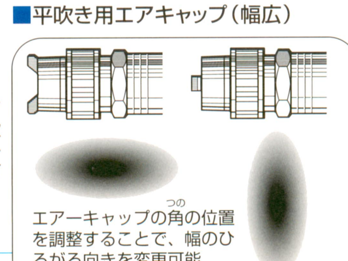
広い面積を吹くのに適したトリガータイプです。トリガーを引く動作での吹き付けは、指への負担が軽く、特に広い面積や、長時間の塗装作業性が大幅に向上します。付属する2種類の先端ノズルキャップを付け替えることで、通常と幅広の吹きつけパターンを切り替えることが可能なので、用途が広がります。エアアップ機構を搭載しています。大容量15ccカップ付。

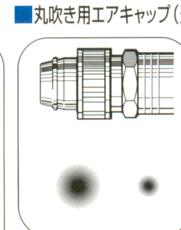
※本機は、吹き付けに一定以上の圧力を必要とするため、Mr.リニアコンプレッサープチコンには対応しておりません。プチコンを使用して吹き付けた場合、粒子が粗くなることがあります。

■平吹き用エアキャップ(幅広)

■丸吹き用エアキャップ(通常)

■2種類のエアキャップで吹き付けパターンが変更可能。





プロコンBOY、Mr.エアブラシ標準装備品



プロコンBOYシリーズ、Mr.エアーブラシシリーズには、1/8(S)→PS(細)用変換ジョイント、エアホース(PS細)、エアボンベ用調整バルブ、ノズル用専用レンチが標準セットされています。

AIRBRUSH

プロコンBOY、Mr.エアブラシのニードルパッキンはテフロン加工されています。

※仕様は予告なく変更することがあります。
※価格は、2006年8月現在のものです。

0.4㎜ ノズル

シングルアクション





PROCON BOY SQ
SINGLE ACTION

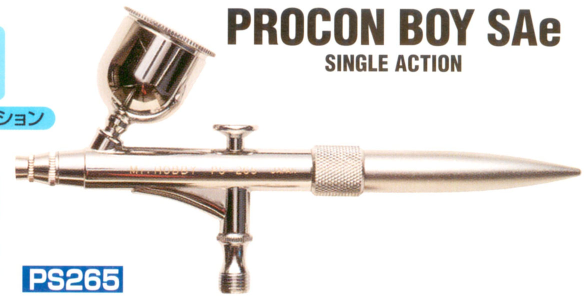
PS268
プロコンBOY SQシングルアクションタイプ
■¥6,800/¥7,140(税込)

低価格の入門用エアブラシです。その性能は本格派で0.3㎜の繊細さと0.5㎜の使いやすさを実現しています。塗料カップは容量7cc。

0.3㎜ ノズル

シングルアクション





PROCON BOY SAe
SINGLE ACTION

PS265
プロコンBOY SAeシングルアクションタイプ
■¥7,800/¥8,190(税込)

シングルアクションタイプのスタンダード版です。塗料の噴霧調整は本体についているダイヤルで行います。塗料カップは着脱式です。塗料カップは容量7cc。

0.3㎜ ノズル

ダブルアクション



Mr. AIRBRUSH GMW4
DOUBLE ACTION



●スペアボトル

●洗浄アタッチメント

PS296
Mr.エアブラシ GMW4 吸上式ダブルアクションタイプ
■¥13,000/¥13,650(税込)

吸い上げ式エアブラシの高級バージョンです。ボトルには従来通り、Mr.カラーと同径の18㎖ビンを使用しますが、ボトル取り付け基部ごと取り外すことができるのが最大の特徴です。付属の洗浄用アタッチメントで溶剤による洗浄を行えば、色の交換も簡単に行えます。ボトル基部のついた交換ボトルユニットも別売りで用意しました。



PS-296B
Mr.エアブラシGMW4用交換ボトルユニット
■¥1,200/¥1,260(税込)



ノズル口径

0.2㎜ノズル	0.3㎜ノズル	0.4㎜/0.5㎜ノズル
迷彩やインクスポット等、細く吹き付けるのに適しています。	最も一般的な口径です。細吹きから太吹きまで、オールマイティに使えます。	広い面積や幅広吹きを得意とします。メタリック系やサーフェイサー等、粒子の粗い塗料を吹くのにも適しています。

エアホース・ジョイント



PS245
Mr.エアーホース・PS(細)スパイラル
■¥1,200/¥1,260(税込)

Mr.エアーホース・PS(細)スパイラルは、軟質ウレタン製の高品質エアーホースです。伸縮性が良いので、引き回しもスムーズにできます。 ●ホース径：40㎜ ●口金：⊐PS(細)



●スパイラル：外径2.0㎝×45巻・縦長：36㎝・伸長：150㎝



PS246
Mr.エアーホース・1/8(S)ストレート
■¥1,600/¥1,680(税込)

軟質ウレタン製の高品質エアーホースです。長さは2mあるので、コンプレッサーを離れた所に置いてエアブラシ塗装する場合に、大いに役立ちます。



●ホース径：6.0㎜
●口金：⊐1/8(S)⊏



PS247
Mr.エアーホース・1/8(S)スパイラル
■¥2,300/¥2,415(税込)

軟質ウレタン製のスパイラルエアーホースです。伸縮性が良いので、引き回しもらくにできます。



●ホース径：6.0㎜
●口金：⊐1/8(S)⊏ ●スパイラル：外径2.4㎝×48巻・縦長：50㎝・伸長：100㎝



ジョイント1 ⊐1/8(S) ⊐ PS(細)
ジョイント2 ⊐1/8(S) ⊐ PS(細)
ジョイント3 ⊐1/8(S) PS(細)

PS241 ホース用
Mr.ジョイント(3点セット)
■¥1,200/¥1,260(税込)

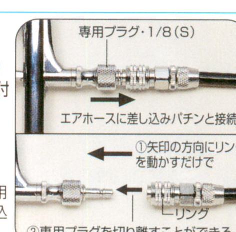
コンプレッサー、エアーホース、エアブラシをつなぐジョイントの3点セットです。1/8(S)と1/8(S)、PS(細)と1/8(S)をつなぐなど各種のつなぎ方ができます。



PS280
Mr.ワンタッチホース・1/8(S)
■¥3,500/¥3,675(税込)・専用プラグ1個付

PS281 Mr.ワンタッチホース
専用プラグ・1/8(S)
■¥1,000/¥1,050(税込)・2個入

複数のエアブラシを交換して使用する時、ホースの着脱をワンタッチでできるホースと専用プラグです。専用プラグ・1/8(S)をエアブラシに取り付けるだけで、ホースの接続は差し込むだけ。またリングをあげれば簡単に切り離しができます。



レギュレーター



PS253 Mr.エアーレギュレーター
■¥2,800/¥2,940（税込）

●減圧機能：やわらかく吹きたいときに、出力エアーを1/5位まで減らすことが可能。●水抜き機能：圧縮エアーに水滴が発生した場合は、ビンに落して先に行かないようにする。●分岐機能：エアブラシを2本つなげる。などの機能を備えた小型高性能のレギュレーターです。Mr.スタンドとPS（細）ホース付きです。（PS253はMr.リニアコンプレッサーL10には使えません。）



PS258 Mr.エアーレギュレーターII（圧力計付）
■¥6,800/¥7,140（税込）

圧力計が付き、微妙な空気圧調整ができるレギュレーターです。〈減圧〉、〈水抜き〉、〈分岐〉の各機能を備え、Mr.リニアコンプレッサーL5、L10のフレームに取り付けできるベース入りです。コンプレッサーとレギュレーターをつなぐ1/8（S）エアーホース、Mr.スタンドなどをセットしたデラックス版です。



PS259 Mr.エアーレギュレーターIII（圧力計付）
■¥6,800/¥7,140（税込）

Mr.スタンドにセットされた据え置き型です。リニアコンプレッサーはもちろん、他の低圧コンプレッサー（0.2Mpa以下）にもご利用いただけます。

〔セット内容〕
■圧力計付レギュレーター（水抜き機能付き） ■Mr.スタンドII ■ホースジョイント1/8（オス）⇔1/8（メス）





PS282 ドレン&ダストキャッチャー
■¥3,000/¥3,150（税込）

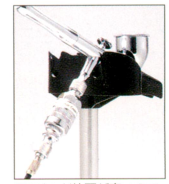
湿度が高い時期になると、レギュレーターを使っていてもエアホース内で水滴が発生する場合があります。その様な時、ドレン&ダストキャッチャーをエアブラシにつなぐことで、水滴をほぼ完璧にブロックします。また、エアブラシを握りやすくするグリップとしても大いに役立ちます。





PS288 ドレン&ダストキャッチャーII エア調節機能付
■¥3,600/¥3,780（税込）

エアホース内の水滴をブロックすることはもちろん、エアの流量を調節する機能がついたことで、エアブラシのコントロールの幅がひろがり作業性がアップ。エアブラシをしっかりホールドできます。



■スタンド位置が高いので、ハンドグリップ式エアフィルターを装着した状態でも置くことができます。

スタンドなど

PS255 Mr.スタンド&トレー
■¥1,000/¥1,050（税込）



プロスプレー各種、Mr.エアブラシ、プロコンBOYはもちろん、市販の他社ハンドピースを置くことができます。マグネット付きで、トレーの使いやすい位置にセットできます。トレーは、塗料ビンなどの整理用や調合作業などに使うと便利です。トレーは18-8ステンレス製です。トレー寸法：225mm×90mm

PS256 Mr.スタンド
■¥400/¥420（税込）

PS260 Mr.スタンドII
■¥800/¥840（税込）



エアブラシ塗装に便利な卓上用のスタンドです。当社の各種エアブラシはもちろん、市販の他社ハンドピースにも使用可能。Mr.スタンドには、底にマグネットがついています。Mr.スタンドIIは、エアブラシ、レギュレーター用として同時に使えます。2台、3台と連結できるジョイント付です。



PS230 Mr.スタンド&トレイセットII
■¥1,500/¥1,575（税込）

エアブラシ用スタンドの新型タイプです。従来タイプに比べ、ハンガー位置を高く設定したので、トリガータイプやハンドクリップ式エアフィルターを装着した状態でも、楽にハンガーにかけることができます。磁石でトレイに固定しますので、作業台を選ばずに設置が可能です。





■LWAトリガータイプも置けます。（トリガータイプ設置用のパーツがセットに入っています。）

PS257 Mr.クリーナーボトル（エアブラシ洗浄ボトル）
■¥1,800/¥1,890（税込）

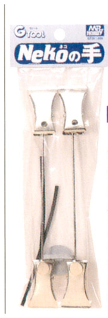


エアブラシを洗浄する時に、まわりに塗料などが拡散しないようにするためのツールです。エアブラシのノズルをノズル受けの穴に差し込んで洗浄噴射します。本体は透明ガラス製です。



GT28 Mr.ミックスII（調色計量セット）
■¥600/¥630（税込）

Mr.MiXIIは調色スプーンとスポイト各2本のセットで、塗料やウスメ液を簡単に計量することができます。スプーンはステンレス製。0.3ccの容量でお尻の部分は、混色のへらとして使用できます。

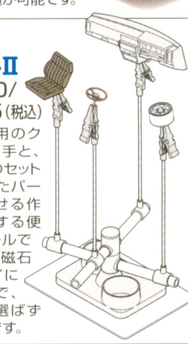


GT29 NEKOの手（塗装持ち手）2本組み
■¥600/¥630（税込）

両端がクリップになっており、片側に物をはさみ、片側のクリップを利用して色々なところへ固定できます。猫の手も借りたいあなたの強い味方です。



GT34 ネコの手II
■¥1,500/¥1575（税込）



パーツ塗装用のクリップ付持ち手と、その固定具のセットです。塗装したパーツを乾燥させる作業をお助けする便利な支援ツールです。ベースを磁石で金属トレイに固定するので、作業場所を選ばず移動も簡単です。

GT35 Mr.ブラシウオッシャー
■¥280/¥294（税込）

多数の穴があいたプレートをボトル内にセット。うすめ液などを入れて、洗浄したい筆をプレートにこすりつけるようにすれば、手軽に効果的に筆洗いが行えます。



プロスプレー



PS152 プロスプレーMk-1
■¥3,000/¥3,150（税込）



これからエアブラシ塗装をしようという皆さんにとって、手ごろで使いやすい入門用のエアブラシです。水性ホビーカラー、Mr.カラーをビンのままセットできます。吸い上げノズル口径は0.4mm。

〔セット内容〕 ●本体 ●0.4mm吸い上げノズル ●PS（細）ホース ●エアー調整バルブ ●Mr.エアースーパー190 ●調色ビン入り。



PS153 プロスプレーMk-2
■¥3,500/¥3,675（税込）



ノズル部とホルダー部が金属製の堅ろうなエアブラシです。ノズルの使い分けで太吹き、細吹きができます。

〔セット内容〕 ●本体 ●0.2mm、0.4mm吸い上げノズル ●PS（細）ホース ●エアー調整バルブ ●Mr.エアースーパー190 ●調色ビン入り。

PS154 プロスプレーMk-3
■¥4,800/¥5,040（税込）



付属パーツの豊富なデラックス版です。

〔セット内容〕
●本体 ●0.2mm、0.4mm吸い上げノズル ●PS（細）スパイラルホース（伸長時：1.5mm） ●エアー調整バルブ ●本体用Mr.スタンド ●Mr.エアースーパー480 ●調色ビン入り。



PS155 プロスプレーMk-4
■¥5,500/¥5,775（税込）





スタイリッシュで、機能的な本体が魅力のエアブラシです。
●エア圧の調整が本体のダイヤルで手元にて可能。
●吸い上げノズルの交換はワンタッチ方式。
●本体と塗料ボトルの部分が分離できるので色替えが簡単。
●ノズルの交換、位置調整、エアー圧調整で細かいぼかし塗装が可能。

〔セット内容〕
●本体 ●0.15mm、0.3mm吸い上げノズル ●ワンタッチ交換ボトル ●PS（細）ホース ●エアー調整バルブ ●Mr.エアースーパー190 ●ノズル着脱工具入り。

PS156 プロスプレーMk-5
■¥5,800/¥6,090（税込）





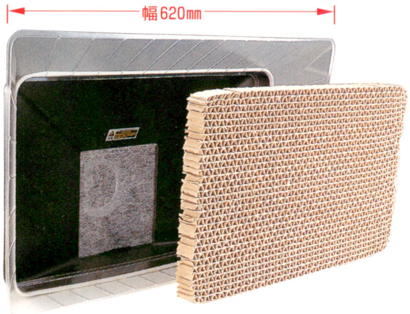
付属パーツの豊富なデラックス版です。高性能に加えて、より使いやすさをセット内容にプラスしました。エア源は入っていません。

〔セット内容〕
●本体 ●0.15mm、0.3mm吸い上げノズル ●ワンタッチ交換ボトル ●PS（細）スパイラルホース（伸長時：1.5mm） ●エアー調整バルブ ●本体用Mr.スタンドII ●ノズル着脱工具入り。

PS700 プロスプレーMk-4、Mk-5用 ワンタッチ交換ボトルユニット
■¥700/¥735（税込）



塗装ブース



●ハニカムフィルターの内側には、ペーパーフィルターがあります。二段構えで塗料の粉を補えます。

GT03 Mr.スーパーブース

¥14,900／¥15,645(税込)

エアブラシ塗装作業を行うと吹いた塗料が粉塵となって空気中を漂います。Mr.スーパーブースは、室内でエアブラシ作業が行えるよう、模型用に新しく設計されたオリジナル塗装ブースです。強力モーター、シロッコファンを使用しているので、ぐんぐん霧を吸い込み、音も静かです。噴霧された塗料をしっかりキャッチするハニカムフィルター(1段目)とペーパーフィルター(2段目)で、排気も万全。機械部が汚れにくい構造です。フードも汚れが付きにくく、拭き取るだけできれいになります。組み立ては、ドライバー1本でOK、すぐに使用できます。

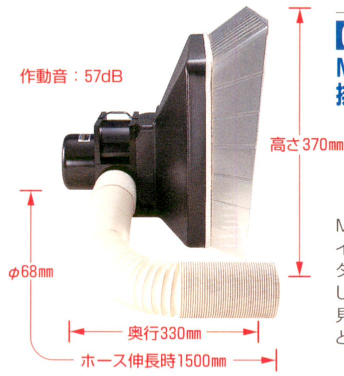
〔フィルターを別売りしています〕

GT03H ハニカムフィルター:¥500／¥525(税込)

GT03F ペーパーフィルター(5枚セット):¥500／¥525(税込)

エアブラシ塗装時の必需品

●排気ダクト(φ68mm)は樹脂製蛇腹式。
●霧の飛散を防ぐミストガード付。
●各フィルターは簡単に交換可能(別売)。
●スタンド、ボトルを収納できる下敷きシート付。
●サイズ：約幅620×高さ370×奥行330mm



GT-03E Mr.スーパーブース用排気口アタッチメント

¥1,000／¥1,050(税込)



Mr.スーパーブース用アクセサリーパーツ。細幅タイプの排気口アタッチメントです。ホース先端にアタッチメントをねじ込み、サッシ窓などに挟み使用します。通常ホース径65mmを15mm幅にでき、外から見た際の美観を保ち、窓の開放を最小限にすることができます。

乾燥ブース





ホコリから塗装面を守り、塗料乾燥を促進します

GT04 Mr.ドライブース

¥15,000／¥15,750(税込)

●各種パテの硬化促進に使用できます。
●塗装表面にやさしい対流乾燥方式を採用。緩やかな空気の流れでカブリ現象の発生を減少させます。
●室内は35℃～40℃(外気温により変化します)の乾燥に最適の条件に保たれます。
●大きくひらく前面カバー。透明なので乾燥中の様子が良くわかります。
●広い乾燥室内で大型モデルにも対応
●可動式の棚板が2枚付属。取りつけ位置を対象物に合わせ変更できます。
●タイマーは連続・0～60分に設定可能です。
●マイナスイオン発生装置を組み込み、乾燥中の臭いを軽減するとともに、塗装表面にやさしくホコリのつきにくい環境をつくります。

〔仕　様〕

■本機の用途…塗装・パテ乾燥機
■電圧…AC100V(50/60Hz)
■消費電力…44W
■温度調節方式…サーモスタット(最高設定温度40℃)
■本体寸法…幅424mm×奥行き247mm×高さ365mm
■本体重量…2.7kg

撮影スタジオ

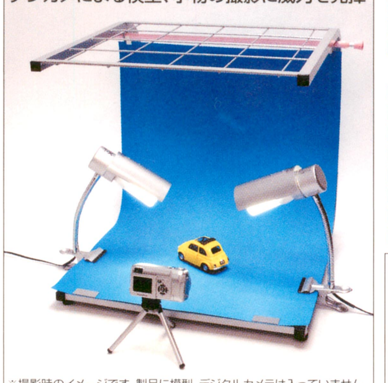
GT05 Mr.フォトスタジオ

¥30,000／¥31,500(税込)

●フレームを差し込むだけで簡単に組み立てできます。
●クリップ式の蛍光灯ライトが2器セットされているので、撮影に応じた位置に設置して、効果的な照明が可能。
●ディフューザーを使用して、照明をやわらげることが可能。
●背景用バックペーパーの交換が簡単にできます。



デジカメによる模型、小物の撮影に威力を発揮



※撮影時のイメージです。製品に模型、デジタルカメラは入っていません。

〔仕　様〕

■本機の用途…撮影用簡易スタジオ
■スタジオ本体寸法…幅500mm×奥行505mm×高さ510mm
■本体重量…6.5kg

〔このセットに含まれる内容〕

■本体
■蛍光灯クリップライト：2器
■背景用バックペーパー：1枚
■背景用バックペーパー固定ポール：1本
■ディフューザー用ペーパー：1枚
■ディフューザー固定用マグネットシート：1枚
■撮影テクニックマニュアル小冊子：1冊
■カメラ用簡易三脚：1台

GT07 Mr.ポリッシャーPRO

¥1,500/¥1,575(税込)



Gツール電動コードレスポリッシャーの上位機種が登場。付属の耐水ペーパーは、クッション性のあるスポンジに貼り付けてあるので、力の入れ方次第で、微妙な削りが可能。曲面部分の作業にも適しています。本体の回転部分はワイパー運動なので、手前に削りカスが飛び散りにくい構造です。単3アルカリ電池2本使用。

〔付属部品〕
交換用耐水ペーパー　番手#600、800、1000　各15枚付き

GT02 電動コードレスポリッシャー

¥2,500/¥2,625(税込)



コードレスポリッシャーは、先端に耐水ペーパーやフェルトを装着することにより、削り、磨きの作業効率が大幅にアップ、きれいな平面を作り出すことができます。単3アルカリ電池1本使用。

〔付属部品〕交換アタッチメント2種、耐水ペーパー10枚入り

GT16 フェルトバフ
¥600/¥630(税込)

GT17 耐水ペーパーセット(粗目)
¥600/¥630(税込)

GT18 耐水ペーパーセット(細目)
¥600/¥630(税込)

GT19 ポリッシャーヘッドセット
¥600/¥630(税込)

GT20 耐水ペーパーセット(超粗目)
¥600/¥630(税込)

GT41 Mr.ポリッシャーPRO用 交換ヘッド　■¥280/¥294(税込)

Mr.ポリッシャーPRO用 交換耐水ペーパー
GT38 600番
GT39 800番
GT40 1000番
スポンジ付 1シート15個入り ■各¥200/¥210(税込)

ルーター・ポリッシャーほか

GT01 電動コードレスルーター

¥2,000/¥2,100(税込)



模型の表面を磨いたり、改造部分を削るなどに威力を発揮する電池式のコードレスルーターです。室内外を問わず使用可能です。ホルダーの使用で、ビット交換がワンタッチでできます。単4アルカリ電池2本使用。



●基本ヤスリ・ホルダー付

GT06 電動コードレスルーター PRO

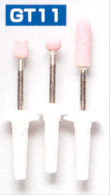
¥3,000/¥3,150(税込)



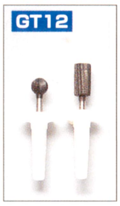
Gツールコードレスルーターの上位機種です。軸受けにボールベアリングを採用し、スムーズな回転と軸ぶれを防止しました。またモーターのトルクアップで硬い材料もぐんぐん削ることができます。手元スイッチでON、OFFが可能ですので使いやすさも抜群です。単4アルカリ電池2本使用。

●基本ヤスリ・ホルダー付

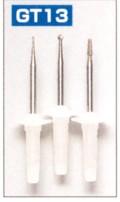
GT11 基本ヤスリセット
(ヤスリ3種入・ホルダー付)
¥900/¥945(税込)



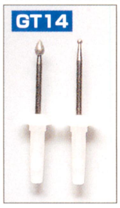
GT12 強力ヤスリセット
(ヤスリ2種入・ホルダー付)
¥1.500/¥1.575(税込)



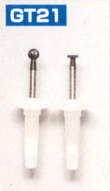
GT13 精密ヤスリセット
(ヤスリ3種入・ホルダー付)
¥1.500/¥1.575(税込)



GT14 ダイヤモンドヤスリセット
(ヤスリ2種入・ホルダー付)
¥1.600/¥1.680(税込)



GT21 強力ヤスリ(小)セット
(ヤスリ2種入・ホルダー付)
¥1.500/¥1.575(税込)



GT15 塗料撹拌アタッチメント
(ホルダー付)
¥600/¥630(税込)



GT37 Mr.綿棒スタンダード 丸タイプ・三角タイプ 2種・各25本入り

¥280/¥294(税込)

●三角タイプ

フィギュア、ドールのメイク時にお使いください。綿棒は乾いた状態でお使いください。綿棒の先に塗料を付けて、目元、口元のメイクや、塗料のはみ出た部分のふき取り時に使用してください。



●丸タイプ

デカールの貼り付け時にお使いください。綿棒を少し水で濡らして、表面をコロコロと転がしてください。デカール下の余分な水分や気泡を取り除きます。



GT31 Mr.フィニッシングクロス・仕上げ磨き用



¥800/¥840(税込)
サイズ：300mm×300mm

GT32 Mr.フィニッシングクロス・磨き用

¥600/¥630(税込)
サイズ：300mm×700mm





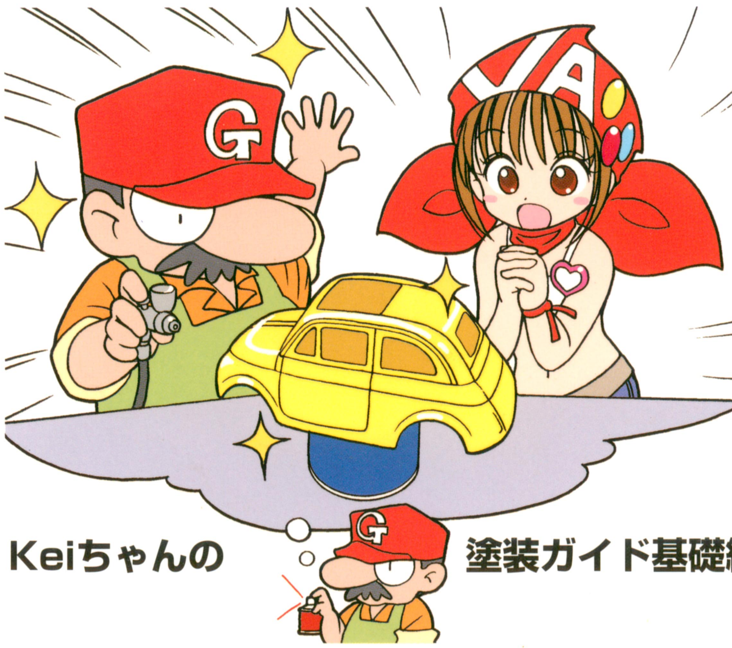
GT36 Mr.砥ぎ出しクロス(3種セット)

¥480/¥504(税込)
サイズ：93mm×210mm

2006.2

4 973028 518429

SP-01 : 700



Keiちゃんの 塗装ガイド基礎編

イラスト：ちびすけマシーン

VANCE PROJECT®

制作・著作
株式会社GSIクレオス ホビー部 VANCE PROJECT
〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-1 TEL. (03) 5211-1844

http://www.mr-hobby.com/vance/

平成18年8月 第2版